HASP の非定常熱負荷計算 (1)実行編

---- 目次 ----

<o部> 事前の準備/HASPinp を使う前にすること</o部> (1) Excel のマクロを有効にする		1 1
(2) HASPinp の実行モジュールをセキュリティーソフ		1
<i部> HASPinp を使わずに手動で HASP を操作する方法 1. HASP を手動で実行するために頭に入れておくこと</i部>	st (ACLD_HEX15 を例に)	2 3
1. HASP のフォルダとファイル構成	(2) 入力データ	3
(3) 気象データ	(4) fnameHASP_inp.txt	3
(5) バッチファイル	(6) 絶対パス(フルパス)と相対パス	5
2. HASP を手動で動かす	(a) NA = 10) = 1 fr/c = 1 + 1 =	6
(1) 年間計算の実行 (3) 暖房ピーク計算の実行	(2) 冷房ピーク計算の実行	6, 8
(3) 暖房に一ク計算の美円 3. 入力データにエラーがあった場合		10 12
	-0.	
<Ⅲ部> HASPinp による HASP の実行 (ACLD_HEX15_inp を作	列(こ)	13
1. HASPinp とは (1)ユーザーインターフェースとしての HASPinp	(2) 2つの HASPinp	14 14
(3) HASPinp の実行モジュールと Excel ファイル	(4) HASPinp のフォルダとファイルの構成	14, 15
(5) HASPinp の操作と動作の流れ	(1) 11101 1110 2 3 3 4 7 7 6 3 7 7 7 8 113/94	16
2. HASPinp によるケーススタディ		17
(1) 建物モデルと計算条件	(2) HASPinp を立ち上げる	17, 18
(3) ユーザーが操作する HASPinp の 3 つの画面 (4) 4 0 0 kg ススタデュ (引発エード h 出土形式)		19
(4) 4 つのケーススタディ(計算モードと出力形式) (5) 計算モード(シミュレーションモードとピーク計:	算) (6) 出力形式(詳細出力と簡易出力)	22 22
2-1 ケース 1:年間計算・詳細出力	奔/ (0) 田/ガル八 (計神田/ガと間の田/ガ)	23
(1) 入力データの確認		23
(2) プログラムの実行(ファイル変換・熱負荷計算・	ゾーン集計)	24-25
(4) 結果のグラフ		29
2-2 ケース2:ピーク計算・詳細出力		31
(1) 冷房ピーク計算の入力データの変更 (2) 冷房ピーク計算のプログラムの実行(ファイル変:	協。麹名芸計管、ゾニン集計)	31 32-33
(3) 暖房ピーク計算の入力データの変更	快・然貝仰可昇・ノーン朱可力	34 34
(4) 暖房ピーク計算のプログラムの実行 (ファイル変)	換・熱負荷計算・ゾーン集計)	35-36
(5) 結果のグラフ	(6) 結果の保存	40, 41
2-3 ケース3:年間計算・簡易出力		42
(1) 入力データの変更	. 8	42
(2) プログラムの実行(ファイル変換・熱負荷計算・ (3) 結果のグラフ	ソーン集計)	42-43 47
2-4 ケース 4:ピーク計算・簡易出力		49
(1) 冷房ピーク計算の入力データの変更		49
(2) 冷房ピーク計算のプログラムの実行(ファイル変	換・熱負荷計算・ゾーン集計)	49-50
(3) 暖房ピーク計算の入力データの変更		51
(4) 暖房ピーク計算のプログラムの実行(ファイル変		51-52
(5) 結果のグラフ3. HASPinp での未入力エラーの見つけ方	(6) 結果の保存	56, 57 58
〈Ⅲ部〉 気象データ		60
1. HASP に組込まれている気象データ 2. 気象データの追加登録の方法		61
2. 気象アータの追加登録の方法 3. HASPinp の気象データの検索と自動カスタマイズの仕	上組み	62 65
4. has 気象データと hasH 気象データ	<u> </u>	66
 hasH 気象データの先頭行の情報 		68
6. 祝日情報		69
会 老次则		71
参考資料		71

Ver. 20220330-0707 (社) 建築設備技術者協会

〈O部〉 事前の準備/HASPinp を使う前にすること

- ・HASProot と HASPinp のインストールは(0) 導入編で済ませたものとします。
- ・このまますぐに操作しても問題無いこともありますが、念のため以下の設定をしてください。

(1) Excel のマクロを有効にする

※< I 部>の HASPinp を使わないで手動で操作する場合は、本節(1)の設定は不要です。

- ・HASPinpの Excel ファイルにはマクロが組み込まれています。 OriginalFiles のフォルダに 5 つの Excel ファイルがありますが、これらの Excel ファイルのマクロ を有効にしなければなりません。
- ・Excel のファイルを立ち上げた時に、マクロが無効の場合は次のメッセージが表示されます。



・表示の中の コンテンツの有効化 をクリックすると、マクロが有効になり、正常に動作するように なります。

(2) HASPinp の実行モジュールをセキュリティーソフトのチェックから外す

- ・全てのセキュリティーソフトではありませんが、中には、そのソフトに未登録な実行モジュールをチェックして、動作を止めたり、実行モジュールそのものを削除してしまうことがあります。
- ※Norton では HASPinp の実行モジュールやバッチファイルを削除することがあります。 この場合は、次のようにして、Norton のチェック対象から外します。
 - ・Nortan を立ち上げます。次の手順で①と②の除外設定をします。
 - ①設定 ⇒ ウイルス対策 ⇒ スキャンとリスク ⇒ スキャンから除外する項目 ⇒ 設定する ⇒ フォルダを追加する
 - ②設定 \Rightarrow ウイルス対策 \Rightarrow スキャンとリスク \Rightarrow 自動保護、スクリプト制御・・・除外する項目 \Rightarrow 設定する \Rightarrow フォルダを追加する
 - ※ ①②の両方とも設定します。これで HASPinp は正常に動作するようになります。
 - ※「フォルダを追加する」を選ぶとフォルダごと除外対象になります。 「ファイルを追加する」を選んだ場合は、個々のファイル単位で除外設定をします。

<I 部> HASPinp を使わずに手動で HASP を操作する方法 (ACLD_HEX15 を例に)

- 1. HASPinp を手動実行するために頭に入れておくこと
- 2. HASP を手動で動かす
- 3. 入力エラーがあった場合

1. HASP を手動で実行するために頭に入れておくこと

(1) HASP のフォルダとファイル構成 (⇒図 I)

- ・図 I-1 に HASProot と HASPinp のフォルダとファイルの構成を示します。
- ・HASP を手動で操作する時は、この図 I −1 のフォルダやファイルの位置関係を頭に入れておく必要ががあります。
- ・図 I-1 の各行の頭の数字は、根っこの HASProot を基準 0 とする階層の深さを示しています。
- ・説明分中の"矢印"は手動の操作で扱うファイルの位置を示しています。図 I-1 の矢印と符号します。
 - ・矢印(1) sample Input.txt (熱負荷計算の入力データファイル)
 - ・矢印② 計算に使う気象データファイル
 - ・矢印③ fnameHASP inp. txt (HASP の実行に関係するファイル名やパスをカスタマイズします)
 - ・矢印④ ACLD_HEX15. bat (バッチファイルで HASP の実行はここから始まります)
 - ・矢印⑤ ACLD HEX15. exe (熱負荷計算プログラムの本体の実行モジュール)
 - ・矢印⑥ 計算結果を出力したファイル
 - ・矢印⑦ ACLD_HEX15_debug.txt (入力データのエラー情報はここに記録されます)

(2) 入力データ

・入力データを所定のフォーマットに従って作成しなければなりませんが、 ここでは、予め作成された入力データ sample_Input. txt (表 I-2) を利用することにします。

(3) 気象データ

・気象データは、図 I-1の HASProot¥Data¥Weather の下のフォルダに登録されているものを使います。 ※ここに登録されている気象データは MetDS(株)気象データシステムのご厚意により無償提供されたものです。 HASP での利用に限定されます。また、気象データのコピーなども禁じられています。

(4) fnameHAP_inp, txt $(\Rightarrow$ 下表 I -1)

- fnameHASP_inp. txt は、HASPinp を実行するために必要なファイル名やパス等の情報を記述したファイルです。HASPinp の全ての実行モジュールは、起動されると最初にこの fnameHASP_inp. txt を読み込み、実行に必要な情報を得るように仕組まれています。
- ・この fnameHASP_inp. txt は、実行条件に合わせて一部を書き替える (カスタマイズ) 必要があります。
- ・カスタマイズするのは、1 行目、2 行目と 12 行目です。

なお 12 行目は HASPinp の Excel ファイルと実行モジュール ACLD_HEX15. exe との連係情報です。 HASPinp を使わずに、手動で操作する場合でも、ここは毎回の実行の前に"00"にリセットします。

表 I-1 fnameHASP_inp.txt

- 1) ...¥...¥***** ⇒ *****の箇所を矢印①の入力データのファイル名に書き替えます。 2) ...\text{Y...\text{YData}\text{Weather}\text{\text{******}} ⇒ *****の箇所を矢印②の気象データのパスとファイル名に書き替えます。 ⇒ 計算結果を出力する⑤のフォルダのパスです。 ..¥..¥..¥HASP¥NewHASP-ACLD¥Exec¥wndwtabl.dat ⇒ ガラスの特性のパスとファイル名 ⇒ 材料特性のパスとファイル名 6) -aACSS ⇒ ACSS への受け渡しファイル (先頭が空白または"-"の時は出力しません) 7) -⇒ BECS への受け渡しファイル (先頭が空白または"-"の時は出力しません) 8) DEBG INP=9 CK=9 WF=9 WD=9 CL=0 HE=0 OP=0 nRM=0000 MDse=・・・・ ⇒ 実行モジュールのデ バッグオプション 9) ... \text{Y. YKeepOut\text{YCSV inp\text{Y****** COMMON.csv}}} ⇒ 手動で動かす場合は関係しません。 ⇒ 手動で動かす場合は関係しません。 11) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥*****_ZONE.csv ⇒ 手動で動かす場合は関係しません。 12) **00** ⇒ HASPinpのExcelファイルと実行モジュールとの連係情報で毎回 00 にリセットします。
 - ※ 元々の NewHASP/ACLD の fnameNewHASP. txt は 1~7 行ですが、 HASPinp の fnameHASP inp. txt では 8~12 行が追加されています。

図 I-1 HASProot と HASPinp のフォルダとファイルの構成 (手動で操作するときの説明用)

```
0 HASProot
         HASP
          2 | NewHASP-ACLD
              3 Exec
                     ⊢ wcontabl.dat
                                        <--材料特性データのファイル NewHASP_2が読みに行きます。

    wndwtabl.dat

                                        <--ガラスの特性データのファイル NewHASP_2が読みに行きます。
      1
         Data
          2 Weather
                                <--このフォルダの下に気象データファイルがあります
              3 ├ Japan
                     PeakWD
                       5
                         0460_Sapporo
                                        <--このフォルダの下に札幌の5種のピーク気象データがあります
                                        <--このフォルダの下に東京の5種のピーク気象データがあります
                       5
                         3630_Tokyo
                             - 3630C 10 SLhasH
                                              〈--東京の冷房 SI単位系の気象データ (h-t基準)
                             ├ 3630C 20_SI.hasH
                                              〈一東京の冷房 SI単位系の気象データ (Jc-t基準)
                   (2c)
                             - 3630C 31_SI.hasH
                                              <--東京の冷房 SI単位系の気象データ (Js-t基準: 秋の南面冷房用)
                             ├ 3630H 12_SI.hasH
                                              〈一東京の暖房 SI単位系の気象データ (t-x基準)
                   \boxed{2h}
                             └ 3630H 22_SI.hasH
                                              〈一東京の暖房 SI単位系の気象データ (t-Jh基準)
                       5 8310_Naha
                                        <--このフォルダの下に那覇の5種のピーク気象データがあります
                   4 RefYeadWD
                                   <--このフォルダの下に札幌、東京、那覇の標準年気象データがあります
                                          <一札幌 2010年版標準年気象データ(2001~2010年の平均年)(SI単位系)
                         ⊢ 04600110_SI.hasH
                   (2a)
                          36300110_SI.hasH
                                          <--東京 2010年版標準年気象データ(2001~2010年の平均年)(SI単位系)
                         ├ 83100110_SI.hasH
                                          <--那覇 2010年版標準年気象データ(2001~2010年の平均年)(SI単位系)
                         ⊢ 04601120 SI.hasH
                                          <一札幌 2020年版標準年気象データ(2011~2020年の平均年)(SI単位系)-
                         ├ 36301120_SI.hasH
                                          <--東京 2020年版標準年気象データ(2011~2020年の平均年)(SI単位系)
                                                                                             2022 年版
                         ├ 83101120_SI.hasH
                                          <--那覇 2020年版標準年気象データ(2011~2020年の平均年)(SI単位系)
                                                                                             HASProot
                         ├ 04607795_SI.hasH
                                          <--札幌 2086年版標準年気象データ(2077~2095年の予測)(SI単位系)
                                                                                             で追加
                         ├ 36307795_SI.hasH
                                          <--東京 2086年版標準年気象データ(2077~2095年の予測)(SI単位系)
                                          <--那覇 2086年版標準年気象データ(2077~2095年の予測)(SI単位系)
                         ⊢ 83107795 SI.hasH
                         └ 36300110_SE_forACLD8501.has
                                                    <一東京 2010年版標準年気象データ(SE単位系,hasフォーマット)
              3 └ WEADAC
                    PeakWD
                                    <一このフォルダの下に鹿児島・シンがホール・ニューヨーク・シドニーの各6種のピーク気象データがあります
                         12467_KAGOSHIMA_SI_S10.hasH
                                                          <一鹿児島の冷房ピーク気象データ(TAC1%)(SI単位系) 他5つ
                         ├ 12524_SINGAPORE CHANGI AIR_SI_S25.hasH <--シンガ・ホールの冷房ピーク気象データ(TSC2.5%)(SI単位系) 他5つ
                        ├ 14155_NEW YORK LA GUARDIA_SI_S50.hasH <--ニューヨークの冷房ピーク気象データ(TAC5%)(SI単位系) 他5つ
                         └ 16150 SYDNEY AIRPORT SI W10.hasH
                                                          <--シドニーの暖房ピーク気象データ(TAC1%)(SI単位系) 他5つ
                     ├ 12467_KAGOSHIMA_SI_RY.hasH
                                                           <--鹿児島の標準年気象データ(SI単位系)
                                                          〈ーーシンガポールの標準年気象データ(SI単位系)
                    12524_SINGAPORE CHANGI AIR_SI_RY.hasH
                     - 14155 NEW YORK LA GUARDIA SI RY.hasH
                                                           <--ニューヨークの標準年気象データ(SI単位系)
                     └ 16150_SYDNEY AIRPORT_SI_RY.hasH
                                                           <一-シドニーの標準年気象データ(SI単位系)
         ACLD_HEX15_inp
                              <-- HASP_inp15の入力データ
     ①
            sample_Input.txt
              MFE_.csv
                              <-- ACLD HEX15.exe から出力される 室MFE の年間熱負荷計算の結果ファイル
     <u> (6)</u>а
              MFW_.csv
                              <-- ACLD_HEX15.exe から出力される 室MFWの年間熱負荷計算の結果ファイル
                              <-- ACLD_HEX15.exe から出力される年間の外気の温度と絶対湿度の気象データ
              weath.dat
              MFE_C.csv
                              <-- ACLD_HEX15.exe から出力される 室MFE の冷房ピークの熱負荷計算の結果ファイル
      (6)c
              MFW_C.csv
                              <-- ACLD_HEX15.exe から出力される 室MFWの冷房ピークの熱負荷計算の結果ファイル
              weath_C.dat
                              <-- ACLD_HEX15.exe から出力される冷房ピークの外気の温度と絶対湿度の気象データ
                              <-- ACLD_HEX15.exe から出力される 室MFE の暖房ピークの熱負荷計算の結果ファイル</p>
<-- ACLD_HEX15.exe から出力される 室MFWの暖房ピークの熱負荷計算の結果ファイル</p>
              MFE H.csv
      (6)h
              MFW_H.csv
              weath H.dat
                              <-- ACLD HEX15.exe から出力される暖房ピークの外気の温度と絶対湿度の気象データ
                                <--サンプル用の入力および結果のファイルが入っています。
             Sample
             UserData
                                <--ユーザーの入力データや結果を保存するためのフォルダ
          2
             OriginalFiles
                                <--手動では関係しません。
                                <-- これより下はACLD HEX15 inpの仕掛けが入っていますが、手動では操作します。
             KeepOut
                 CSVinp
                                <--手動では関係しません。
                 BAT
                                <--fnameHASP inp.txtとBAT
           fnameHASP_inp.txt
           4
                     ACLD_HEX15.bat
           7
                      ACLD_HEX15_debug.txt
                  HASP_inp_Exec
                                <--
                                    3つの実行モジュール(exeファイル)が入っています。
           (<u>5</u>)
                     - ACLD HEX15 exe
      1 NewHASP_2_inp
                                <==NewHASP_2_inpのホルダー構成はACLD_HEX15_inpと同様です。
```

(5) バッチファイル (⇒表 I -2)

・表 I-2 が矢印④のバッチファイル (ACLD_HEX15. bat) の中味です。このバッチファイルによって、矢印⑤の 熱負荷計算 (ACLD_HEX15. exe) が起動されます。

※ACLD_HEX15. exe の実行モジュールを直接クリックしても起動しますが、矢印③の fnameHASP_inp. txt と連係できないので、直ぐに停止してしまいます。

表 I-2 <バッチファイル ACLD_HEX15. bat の中味>

- ・図 I-1 で、バッチファイルは矢印④の位置にあり、実行モジュールは矢印⑤にあって離れています。 矢印④から、離れた矢印⑤を起動するのが表 I-2 の 7 行目のコマンドです。
- ・このバッチファイルを手動で動かすと、 右図の DOS 窓が表示されます。

小窓の2行目に"・・・・間違っています" というメッセージが出ますが、 実害は無いので無視して下さい。

・6 行のコマンドを削除すればこのメッセージ は出なくなりますが、削除した状態で HASPinp を操作するとエラーになります。 こちらのエラーは実害があります。

(6)絶対パス(フルパス)と相対パス

- ・パス (path) とは、対象とするファイルなどに到達する道筋のことです。
- ・HASP でのパスの起点は、図 I-1 の矢印④のバッチファイル (ACLD_HEX15. bat) です。

<表 I -2 のバッチファイル>

6 行目 cd /d の意味: 起動した④バッチファイルのフォルダ (HASProot¥ACLD_HEX15_inp¥KeepOut¥BAT) を起点のディレクトリに変える DOS コマンドです。 <u>これにより HASP でのパスの起点が決まります。</u>

7 行目 .. ¥HASP_inp_Exec\text{\text{ACLD_HEX15.exe}} で実行モジュールを起動しています。 矢印④から見て矢印⑤の実行モジュール(ACLD_HEX15.exe)は、1 つ上の階層のフォルダ KeepOut で 繋がっています。 "..\text{\text{\text{*}}}" は1つ上の階層のフォルダの相対パスです。

<表 I-3の fnameHASP_inp.txt>

1行目 図I-1の矢印①の入力データファイル(sample.txt)は、矢印④から見て2つ上の階層 ACLD_HEX15_inp で繋がっています。2つ上の階層の場合の相対パスは "..¥..¥" です。 よって1行目は ..¥..¥sample_Input.txt となります。

2 行目 図 I -1 の矢印②a の年間気象データ (36300110_SI. hasH) は RefYearWD のフォルダにあります。 矢印④から見て矢印②a は 3 つ上の階層 HASP_root で繋がっています。 よって相対パスは ..¥..¥..¥" です。

- ・HASProot から見る矢印②a のフォルダのパスは "Data¥Weather¥Japan¥RefYearWD¥" です。
- ・よって2行目は ...¥...¥Data¥Weather¥Japan¥RefYearWD¥36300110_SI.hasH となります。
- 3 行目 図 I −1 の矢印⑥の結果を出力するフォルダは、1 行目と同じ階層 ACLD_HEX15_inp にあります。 よって、相対パスは ...¥...¥ です。
 - ・この相対パスにファイル名を合成して、結果のファイルが出力されます。

<相対パスと絶対パス> 表Ⅰ-3 (fnameHASP_inp.txt) の1行目を例に説明します。

- ・通常は相対パスで記述します。 ...\text{\frac{\text{\chi}}{\text{\chi}}} ...\text{\chi} ...\te
- ・これを絶対パス (フルパス) で記述する場合
 - ・HASProot が C ドライブの直下にあれば C:\frac{\text{YHASProot}}{\text{ACLD}}HEX15_inp\frac{\text{tample_Input.txt}}{\text{txt}} です。
 - ・ ドキュメントの直下ならば C: Ұユーザー¥name ¥Documents ¥HASProot ¥ACLD_HEX15_inp ¥sample_Input.txt です。
- ・絶対パスは HASProot を何処に置くかで変わるので、ユーザーのカスタマイズ作業が煩雑になります。 相対パスならば、HASProot を何処においてもパスの記述を変更する必要がありません。 ※ OS は実行するときに、相対パスを絶対パスに置き換えます。

2. HASP を手動で動かす

・(1)節で年間計算、(2)節で冷房、(3)節で暖房ピーク計算、を手動で実行する時の手順を説明します。

(1) 年間計算の実行

- ・手順① 入力データの作成 (⇒表 I -4)
 - ・実際の入力データの作成については「解説書(2)入力編」をご覧下さい。
 - ・ここではフォルダ sample にある予め入力済のファイル sample_Input.txt を利用します。これをコピーして、作業域のフォルダ (HASProot¥ACLD_HEX15_inp) に貼り付けます。
 - ・この入力データ (表 I-4) は、〈Ⅱ部〉の表 2-1-F (sampleA_Input.txt) と内容は同じです。
 - ・ここでは、計算条件に関係する箇所に絞って説明します。

〈CNTL〉 ・計算モード この例題では O=シミュレーションモード とします。

(装置容量を与条件として除去熱量を求める年間計算の一般的な計算です)

・出力形式 この例題では 1=詳細出力 とします。

・気象データ形式 この例題では 0=標準年気象データ とします。

・計算期間 12/15 から助走し、 $1/1\sim12/31$ の 1 年間を本計算として計算します。

(助走期間を設けるのは、初期条件の影響を消すためです)

〈HRAT〉 ・発熱割合 元の NewHASP/ACLD では1行入力ですが、HASPinp では3行入力です。

気象データのファイル名によって自動的に1行が選ばれます。 年間計算の気象データでは11カラムが空欄の1行目が選ばれます。

- ・手順②a 気象データファイルを決める
 - ・年間計算では、矢印②a の東京・平均年気象データ 36300110 SI. hasH を使うことにします。
- ・手順③ fnameHASP_inp.txt をカスタマイズします。 (⇒表 I-3)
 - ・入力データと気象データのファイル名が決まったので、 $fname_HASP_inp.txt$ をカスタマイズします。カスタマイズするのは、1 行目と 2 行目と 12 行目です。

表 I-3 カスタマイズされた fnameHASP_inp. txt

1) ... ¥... ¥sample_Input. txt

- ⇒ 図 1-1 の①の入力データのファイル名
- 2) ...\forall Y...\forall Y...\forall Data\forall Weather\forall Japan\forall RefYear\text{WD}\forall 36300110_SI.\hasH
- ⇒ 図 1-1 の②a の気象データのパスとファイル名

- 3) ..¥..¥
- 4) ...\times...\timesHASP\timesNewHASP-ACLD\timesExec\timeswndwtabl.dat
- 5) ... ¥... ¥HASP¥NewHASP-ACLD¥Exec¥wcontabl. dat
- 6) -aACSS
- 7) -
- 8) DEBG INP=9 CK=9 WF=9 WD=9 CL=0 HE=0 OP=0 nRM=0000 MDse=
- 9) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥*****_COMMON.csv ⇒ 手動で動かす場合は使いません。
- 10) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥*****_SPAC.csv ⇒ 手動で動かす場合は使いません。
- 11) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥******_ZONE.csv \Rightarrow 手動で動かす場合は使いません。
- 12) **00** ⇒ HASPinp の Excel ファイルと実行モジュールとの連係情報のリセット

※12 行目の HASPinp の連係情報について

- ・手動で実行する場合でも、ACLD_HEX15. exe の Excel (が起動してなくても) との連係機能は生きています。
- ・Excel とは fnameHASP_inp. txt の 12 行目を介して連係します。

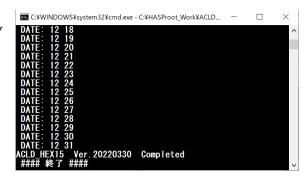
12 行目が "00" の時に、ACLD_HEX15. exe が正常に実行します。

ACLD_HEX15. exe は終了時に、fnameHASP_inp. txt の 12 行目を "99" にして返します。

・毎回、ACLD HEX15. exe を実行する前に、fnameHASP inp. txt の 12 行目を "00" にリセットします。

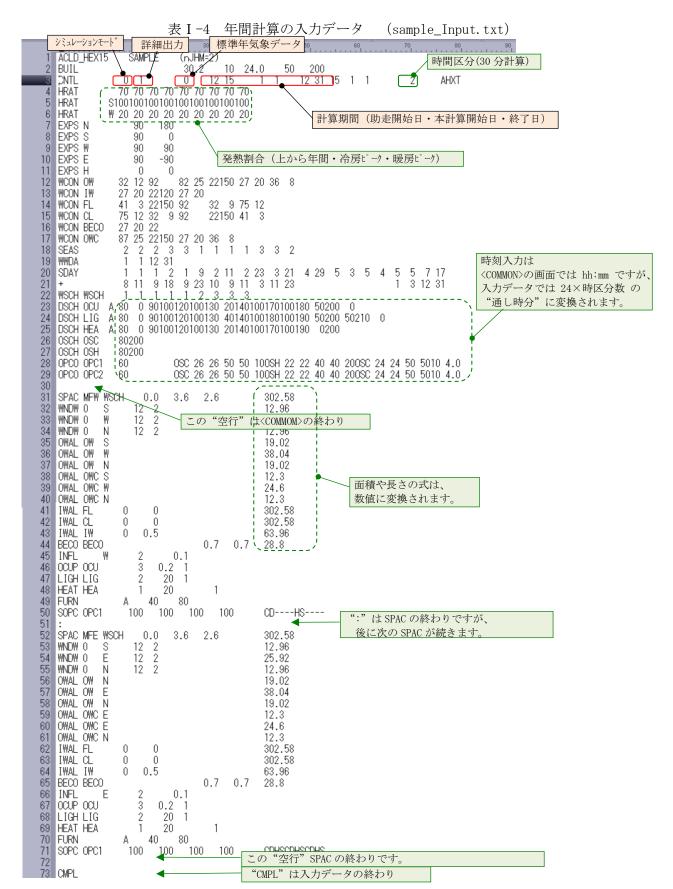
・手順④⑤ バッチファイルによる熱負荷計算の起動

- ・図 I −1 の矢印④の ACLD_HEX15. bat をクリック すると矢印⑤の熱負荷計算 ACLD_HEX15. exe が起動されます。
- 実行中は右の DOS 窓が表示されます。DATE: 12 18 は計算中の日です。
- ・下から2行目で実行が正常に完了したこと が分かります。
- ※この DOS 窓は実行終了と同時に消えます。



・手順⑥a 結果の確認

- ・熱負荷計算の結果は図 I -1 の矢印⑥a のところ出力されます。 例題 sample_Input.txt の場合
 - ・MFE_, csv と MFW_. csv の2つの熱負荷ファイル と
 - ・気象データ weath. dat (気温と絶対湿度を抜粋したファイル) が出力されます。
- ・計算結果は、〈Ⅱ部〉表 2-1-L (MFW_. csv) と同じなのでそちらを見て下さい。



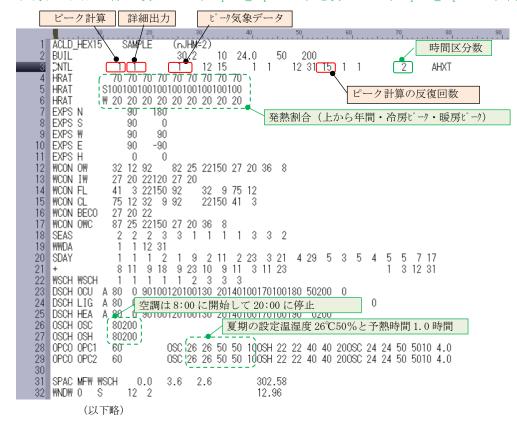
< I 部>

(2) 冷房ピーク計算の実行

- ・順不同ですが、ここでは先に冷房ピークの計算を実行し、その後で暖房ピークの計算をすることにします。
- ・手順① 入力データの作成 (⇒表 I -5)
 - ・先の年間計算で使った入力データ sample_Input.txt をピーク計算用に変更します。 なお、入力データは年間も冷房ピークも暖房ピークも変わらないように作ってあります。

表 I-5 冷房ピーク計算の入力データ (sample_Input.txt)

・この入力データは〈Ⅱ部〉の表 2-2-Fc (sampleC_Input.txt) と表 2-2-Fh (sampleH_Input.txt) 同じです。



- ・変更するのは〈CNTL〉の[計算モード]と[気象デーク形式]だけですが、関連箇所を説明します。
 - 〈CNTL〉 計算モード 1=ピーク計算 とします。

(予熱時間を与条件として、予熱終了時に室温が設定温度になるように未知数である除去熱量を解く計算法です)

- ・出力形式 1=詳細出力 は変更なしです。
- 気象データ形式 1=ピーク気象データ とします。
- ・計算サイクル ピーク計算の反復回数のことです。ここでは15回とします。

(計算サイクルはピーク計算の時のみ参照されます)

 $\langle HRAT \rangle$ ・発熱割合 $\langle HASPinp \$ では 3 行ありますが、気象データのファイル名によって自動的に 1 行が選ばれます。

冷房ピーク気象データでは11カラムが "S" の2行目が選ばれます。

〈OSCH〉 ·空調運転時間 夏期と冬期とも、8:00 に運転開始して、20:00 に運転停止です。

〈OPCO〉 ·設定温湿度と予熱時間 夏期は26℃50%、予熱時間は1.0時間 です。

(予熱時間はピーク計算の時のみ参照されます)

・手順② 冷房ピークの気象データ

- ・ここでは矢印②c の冷房ピーク計算用の気象データ 3630C_ $10_SI.$ hasH を選ぶことにします。
- ・手順③ fnameHASP_inp.txt のカスタマイズ (⇒表 I-6)
 - ・今回カスタマイズするのは、2 行目の気象データのパスとファイル名のカスタマイズと 12 行目の、Excel ファイルとの連係情報のリセットです。

表 I-6 冷房ピーク用にカスタマイズされた fnameHASP inp.txt

⇒矢印①の入力データのファイル名(変更なし) ⇒矢印②c の気象データのパスとファイル名 2) .. \forall .. \forall .. \forall Data \text{Weather Y Japan Y Peak WD Y 3630C_10_SI. has H} 3) ..¥..¥..¥HASP¥NewHASP-ACLD¥Exec¥wndwtabl.dat .. Y.. Y.. YHASPYNewHASP-ACLDYExecYwcontabl.dat 6) -aACSS 7) -8) DEBG INP-9 CK-9 WF-9 WD-9 CL-0 HE-0 OP-0 nRM-0000 MDse-9) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥******_COMMON.csv ⇒ 手動で動かす場合は使いません。 10) .. \times. \times \text{KeepOut\timesCSV_inp\times*****_SPAC.csv} ⇒ 手動で動かす場合は使いません。 11) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥*****_ZONE.csv ⇒ 手動で動かす場合は使いません。

⇒ HASPinpのExcelファイルと実行モジュールとの連係情報のリセット

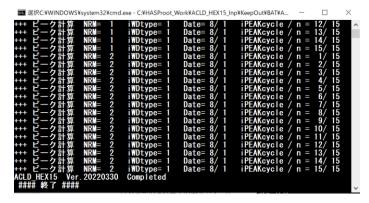
・手順④⑤ バッチファイルによる熱負荷計算の起動

- ・図 I −1 の矢印④の ACLD_HEX15. bat をクリックすると矢印⑤の熱負荷計算 ACLD_HEX15. exe が 起動されます。
- ・実行中は右の DOS 窓が表示されます。

DATE: 8/1 は計算日で、 iPEAKcycle /n = 15/15 は反復回数の表示です。

・下から2行目の ACLD_HEX15 Completed で実行が正常に完了したことが分かります。### 終了 ### はバッチの終了表示です。

※DOS 窓は実行終了と同時に消えます。



・手順⑥ 結果の確認

・熱負荷計算の結果は図 I の矢印⑥c のところ出力されます。

例題 sample_Input.txt の場合

- ・MFE__C, csv と MFW__C. csv の2つの熱負荷ファイル と
- ・気象データ weath C. dat (気温と絶対湿度を抜粋したファイル) が出力されます。
- ・計算結果は、〈Ⅱ部〉表 2-2-Lc (MFW_C.csv) と全く同じなのでそちらを見て下さい。

<補足> ピーク熱負荷計算で出力されるファイル名の記号

ACLD_HEX15. exe では、出力される負荷結果や気象データのファイル名の末尾に "C" または "H" の記号が自動的に付けられます。この記号は気象データのファイル名から取ったものです。こうすることで、年間と冷房ピークと暖房ピークの結果ファイルが共存することができます。

※ 旧 HASP のピーク気象データのファイル名は、例えば

東京の冷房ピーク気象データ 16_S_05 . has、 16_S_10 . has、 16_S_20 . has 東京の暖房ピーク気象データ 16_W_05 . has、 16_W_10 . has、 16_W_20 . has 拡張子が has の気象データのファイル名の場合は "S" または "W" になっています。これらを使ってピーク熱負荷計算したときに出力されるファイル名は、

- MFW__S, csv, MFE__S. csv, weath_S. dat
- MFW__W, csv, MFE__W. csv, weath_W. dat

になります。

※ 新しい WEADAC のピーク気象データの場合も "S" または "W" になります。

< I 部>

(3) 暖房ピーク計算の実行

- ・先の冷房ピーク計算に続いて暖房ピークの計算をします。
- ・手順① 入力データの作成 (⇒表 I -7)
 - ・入力データは冷房ピークと暖房ピークで変わりません。 先の(2)で使った入力データ sample_Input. txt をピーク計算に流用します。

表I-7 暖房ピーク計算の入力データ (sample_Input.txt)



・ピーク計算では、〈CNTL〉の[計算モード]と[気象データ形式]に注意します。

1=ピーク計算 とします。 <CNTL> • 計算モード

(予熱時間を与条件として、予熱終了時に室温が設定温度になるように未知 数である除去熱量を解く計算法です)

- 1=詳細出力 は変更なしです。 ・出力形式
- 気象データ形式 1=ピーク気象データ とします。
- ピーク計算の反復回数のことです。ここでは15回とします。 計算サイクル

(シミュレーションモードの時は参照されません)

<HRAT> • 発熱割合

HASPinp では3行ありますが、気象データのファイル名によって自動 的に1行が選ばれます。

暖房ピーク気象データでは11カラムが"W"の3行目が選ばれます。

<OSCH> 夏期と冬期とも、8:00 に運転開始して、20:00 に運転停止です。 •空調運転時間

<0PC0> ・設定温湿度と予熱時間 冬期は22℃40%、予熱時間は2.0時間 です。

・手順② ピークの気象データ

- ・ここでは矢印②h の暖房ピーク計算用の気象データ $3630_{-12_SI.}$ hasH を選ぶことにします。
- ・手順③ fnameHASP_inp.txt のカスタマイズ (⇒表 I-8)
 - ・今回カスタマイズするのは、2行目の気象データのファイル名と 12 行目の、Excel ファイルとの連係情報のリセットです。

表 I-8 暖房ピーク用にカスタマイズされた fnameHASP inp.txt

1) ...\Sample_Input.txt

⇒矢印①の入力データのファイル名(変更なし)

- 2) ..¥..¥..¥Data¥Weather¥Japan¥PeakWD¥3630H_12_SI.hasH ⇒矢印②暖房ピークの気象データのパスとファイル名
- 3) ..¥..¥
- 4) ... ¥... ¥HASP¥NewHASP-ACLD¥Exec¥wndwtabl. dat
- 5) ... ¥... ¥HASP¥NewHASP-ACLD¥Exec¥wcontabl. dat
- 6) -aACSS
- 7) -
- 8) DEBG INP=9 CK=9 WF=9 WD=9 CL=0 HE=0 OP=0 nRM=0000 MDse=
- 9) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥******_COMMON.csv : 手動で動かす場合は参照しません。
 10) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥******_SPAC.csv : 手動で動かす場合は参照しません。
- 11) ..¥..¥KeepOut¥CSV_inp¥******_ZONE.csv : 手動で動かす場合は参照しません。
- 12) **00** ⇒HASPinp の Excel ファイルと実行モジュールとの連係情報のリセット

※表 I-2-3b の":"以下は説明文です。なお、DOS コマンドでは行の途中からコメントにはできません。

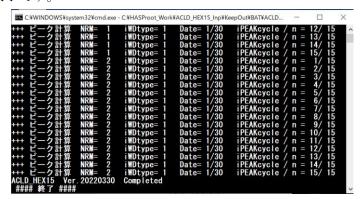
・手順④⑤ バッチファイルによる熱負荷計算の起動

- ・図 I -1 の矢印⑤ACLD_HEX15. bat をクリックすると矢印⑤熱負荷計算 ACLD_HEX15. exe が起動されます。
- ・実行中は右の DOS 窓が表示されます。

DATE: 1/30 は計算日で、 iPEAKcycle /n = 15/15 は反復回数の表示です。

・下から2行目の ACLD_HEX15 Completed で実行が正常に完了したことが分かります。### 終了 ### はバッチの終了表示です。

※DOS 窓は実行終了と同時に消えます。



・手順⑥ 結果の確認

- ・熱負荷計算の結果は図 I-1 の矢印⑥h のところ出力されます。
 - 例題 sample_Input.txt の場合
 - ・MFW_H, csv と MFE_H. csv の2つの熱負荷ファイル と
 - ・気象データ weath_H. dat (気温と絶対湿度を抜粋したファイル) が出力されます。
- ・計算結果は、〈Ⅱ部〉表 2-2-Lh (MFW_H.csv) と全く同じなのでそちらを見て下さい。

<補足> ピーク熱負荷計算で出力されるファイル名の記号

ACLD_HEX15. exe では、出力される負荷結果や気象データのファイル名の末尾に "C" または "H" の記号が自動的に付けられます。この記号は気象データのファイル名から取ったものです。こうすることで、年間と冷房ピークと暖房ピークの結果ファイルが共存することができます。

※ 旧 HASP のピーク気象データのファイル名は、例えば

東京の冷房ピーク気象データ 16_S_05. has、16_S_10. has、16_S_20. has 東京の暖房ピーク気象データ 16_W_05. has、16_W_10. has、16_W_20. has 拡張子が has の気象データのファイル名の中は "S" または "W" になっています。 これらを使ってピーク熱負荷計算したときに出力されるファイル名は、

- MFW__S, csv, MFE__S. csv, weath_S. dat
- MFW__W, csv, MFE__W.csv, weath_W.dat

になります。

※ 新しい WEADAC のピーク気象データの場合も "S" または "W" になります。

3. 入力データにエラーがあった場合

- ・入力データにエラーが見つかると、下図の DOS 窓に ERROR count の表示が出て実行は停止します。
- ・DOS 窓は実行停止と同時に消えるので、エラーがあったことが分からなくなりますが、 DOS 窓の DATE: の表示が流れないことから、熱負荷計算の処理にエラーがあったことが分かります。

```
Program Version = ACLD_HEX15 Ver.20220330
11 ,00 ,ACLD_HEX15 Ver.20220330 Started
sub READ Fname LINE, QWK= 1 ... ¥. ¥sample_Input.txt
sub READ Fname LINE, QWK= 2 ... ¥. ¥Data¥Weather¥Japan¥RefYearWD¥36300110_SI.hasH
sub READ Fname LINE, QWK= 3 ... ¥. ¥
sub READ Fname LINE, QWK= 4 ... ¥. ¥HASP¥NewHASP-ACLD¥Exec¥wndwtabl.dat
sub READ Fname LINE, QWK= 5 ... ¥. ¥HASP¥NewHASP-ACLD¥Exec¥wcontabl.dat
sub READ Fname LINE, QWK= 6 -aACSS
sub READ Fname LINE, QWK= 7 -
sub READ Fname LINE, QWK= 8 DEBG INP=0 CK=0 WF=0 WD=0 CL=0 HE=0 OP=0 nRM=0000 MDse:
00000000 JHH=000000000000
open INP = 1 ... ¥. *Sample_Input.txt
open WD = 11 ... ¥. *Sample_Input.txt
open WD = 11 ... ¥. *Jata¥Weather¥Japan¥RefYearWD¥36300110_SI.hasH

ERROR conut = 3 in INPUT data
ACLD_HEX15 Ver.20220330 Canceled

#### 終了 ####
```

・なお、図 I -1 の矢印⑦(ACLD_HEX15_debug. txt)にエコーバックの記録が保存されています。これを開くとエラーの原因が分かります。(\Rightarrow 表 I -9)

下表 I-9 では

56 行目の外壁 "OWAL OWW SS " の下に 3 行の ****** ERROR ****** 表示があります。

- ・57 行目 ERROR 20 は、"外壁の面積が負かゼロ" というエラーです。
- ・58 行目 ERROR 5 は、"未定義の壁体 OWW を引用" というエラーです。
- ・59 行目 ERROR 5 は、"未定義の方位 SS を引用"というエラーです。

入力データに戻って、エラー箇所を修正します。

表 I-9 ACLD_HEX15_debug.txtの例

```
70 80 90
                     SAMPLE
     ACLD_HEX15
                                 (nJHM=2)
22
23
24
25
26
27
28
29
30
     BUIL
                                  30.2
                                                   1 1
     CNTL
                                  0
                                        12 15
                                                          12 31 15 1 1
                                                                                              AHXT
                   70 70 70 70 70 70 70 70 70
     HRAT
     HRAT
                 $100100100100100100100100100
     HRAT
                 W 20 20 20 20 20 20 20 20 20
     EXPS N
                           180
     EXPS S
                      90
     EXPS W
                      90
31
32
33
34
35
36
37
38
40
     EXPS E
                            -90
                   0 0 0
32 12 92 82 25 22150 27 20 36 8
27 20 22120 27 20
41 3 22150 92 32 9 75 12
     EXPS H
     WCON OW
     WCON IW
     WCON FL
                   75 12 32 9 92
     WCON CL
                                       22150 41 3
                   27
     WCON BECO
                      20 22
                   87 25 22150 27 20 36 8
     WCON OWC
     SEAS
                              3 3 1 1 1 1 3 3 2
                       1 12 31 1 1 2
     ₩₩DA
                    1 1 1 2 1 9 2 11 2 23 3 21 4 29 5 3 5 4 5 5 7 17 8 11 9 18 9 23 10 9 11 3 11 23 1 1 1 1 1 1 2 3 3 3
     SDAY
42
43
     WSCH WSCH
     DSCH OCU A 80 0 90100120100130 20140100170100180 50200 0
45
                A 80 0 90100120100130 40140100180100190 50200 50210 0
     DSCH LIG
46
                 A 80 0 90100120100130 20140100170100190 0200
     DSCH HEA
     OSCH OSC
                   80200
48
     OSCH OSH
                   80200
49
50
                               OSC 26 26 50 50 100SH 22 22 40 40 200SC 24 24 50 5010 4.0 OSC 26 26 50 50 100SH 22 22 40 40 200SC 24 24 50 5010 4.0
     OPCO OPC1
                  60
     OPCO OPC2
51
52
53
54
55
     SPAC MFW WSCH
                        0.0 3.6 2.6
                                                     302.58
                      12 2
12 2
     WNDW 0
                                                     12.96
               S
     WNDW 0
                                                     25.92
     WNDW N
                      12
                                                     12.96
     OWAL OWW SS
                                                                                                  -19.02
57
58
        ***** ERROR 20 *****
        ***** FRROR 5 ****
        ***** ERROR 5 *****
59
60
     OWAL OW W
                                                     38.04
     OWAL OW
               N
61
                                                     19.02
62
     OWAL OWC S
                                                     12.3
63
     OWAL OWC W
                                                     24.6
                                                     12.3
     OWAL OWC N
```

<Ⅱ部> HASPinp による HASP の実行 (ACLD_HEX15_inp を例に)

- 1. HASPinpとは
- 2. HASPinp によるケーススタディ
 - 2-1 ケース1:年間計算・詳細出力
 - 2-2 ケース2:ピーク計算・詳細出力
 - 2-3 ケース3:年間計算・簡易出力
 - 2-4 ケース4:ピーク計算・簡易出力
- 3. HASPinp での未入力エラーの見つけ方

< Ⅲ 部>

1. HASPinpとは

(1) ユーザーインターフェースとしての HASPinp

- ・元々の HASP 系のプログラムはユーザーインターフェース (IOU) を持っていません。
- ・本書「解説書(1)実行編の〈I部〉」や、「解説書(0)導入編」でも説明しましたが、
 - ①HASP の入力データはカラム1つ間違えるとエラー
 - ②入力データの中で「定義」と「引用」の関係で間違いが起きやすい
 - ③DOS コマンドでの気象データファイルのパスなどのカスタマイズは慣れても面倒などの問題があります。
- ・これらの問題を支援するのが HASPinp です。
- ・HASPinp を使えば、
 - ①入力データのミスはまず生じません。
 - ②入力データの中で「定義」と「引用」の関係も HASPinp の指示に従えば間違いは起きません
 - ③DOS コマンドのカスタマイズは HASPinp が自動的にします。

※HASPinp は JABMEE (当協会) の監修を得て SERL (システック環境研究所) が有償頒布するソフトです。

(2) 2つの HASPinp

- ・HASPinp には ALCD_HEX15_inp と NewHASP_2_inp の 2 つがあります。
- ・本書は ACLD_HEX15_inp で説明しますが、NewHASP_2_inp も内容はほとんど同じです。
 両者に共通する内容は、特に区別しないで HASPinp と表記します。
 両者で異なるところだけ、ACLD_HEX15_inp と記しますが、ごく一部です。

(3) HASPinp の実行モジュールと Excel ファイル (⇒図 II-1)

- ・HASPinp は、ユーザーインターフェースを含む HASPinp のアプリケーション一式を言います。
 - ① ACLD_HEX15_InputSheet.xlsm

(入力データの作成や計算の起動をする Excel ファイル)

② HASP_inp.exe

(入力フォーマットに変換する実行モジュール) (非定常熱負荷計算の実行モジュール)

③ ACLD_HEX15. exe

(ゾーン集計の実行モジュール)

4 HASP_zone.exe

⑤ 4 つの GRAPH. x1sm

(熱負荷計算の結果をグラフ化する Excel ファイル)

これらが連係して一連の熱負荷計算が操作(入力⇒計算⇒グラフ)できるようになっています。

<参考> HASPinp の機能

- ①ACLD_HEX15_InputSheet.xlsm (NewHASP_2 では NewHASP_2_InoutAheet.xlsm)
 - 1)入力支援機能:ほぼミス無く入力データを作成することができます。
 - r) fnameHASP_inp. txt のパスやファイル名を自動的にカスタマイズします。
 - n)②③④の実行モジュールはExcelの画面からボタンをクリックするだけで起動できます。
- ②HASP inp. exe (ACLD HEX15 と NewHASP 2 に共通の実行モジュール)
 - ①の入力情報を HASP の所定のフォーマットに編集して、入力データファイルが作成されます。
- ③ACLD_HEX15. exe (NewHASP_2 では NewHASP_2. exe)

非定常熱負荷計算の本体です。

熱負荷計算の結果は csv ファイルで出力します。

④HASP zone. exe (ACLD HEX15 と NewHASP 2 に共通の実行モジュール)

元々の HASP には無い機能です。③の出力ファイルから次の作業をします。

ゾーン集計

4 段階での集計機能(SPAC → ZONE → Mzone → Tzone)

時間積算

時分データ → 日積算 → 月積算 → 年積算

・ピーク負荷のソート 時分ピーク負荷、日積算ピーク負荷

結果として、頭に SPAC_、ZONE_、Mzone_、Tzone_が付いた新たな csv ファイルが出力されます。 ⑤グラフの Excel (ACLD_HEX15 と NewHASP_2 に共通)

4種類のExcel (年間詳細出力、年間簡易出力、ピーク詳細出力、ピーク簡易出力)があります。 ④の出力ファイルには、グラフ用の情報が追加されており、これによってグラフを描きます。

(4) HASPinp のフォルダとファイルの構成

図Ⅱ-1 HASProot と ACLD_HEX15_inp のフォルダとファイルの構成 (HASPinp の説明用) 0 HASProot HASP NewHASP-ACLD 3 Exec wcontabl.dat <--材料特性データのファイル <--ガラスの特性データのファイル wndwtabl.dat 1 Data 2 Weather -このフォルダの下に気象データファイルがあります 3 Japan PeakWD 0460_Sapporo <--このフォルダの下に札幌の5種のピーク気象データがあります 5 <--このフォルダの下に東京の5種のピーク気象デー 5 3630_Tokyo -タがあります (3)c <--東京の冷房 SI単位系の気象データ (h-t基準)</p> 3630C 10 SLhasH -タ 3630C 20 SLhasH -東京の冷房 SI単位系の気象デー (Jc-t基準) 3630C 31_SI.hasH 東京の冷房 SI単位系の気象デ -タ (Js-t基準:秋の南面冷房用) (3)h 3630H 12_SI.hasH 東京の暖房 SI単位系の気象デー -タ (t-x基準) 3630H 22 SI.hasH -東京の暖房 SI単位系の気象データ(t-Jh基準) 5 - 8310_Naha このフォルダの下に那覇の5種のピーク気象データがあります このフォルダの下に札幌、東京、那覇の標準年気象データがあります RefYeadWD <-- 札幌 2010年版標準年気象データ(2001~2010年の平均年)(SI単位系) <--東京 2010年版標準年気象データ(2001~2010年の平均年)(SI単位系) 04600110_SI.hasH 3:= 36300110_SI.hasH 2010年版標準年気象データ(2001~2010年の平均年)(SI単位系) 83100110_SI.hasH <--- 那覇 2020年版標準年気象データ(2011~2020年の平均年)(SI単位系) 04601120 SI basH <--- 札.幌 2020年版標準年気象データ(2011~2020年の平均年)(SI単位系) <--東京 36301120 SI hasH 2022 年版 2020年版標準年気象データ(2011~2020年の平均年)(SI単位系) 83101120 SI.hasH -那覇 HASProot 2086年版標準年気象データ(2077~2095年の予測)(SI単位系) 04607795_SI.hasH -札幌 で追加 2086年版標準年気象データ(2077~2095年の予測)(SI単位系) 36307795_SI.hasH <--東京 2086年版標準年気象データ(2077~2095年の予測)(SI単位系) 83107795_SI.hasH -那覇 36300110_SE_forACLD8501.has <一東京 2010年版標準年気象データ(SE単位系,hasフォ 3 └WEADAC PeakWD <--このフォルダの下に鹿児島・シンガポール・ニューヨーク・シドニーの各6種のピーク気象データがあります -<u>-</u> 12467_KAGOSHIMA_SI_S10.hasH <一鹿児島の冷房ピーク気象データ(TAC1%)(SI単位系) 他5つ<--シンカホールの冷房ピーク気象データ(TSC2.5%)(SI単位系) 他5つ 12524 SINGAPORE CHANGI AIR SI S25.hasH 14155 NEW YORK LA GUARDIA SI S50.hasH 16150 SYDNEY AIRPORT SI W10.hasH 12467_KAGOSHIMA_SI_RY.hasH - 鹿児島の標準年気象データ(SI単位系) シンガポールの標準年気象データ(SI単位系) 12524_SINGAPORE CHANGI AIR_SI_RY.hasH 14155_NEW YORK LA GUARDIA_SI_RY.hasH ニューヨークの標準年気象データ(SI単位系) 16150_SYDNEY AIRPORT_SI_RY.hasH <一シドニーの標準年気象データ(SI単位系) ACLD_HEX15_inp ACLD_HEX15の入力データの作成、計算実行、ZONE集計を行う。 ZONEの出力結果をグラフに表示する。(年間・簡易出力用) ZONEの出力結果をグラフに表示する。(年間・詳細出力用) ACLD_HEX15_InputSheet.xlsm **<==** \Box Graph_年 · 簡易.xlsm Graph_年 · 詳細.xlsm <== <== <u>(5)</u> Graph_ピーク・簡易.xlsm Graph_ピーク・詳細.xlsm ZONEの出力結果をグラフに表示する。(ピ -ク・易出力用) ZONEの出力結果をグラフに表示する。(ピーク・詳細出力用) **2**)} *** Input.txt HASP_inp15.exe で作られる ACLD_HEX15 の入力デ *****は任意の文字列 <-- ACLD_HEX15.exe から出力される 室**** の年間熱負荷計算の結果ファイル ****はSPACの名前 ****_.csv (3)₁ ****はSPACの名前 ****_C.csv <-- ACLD_HEX15.exe から出力される 室**** の夏期ピーク熱負荷計算の結果ファイル 3 t C ****はSPACの名前 **** H.csv <-- ACLD HEX15.exe から出力され 吉果ファイル (3)# H ****はSPACの名前 SPAC **** csv - HASP zone15.exe から出力さ ァイル SPAC **** C.csv <-- HASP zone15.exe から出力さ !果ファイル ****はSPACの名前 作業域 SPAC_****_H.csv ****はSPACの名前 HASP_zone15.exe から出力さ **ま果ファイル 4**) I ZONE_****.csv HASP_zone15.exe から出力され 結果ファイル ****はSPACの名前 ZONE_****_C.csv HASP_zone15.exe から出力されるZONEの**** の夏期ピーク熱負荷計算の結果ファイル ****はSPACの名前 NASE_Zone15.exe から出力されるZONEの**** の复規ピーク熱負荷計算の結果ファイル ZONE_****_H.csv ****はSPACの名前 更に上位にMzone、Tzoneのゾーン集計があります。 ****はSPACの名前 <-- ACLD_HEX15.exe から出力される気温と絶対湿度の年間気象データ weath.dat weath C dat <-- ACLD HEX15.exe から出力される気温と絶対湿度の夏期ピーク気象データ - ACLD-HEX15.exe-から出力される気象データ weath_H.dat Sample サンプル用の入力および結果のファイルが入っています。 UserData <-- ユーザーが計算した入力および結果一式を保存するためのフォルダです。 \bigcirc OriginalFiles <-- ACLD_HEX15_InputSheet.xlsmおよび4つのGraph用のEXCELの元ファイルが入っています。</p> 2 KeepOut このフォルダより下にACLD_HEX15_inpの仕掛けが入っています。 CSVinp <-- ACLD HEX15 InputSheet.xlsmの入力の3つの画面のcsvファイルが入ります。 ***_COMMOM.csv ****は任意の文字列 (2)/pn ******_SPAC.csv *****は任音の文字列 ******_ZONE.csv *****は任音の文字列 fnameHASP_inp.txt BAT BATファイル、fNAMEファイルなどが入っています。 2= 31 31 HASP_inp.bat (2)t (3)_E ACLD_HEX15.bat (3p HASP_zone.bat HASP_inp_Exec 3つの実行モジュール(exeファイル)が入っています。 2/2 HASP_inp.exe (3) ACLD HEX15.exe (3/1)

<==NewHASP_2_inpのホルダー構成はACLD_HEX15_inpと同様です。 NewHASP_2_inp

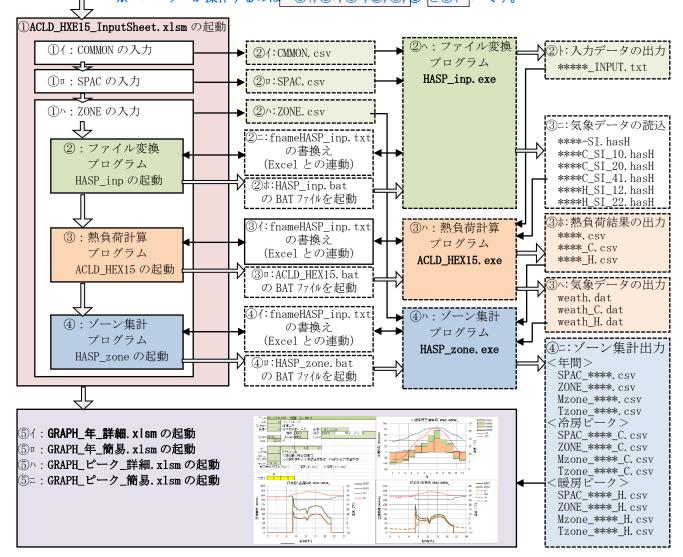
HASP zone.exe

(5) HASPinp の操作と動作の流れ

- ・前図 II-1 と次図 II-2 を使って HASPinp の処理の流れを説明します。(○の番号は両図に共通です)
- ・ユーザーが操作するのは図II-2の実線の枠の範囲です。他はIASPinpが自動的に処理します。
 - 操作① ①OriginalFiles のフォルダから①と⑤の Excel ファイルを作業域にコピーします
 - 操作① ①ACLD_HEX15_InputSheet. xlsm を立ち上げ ⇒①イロハ<COMMON><SPAC><ZONE>を入力します

 - 操作④ 続いて① $^{<}$ ZONE>の画面で④ $^{<}$ ブーン集計」を選ぶと、④ $^{<}$ fnameHASP_inp. txt がカスタマイズされ、④ $^{\circ}$ HASP_zone. bat によって \rightarrow ④ $^{\wedge}$ HASP_zone. exe が起動されます。④ $^{\wedge}$ は、① $^{\wedge}$ ZONE. csv と③ * 熱負荷ファイルを読み込み \rightarrow ④ $^{<}$ ビーン集計ファイルを出力します。
 - 操作⑤ 最後に、Graph の⑤イ、⑤ロ、⑤ハ、⑤ニで該当するものを起動してグラフを描きます。

図Ⅱ-2 ACLD_HEX15_inp の処理の流れ

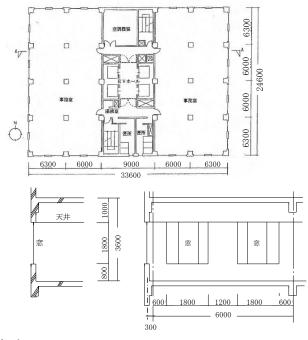


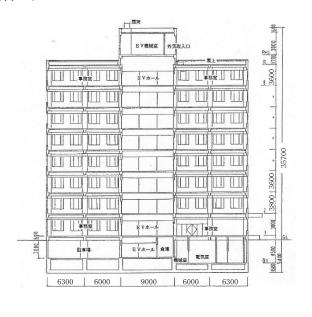
2. HASPinp によるケーススタディ

(1) 建物モデルと計算条件

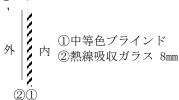
・本書で計算するモデル建物(事務所ビル)を図Ⅱ-3に示します。 これは日本建築学会の「標準モデル」(1985年)です。 この中で基準階の西側の事務室 (MFW)と東側の事務室 (WFE)を対象に熱負荷計算することにします。 場所は東京とします。

図Ⅱ-3 建物モデル









外壁(居室部分)



①32:石こう板 12mm ②92:非密閉中空層

382: ガロストエ信 382: ガル発泡板(押出し) 25mm 4)22:普通コンクリート 150mm

⑤27:モルタル 20mm ⑥36:タイル 8mm

外壁(天井内)



④87: ポリスチレン発泡板 25mm③22:普通コンクリート 150mm

②27:モルタル 20mm ①36:タイル 8mm

間仕切壁



①27:モルタル 20mm

内 ②22:普通コンクリート 100mm

③27:モルタル 20mm

居室の屋根



⑦27:モルタル 60mm
 ⑥87:ポリスチレン発砲板 25mm
 ⑤43:アスファルトルーフィング 10mm
 ④22:普通コンクリート 150mm

③92:非密閉空気層②32:石こう板 9mm①75:岩綿吸音板 12mm

居室の床・天井

内

①41:床用プラスティックタイル 3mm②22:普通コンクリート 150mm

③92: 非密閉空気層④32: 石こう板 9mm⑤75: 岩綿吸音板 12mm

柱

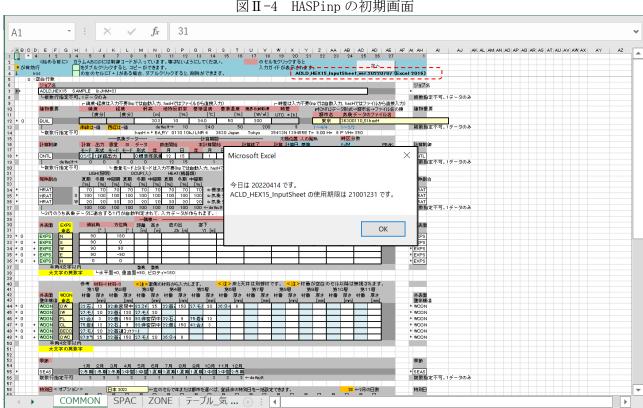


内

①27:モルタル 20mm②22:普通コンクリート (芯材は厚さ記しない)

(2) HASPinp を立ち上げる

- ・最初に、OriginalFiles のフォルダから次の5つの Excel ファイルを作業域にコピーするのですが、 ここでは既に入力済のファイルを Sample のフォルダ からコピーして利用することにします。
- ・Sample のフォルダから作業域にコピーした ACLD_HEX15_InputSheet.xlsm を立ち上げます。
- ・下図Ⅱ-4は、ACLD_HEX15_InputSheet.xlsmの〈COMMON〉の画面です。
- 本書は、2022 年 3 月 30 日版の HASPinp で試算し、執筆しています。
- ・画面中の小窓は、有効期限 21001231 などの表示で、|OK|をクリックすると消えます。
- ・HASPinpのExcelファイルにはマクロが組み込まれています。 マクロを有効化していれば、<〇部>(1)のような表示は出ません。



図Ⅱ-4 HASPinpの初期画面

- ・図Ⅱ-4は<COMMON>の入力画面(sheet)ですが、この他にユーザーが操作するのは<SPAC>と<ZONE> の入力画面(sheet)です。また、<ZONE>の画面では実行モジュールの起動操作もします。 この他の sheet には HASPinp の色々な仕掛けのための sheet であり、ユーザーは操作しません。
- ・入力画面のセルが色分けされていますが、ユーザーが操作できるのは以下のセルです。
 - ・| 白色 | 薄黄色 薄水色 の太枠で囲まれたセルはデータを入力するセルです。
 - ・ | 薄鼠色 | のセルはユーザーは操作しませんが、HASPinp が自動的にデータを入力します。
 - ・陳瓦色のセルをクリックすると、簡単な入力ガイドが表示されます。
 - 緑色 薄緑色 のセルはデータ行の追加や削除の操作をするセルです。

<sheet とセルの保護>

各 sheet には HASPinp の色々な仕掛けが仕組まれています。 この仕掛けが壊れると HASPinp が正しく動作しなくなるので、各 sheet には保護が掛かっています。 ・入力画面(sheet)でも、入力できるセル以外のセルには保護が掛かっています。

<入力セルの入力規則>

・入力セルには、整数・実数・文字の区別や、入力できる数値の範囲、文字列の長さ、リスト入力な どの Excel の入力規則が組み込まれています。この機能により入力ミスはほぼ生じません。

(3) ユーザーが操作する HASPinp の3つの画面

- ・図Ⅱ-5c の〈COMMON〉、図Ⅱ-5s の〈SPAC〉、図Ⅱ-5z の〈ZONE〉がユーザーが操作できる3つの画面です。
- ・3 つの画面は既に入力済です。ほとんどが(4)節で説明する 4 つのケースに共通です。 各ケースで変更するのは〈CNTL〉の計算条件と〈BUIL〉の都市・気象データだけです。

図II-5c < COMMON > の入力画面

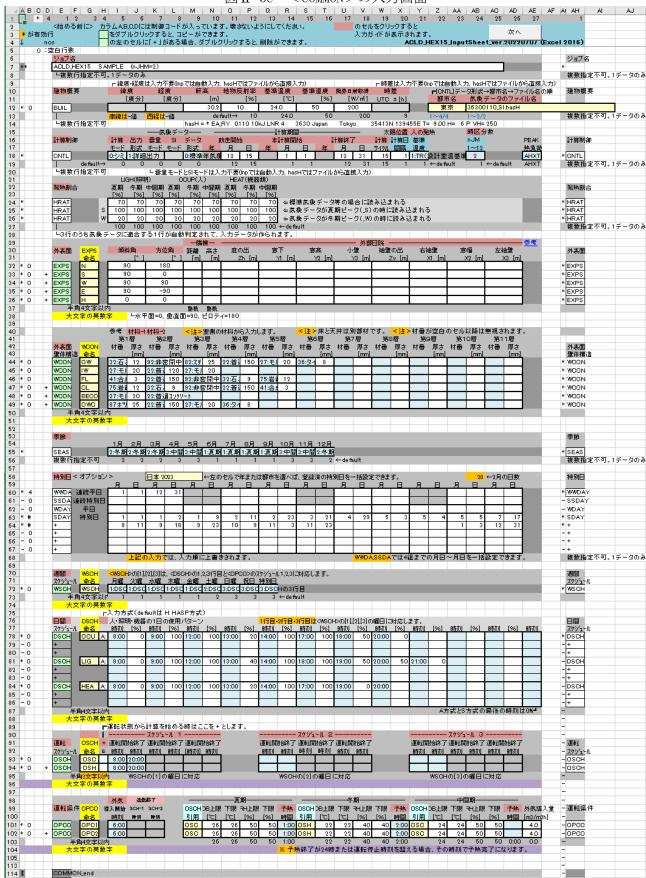
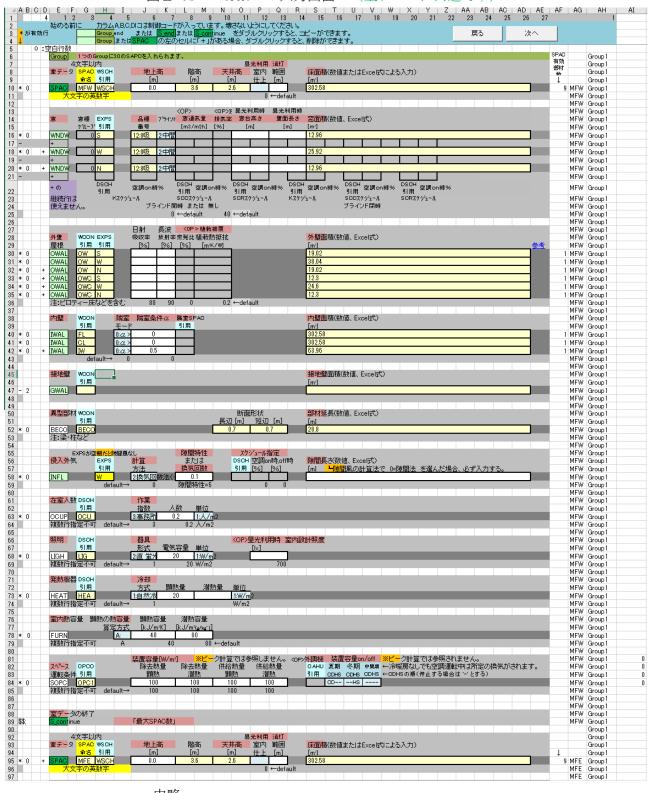


図 II -5s < SPAC>の入力画面 (全ケースに共通です)



中略

166			装置容量[W/n		-ク計算では参		(OP)外部	機装置	聖容量 0		<mark>※ピー</mark> ク!	計算では	参照され	ません	<i>7</i> 0					ИFE	Group 1	0
167	スペース OPCO		除去熱量	除去熱量	供給熱量	供給熱量	O.A				←冷暖房					典気が	されま1	す。	1	ΨFΕ	Group 1	0
168	運転条件 引用		頭熱	潜熱	顕熱	潜熱	315	E CDHS	ODHS	ODHS	← CDHS თ	順(停止)	する場合	はピと	する)				1	MFE	Group 1	0
169 * 0	SOPC OPC1		100	100	100	100		CDHS	CDHS	CDHS									1	√IFE .	Group 1	- 0
170	複数行指定不可 0	default→ ¯	100	100	100	100													1	ИFE	Group 1	
171																			1	ИFE	Group 1	
171 172																			1	ИFE	Group 1	
173	室データの終了																		1	MFE	Group 1	
174 \$\$:	S_continue		「最大SPAC数	J															1	ИFE	Group 1	
175 181																					Group 1	
181																						
182	<u>グルー</u> ブ の終了																					
183 \$	Group_end	<注>	・ 同一グループ	内のSPAC数の	り上限は10室。	です。																
184																						
185																						
186																						
187 *	CMPL																					
188																						

図 II-5z < ZONE > の入力画面 (全ケースに共通です)

						one"と段		戻る		ファー	(ル変換	Į.	熱負	荷計算		Zone集	āt
				L.													
	SPAC				17	再読込											
	No	key	name	full name	SPAC数	area (m2)											
*	1	SPÁC	MEW		1	302.58											
*	2	SPAC	MFE		1	302.58											
	3	SPAC			1	0											
	4	SPAC			1	0											
	5	SPAC			1	0											
	6	SPAC			1	0											
	7	SPAC			1	0											
	8	SPAC			1	0											
	9	SPAC			1	0											
	10	SPAC			1	0											
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	ZONE			指定できま	せん)→	10			ONE	に 属	する SF	AC数	の定	Ę			
	No	key	name	full name		area (m2)	MFW										
*	1	ZONE	Z_MF		2		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	ZONE		1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	ZONE			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	ZONE			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	ZONE			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	ZONE			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7	ZONE		1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8	ZONE		1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9	ZONE			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10	ZONE			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		・・**・*	CONTRA	+10.000-20.000 +	H.C.V.	10	-	L.					A	-			
	Mzone No	数の変更 key			せんハー												
	IND		name.	full same	CDAC##		Z ME		/Izone	に属	する Z()NE数	<i>の</i> 定:	F%			
			name	full name	SPAC数	area (m2)	Z_MF								0	0	
	1	Mzone	name	full name	SPAC数 0	area (m2) 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1 2	Mzone Mzone	name	full name	SPAC数 0	area (m2) 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1 2 3	Mzone Mzone Mzone	name	full name	SPAC数 0 0	area (m2) 0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0 0	0	0	
	1 2 3 4	Mzone Mzone Mzone Mzone	name	full name	SPAC数 0 0 0	area (m2) 0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	0 0	
	1 2 3 4 5	Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone	name	full name	SPAC数 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0	0 0	0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0	0	0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	1 2 3 4 5	Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone	name	full name	SPAC数 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7	Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone	name	full name	SPAC数 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	1 2 3 4 5	Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone	name	full name	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7	Mzone	name	full name	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7 8	Mzone	name	full name	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7 8	Mzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 10	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone Mzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 Tzone No	Mzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 area (m2)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 Tzone No	Mzone Tzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 area (m2)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 Tzone No 1 2 3	Mzone Tzone Tzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 4 5 6 6 7 7 8 8 9 10 Tzone No 1 2 2 3 3 4 4	Mzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 3 4 5 5 6 6 7 7 8 9 9 10 Tzone No 1 2 2 3 4 4 5 5	Mzone Tzone Mzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 7 8 8 9 110 Tzone No 1 2 2 3 4 4 5 6 6	Mzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 4 5 6 6 7 7 8 8 9 10 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 7 8 9 9 10 1 1 2 2 7 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Mzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 4 5 6 6 7 7 8 9 10 Tzone No 1 2 2 3 4 5 6 6 7 7 8 8 8 9 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	Mzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 2 3 4 4 5 6 6 7 7 8 8 9 10 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 7 8 9 9 10 1 1 2 2 7 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Mzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone Tzone	name	full name 指定できま	SPAC数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	area (m2) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

補足: 〈COMMON〉 次節(4)の①ケース1(次章2-1 ケース1)の入力になっています。

〈SPAC〉 2つの SPAC (MFW と MFE) が入力されています。

<ZONE> 2つの SPAC (MFW と MFE) を集計した ZONE (Z_MF) が定義されています。

 <ZONE>の画面の上部の
 ファイル変換
 熱負荷計算
 Zone 集計
 のボタンをクリックして、
 実行モジュールを起動します。

(4) 4つのケーススタディ(計算モードと出力形式)

・ここでは、計算モード: 年間計算(シミュレーションモード) と

ピークモードの計算(冷房ピークと暖房ピーク)

出力形式 : 詳細出力と簡易出力

を取り上げます。

これらの組み合わせで4ケースとします。

- ①ケース1 (年間計算、詳細出力)
- ②ケース2(冷房ピーク計算と暖房ピークを計算、詳細出力)
- ③ケース3 (年間計算、簡易出力)
- ④ケース4(冷房ピーク計算と暖房ピークを計算、簡易出力)

これを 2-1 章~2-4 章で実際に操作していきます。

(5) 計算モード (シミュレーションモード と ピーク計算)

<シミュレーションモードの計算>

- 一般的な非定常熱負荷計算の計算法です。
- ・装置容量(冷暖房の能力のことです)を与条件とします。
- ・この装置容量の制約の中で、除去熱量(空調で処理すべき熱量)を求めます。

<ピークモードの計算>

- ・空調設計用の装置容量を求めるための計算法です。
- 予熱時間数を与条件とします。
- ・予熱中の除去熱量は未知数です。なお、予熱中の除去熱量は一定値とします。
- ・未知数のまま計算を進めて、予熱終了時に、室温湿度が設定条件になるように、予熱中の除去熱量の値を解きます。
- ※予熱時間以外は、装置容量の制約を外して除去熱量が求められます。
 - 一般的には、予熱中の除去熱量がピーク値で求めたい装置容量ですが、夏期では予熱時間以外でピーク値が発生することがあります。

(6) 出力形式(詳細出力と簡易出力)

- ・計算そのものは、詳細出力も簡易出力も、全く同じです。出力形式の違いだけです。
- ・HASPでは、同時刻で直前と直後の2回計算します。

空調開始時刻、外気導入開始時刻、空調終了時刻では計算条件が不連続に変化するため、 同じ時刻に2回計算する必要があります。

・なお、空調が継続停止中、継続運転中で外気導入にも変化がない場合は、 直前・直後で条件は変わらないので、直前で計算した結果を直後の値に流用します。

<詳細出力>

同じ時刻の直前と直後の2回出力されます。

詳細出力では、同じ時刻に2つの値を持つので、例えば、空調開始時の除去熱量を折れ線で描くと、 直前の値0から直後に不連続に立ち上がるように描かれます。

<簡易出力>

同じ時刻に1回だけ平均値が出力されます。

なお、平均値と言っても、同じ時刻の直前と直後の平均値ではありません。 前時刻の直後の値と当時刻の直前の値の平均値が、当時刻の値として出力されます。

例えば、時間区分が1(60分計算)の場合、

8時に出力される値は、7時直後の値と8時直前の値の平均値です。 9時に出力される値は、8時直後の値と9時直前の値の平均値です。 10時に出力される値は、9時直後の値と10時直前の値の平均値です。

※簡易出力では棒グラフで熱負荷を描きます。

上記で例えば、空調開始時が9時とすると、

8時の棒グラフの値は0で、9時から棒グラフが立ち上がる図になります。

簡易出力でも、空調開始前後の棒グラフは不連続に見えます。

2-1 ケース1:年間計算・詳細出力

(1) 入力データの確認

・入力済の ACLD_HEX15_InputSheet.xlsm ですが、計算条件に関係する項目に絞って確認します。

① 計算モード・出力形式・気象データ (ここだけケースによって変わります)



〈CNTL〉 ・計算モード

0:シミュレーションモード(装置容量を与条件として除去熱量を求める)

• 出力形式

1:詳細出力

東京

・気象データ形式

0:標準年気象データ

• 計算期間

12/15 に助走開始して $1/1\sim 12/31$ の 1 年を本計算とします。

〈BUIL〉 ·都市名

虾市名

・気象データのファイル名 **36300110_SI. hasH** (東京・2001-2110 年平均、SI 単位, hasH 形式) ※気象データ形式 ⇒ 都市名 ⇒ 気象データファイル名 の順に入力します。 これらは候補が"リスト表示"されるのでリストの中から選びます。

〈CNTL〉 以下の項目は全ケースに共通とします

太陽位置の計算日間隔

1:毎日計算します。

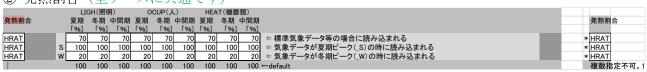
・人の発熱の基準温度

1:TR 基準で季節ごとに変化させます。

· 時区分数(nJHM)

2:2区分、つまり計算時間間隔を30分単位とします。

② 発熱割合(全ケースに共通です)



<HRAT>

・元々の HASP では1行入力でが、HASPinp では年間・冷房・暖房の3行入力します。 気象データのファイル名に合わせて、3行の内の1行が自動的に選ばれます。

※年間気象データの場合は、11カラムが空白の1行目が選ばれます。

気象データが冷房ピーク気象データなら、11 カラムが "S" の 2 行目が選ばれます。 気象データが暖房ピーク気象データなら、11 カラムが "W" の 3 行目が選ばれます。

③ 特別日等(全ケースに共通です)

	-		_ (100	
特別日<	(オプション)	>		日本 2	023		←左の	セルで	年またに	は都市を	選べば	、登録》	年の特別	刊日を一	-括設定	できまっ	す。				28	←2月0	の日数		特	別日
		月	日	- 月 -	- 4 -	-月-) 日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日			
WWDA 1	連続平日	1	- 1	12	31																				*W	WDAY
SSDA 連	e 続特別日																								- S	SDAY
WDAY	平日																								- W	DAY
SDAY	特別日	1	1	1	2	1	9	2	11	2	23	3	21	4	29	5	3	5	4	5	5	7	17	7	* SI	DAY
+		8	11	9	18	9	23	10	9	11	3	11	23							1	3	12	31	1	* +	
+																									- +	
+																									-+	
+																									- +	
	_		上記0)入力で	ごは、ノ	しカ順に	こ上書	きされま	す。						WWDA	,SSDA	では4約	狙までの	0月日	~月日:	を一括	設定で	きます	-	複	数指定不可。
週間	WSCH	<wsc+< td=""><td>1>の[1]</td><td>.[2].[3](</td><td>t, <ds< td=""><td>CH>の1</td><td>,2,3行</td><td>目と<0P</td><td>co>တ</td><td>スケジュー</td><td>ル1,2,3に</td><td>対応し</td><td>ます。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>返</td><td>間</td></ds<></td></wsc+<>	1>の[1]	.[2].[3](t, <ds< td=""><td>CH>の1</td><td>,2,3行</td><td>目と<0P</td><td>co>တ</td><td>スケジュー</td><td>ル1,2,3に</td><td>対応し</td><td>ます。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>返</td><td>間</td></ds<>	CH>の1	,2,3行	目と<0P	co>တ	スケジュー	ル1,2,3に	対応し	ます。												返	間
スケジュール	命名	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	祝日	特別日															7.	「シュール
WSCH	WSCH	1:DSC	1:DSC	1:DSC	1:DSC	1:DSC	2:DSC	3:DSC	3:DSC	3:DSC	Hの3行	目													* W	SCH
半角	4文字以广	1	1	1	1	1	2	3	3	3	←defa	ult														

- ・気象データのカレンダーをそのまま使う場合は、この入力は不要です。
 - ・HASP に登録されている 2001-2010 年の標準年気象データでは 2006 年の祝日が登録されています。

なお、祝日は時々変わります。

2006年は12/23が天皇誕生日でした。2018年からは12/23は平日で、天皇誕生日は2/23です。2016年に山の日(8/11)が祝日に追加されました。

- ・〈WWDA〉 一旦 1/1~12/31 を全て七曜に戻しています。
 - <SSDA> 夏休などを、期間で特別日の指定ができますが、上記の例では無指定です。
 - 〈WDAY〉 期間指定した特別日を平日に戻すことができますが、無指定です。
 - <SDAY> 2023年の祝日と1/3と12/31を特別日<SDAY>として登録しています。
 - ※上段の 日本 2023 年 で一括入力できます。(2023 年は 1/1 が日曜日の平年です)
- ・〈WSCH〉 入力例では、日曜と祝日と特別日を同じに扱っています。

ΟK

キャンセル

×

(2) プログラムの実行

2F) プログラムの実行 1/ファイル変換

入力データを確認したので、

<ZONE>の画面で、ファイル変換 ⇒ 熱負荷計算 ⇒ Zone 集計 の順にプログラムを実行します。

手順① 〈ZONE〉の画面で①「ファイル変換」のボタンをクリックします。



Microsoft Excel

ファイルの識別名を入力してください。

【指定したファイル名_SPAC.csv】、

手順② 右の小窓②が出るので、例えば "sample" と入力して、OK ボタンをクリックします。

手順③ 続いて、小窓③で 「ファイル出力 HASP_inp を実行しますか」

処理が完了すると、DOS 窓④に

の表示が出るので、OK ボタンをクリックします。 手順④ HASP_inp. exe が起動すると、DOS 窓④が表示されます。

> "HASP_inp Completed"の表示がでます。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

グレより。

が表示されます。

Tr/lluth HASP_inp を実行しますか?

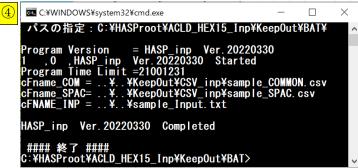
です。

OK

※出力ファイルは、【指定したファイル名 COMMON.csv】、

【指定したファイル名_ZONE.csv】となります。

※出力される入力データファイルは "sample_Input.txt" になります。(⇒表 2-1-F)



2L) プログラムの実行 2/熱負荷計算

手順⑤ 〈ZONE〉の画面で⑤「熱負荷計算」のボタンをクリックします。



手順⑥ 続いて、小窓⑥で「ACLD_HEX15 を実行しますか?」と表示 されるので、OK ボタンをクリックします。

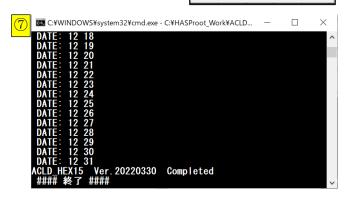
手順⑦ ACLD_HEX15. exe が起動して、熱負荷計算が実行されると DOS 窓⑦が表示されます。

DATE: 12 18 は計算中の日付で、流れるように表示されます。

計算が完了すると DOS 窓⑦に "ACLD_HEX15 Completed" と表示されます。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

・熱負荷計算で出力されるファイルは

MFW_.csv と MFE_.csv と weath.dat です。



Microsoft Excel

ACLD HEX15 を実行しますか?

OK

表 2-1-L に熱負荷計算の結果 (MFW_. csv の例) を示します。

2Z) プログラムの実行3/ゾーン集計

- ・ゾーン集計は元々の HASP にはない HASPinp 独自の機能です。
 - ・1つの室(SPAC)であってもゾーン集計をします。

HASPinp のゾーン集計には、SPAC⇒Zone⇒Mzone⇒Tzone の集計機能の他に、時分⇒日⇒月⇒年の積算機能や、時分ピークや日積算ピークの情報をソートする機能があります。

これらはグラフ作成に必要な情報としてゾーン集計の結果ファイルに反映されます。

手順® 〈ZONE〉の画面で®「ゾーン集計」のボタンをクリックします。



手順⑨ 続いて、小窓⑨で「HASP_zone を実行しますか?」と 表示されるので、OK ボタンをクリックします。

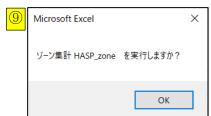
手順⑩ ゾーン集計プログラム HASP_zone. exe が立ち上がり、 実行が開始されると、DOS 窓⑩が表示されます。

DOS 窓⑩には、集計中のゾーンが表示されます。

<S_MAKE_SPAC_file> MZ, SPAC= 1 SPAC_MFW_

<S_MAKE_SPAC_file> MZ, SPAC= 2 SPAC_MFE_

<S_MAKE_UPPER_ZONE> MZ, SPAC= 3 ZONE_Z_MF



- ・上2行の、頭が SPAC_ のゾーンは、熱負荷計算 ACLD_HEX15. exe の結果と同じですが、 冷房・暖房別の負荷や、日・月・年の積算値、日積算ピーク・時分ピークのピーク発生時 をソートした情報などが追加されます。
- ・3 行目の、頭が ZONE_ は、MFW と MFE を集計したゾーン Z_MF の出力です。

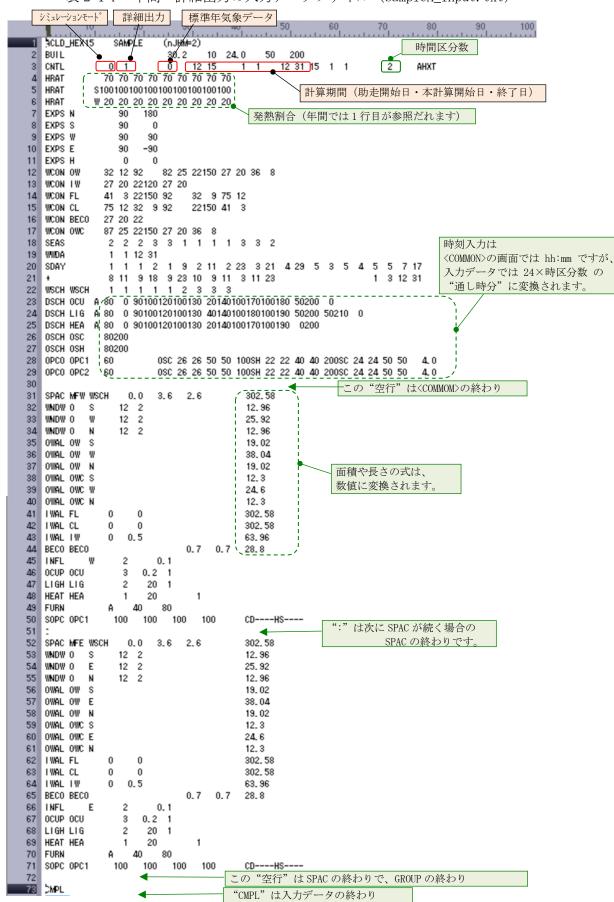
計算が完了すると DOS 窓⑩に "ACLD_HEX15 Completed" と表示されます。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

・ゾーン集計で出力されるファイルは

SPAC_MFW_.csv と
SPAC_MFE_.csv と
ZONE Z MF.csv の3つです。

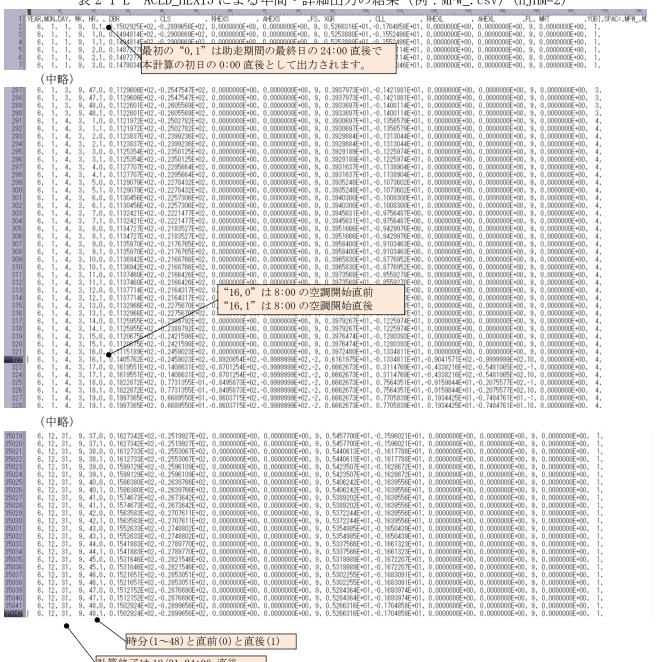
- ・ゾーン集計の出力ファイル名の頭には、SPAC、ZONE、Mzone、Tzone が付くので、元の熱負荷計算の 出力ファイルと区別できます。
- ・この後の手順⑪でグラフを描きますが、HASPinpのグラフはゾーン集計の出力ファイルを使います。
- ・表 2-1-Z に、Zone 集計の結果 (SPAC_MFW_. csv の例) を示します。

表 2-1-F 年間・詳細出力の入力データファイル (sample A Input. txt)



※ ACLD_HEX15 では、SPAC の終わりの":"は"空行"と同じ扱いです。 ACLD_HEX15_inpでの"Group"は入力画面でGroup単位でのコピーなどの操作をするためです。 NewHASP/ACLDやNewHASP_2 のようなGroupでの室間空気移動の機能は、ACLD_HEX15 にはありません。

表 2-1-L ACLD_HEX15 による年間・詳細出力の結果 (例:MFW_.csv) (nJHM=2)



計算終了は 12/31 24:00 直後

- ・先頭は見出行で、横方向に 239 桁あります。2~35041 行が計算結果で、横方向に 168 桁あります。
- ・計算の時区分数が nJHM=2 (30 分間隔) なので、時刻(HR)は 1~48 時分で表示されます。
- ・詳細出力では、同一時刻で、直前(0)と直後(1)の2回の出力があります。
- ・総出力行数は 見出1行+0時分の行+8760×2(詳細出力)×2(時区分数) = 35042行になります。

表 2-1-Z HASP_zone による年間・詳細出力の結果(例: SPAC_MFW_.csv)(nJHM=2)

```
出力: 1、気象: 0、Area: 302.6、Class:、SPAC、Name: MFW、Lname: RPS、 RPS、 RPS、 RPS、 RPS、 APPS APPS (1.0000000E+00, 0.0000000E+00, 0.0000000E+00, 0.0000000E+00, 0.000000E+00, 0.0000000E+00, 0.000000E+00, 0.00000E+00, 0.000000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.000000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.000000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000E+00, 0.00000
                                      YEAR, MON, DAY,
                                                                                                                            9, 2.1. 0.1487277
9, 3.0, 0.1479034本計算の初日の0:00直後として出力されます。
                                                               (中略)
                                                                                                                            9, 37.0, 0.1627342E+02,-0.2519827E+02, 0.0000000E+00,-0.2519927E+02, 0.0000000E+00, 0.000000E+00, 0.000000E
                                                                                                                                                39.0.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 .0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                -0.2596109E+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       0.0000000E+00,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               0.0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            0.0000000E+00, 0.0000000E+00,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.0000000E+00
                                                                                                                                                39.1.
                                                                                                                                                                                                   1599129E+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                0.2596109E+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  0.2596109E+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               0.0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        0.0000000E+00.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               0.0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               .0000000E+00.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              0.0000000E+00.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.0000000E+00
                                                                                                                                                40.0.
                                                                                                                                                                                                 1586380E+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                0.2639766E+02.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 .0000000E+00.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                -0.2639766E+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       0.0000000E+00.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               0.0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               .0000000E+00, 0.0000000E+00,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.0000000E+00
                                                 6, 12, 31, 9, 40,1, 0.1588380E-02, -0.2833768E-02, 0.0000000E-00, -0.2833768E-02, 0.0000000E-00, 0.0000000E-00, 0.000000E-00, 0.
                                                                        40,1,
41,0,
41,1,
42,0,
42,1,
43,0,
43,1,
44,0,
45,1,
46,0,
46,1,
47,0,
47,1,
                                                                                                                                                                                                                                                                              0.2639766F+02.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 .0000000F+00, -0.2639766F+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.0000000F+00.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        0.0000000E+00.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               0.0000000E+00
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 .0000000F+00, 0.0000000F+00,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.0000000E+00
 35044
                                                                                                                                                                                 35045
35046
35047
                                      YEAR, MON, DAY, WK, JHM, , DBR
                                                                                                                           9, 48, , 9, 48, .
                                                                           1, 1, 1, 2, 1, 3, 1, 4, 1, 5, 1, 6, 1, 7, 1, 8, 1, 9, 1, 10, 1, 11, 12, 1, 12, 1, 13, 1, 14, 1, 15,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 .4718326E+03,
.3463706E+03
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               .2294744E+04,
1.1720785E+04,
                                                                                                                                                48.
                                                                                                                                                                                                                                                                                0.7065691F+03.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            1052940F+04
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           0.1044703E104
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        0.4393748F+02
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             8615694F+03
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     0.000000E+00
                                                                                                                         4, 48, 0.1972418E-02. -0.7085891F-03, 0.3483708E-03. -0.1052940E-04. -0.8178318F-03, 0.4383748E-02. -0.8615894E-03. -0.172785E-04, 0.0000000E-00. -0.172785E-04. 0.000000E-00. -0.172785E-04. 0.000000E-00. -0.172785E-04. 0.000000E-00. -0.172785E-04. 0.000000E-00. -0.172785E-04. 0.000000E-00. -0.172785E-04. 0.000000E-00. -0.00000E-00. -0.000000E-00. -0.000000E-00. 0.000000E-00. 0.0000000E-00. 0.000000E-00. 0.000000E-00. 0.000000E-00. 0.000000E-00. 0.000000E-00. 0.000000E-00. 0
                                                               (中略)
                                                                                                                            5, 48, . 0.2041906E+02, -0.8537181E+03, 0.2787907E+03, -0.1132509E+04, -0.3830785E+03, 0.1074711E+03, -0.4905497E+03, -0.1178224E+04, 0.0000000E+00, -0.1178224E+04, -2-1 
6. 48, . 0.1837840E+02, -0.1572172E+04, 0.0000000E+00, -0.1572172E+04, 0.0000000E+00, 0.000000E+00, 0.0000000E+00, 0.000000E+00, 0.0000000E+00, 0.000000E+00, 0.
                                                      6, 12, 22,
6, 12, 23,
                                                    6, 12, 23,
6, 12, 24,
6, 12, 25,
6, 12, 26,
6, 12, 27,
6, 12, 28,
6, 12, 29,
6, 12, 30,
6, 12, 31,
                                                                                                                         1, 48, , 0, 20428758-02, -0, 5204355-13, 0, 53594188-03, -0, 9365768-03, -0, 1002045-04, -0, 100020000-00, -0, 1002045-04, -0, 10002000-00, -0, 1075740-04, -0, 10002000-00, -0, 1075768-04, -0, 10002000-00, -0, 1075768-04, -0, 10002000-00, -0, 1075768-04, -0, 10002000-00, -0, 1075768-04, -0, 10002000-00, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-04, -0, 1075768-0
                                                 YEAR, MON, DAY, WK, JHM,
                                                    6, \ 13, \ 0, \ .17520, \ 0, \ 0.2340557E+02, \ 0.1059949E+03, \ 0.3074442E+03, \ 0.2014490E+03, \ 0.1348115E+03, \ 0.1893090E+03, \ -0.5449712E+02, \ 0.1887241E+02, \ 0.1554035E+03, \ -0.1065310E+03, \ -2.11490E+03, \ -0.1065310E+03, \ -0.1065
                                                                                                                                                                                                                        AHXT=, 0.5406718E+04, Date=,7/24(月),
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           1. 2. 13. AHXT=.-0.3887293E+04. Date=.2/13(月)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          .Heating Peak D.
                                                                                                                                                                                                                    AHXT=、0.5406718E+04、Date=,7/24(月)

AHXT=、0.5254480E+04、Date=,8/7月

AHXT=、0.5120857E+04、Date=,7/18(火)

AHXT=、0.5100807E+04、Date=,7/18(火)

AHXT=、0.4995203E+04、Date=,8/21(月)

AHXT=、0.4897781E+04、Date=,8/14(月)

AHXT=、0.4481781E+04、Date=,8/4(金)

AHXT=、0.4472771E+04、Date=,8/4(角)

AHXT=、0.4452942E+04、Date=,8/15(火)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          Heating Peak D,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             APAT= -0.38872935年04. Date=.2/13(月)

APAT=-0.3861550E+04. Date=.1/23(月)

APAT=-0.3768478E+04. Date=.1/10(火)

APAT=-0.3531554E+04. Date=.1/10(月)

APAT=-0.308393E+04. Date=.1/30(月)

APAT=-0.3034612E+04. Date=.1/218(月)

APAT=-0.302491E+04. Date=.1/218(月)

APAT=-0.2824895E+04. Date=.1/4(大)

APAT=-0.2824895E+04. Date=.1/4(大)

APAT=-0.2821876E+04. Date=.2/6(月)
                                                                                                                                                                     7, 24,
8, 7,
7, 18,
8, 21,
7, 25,
8, 14,
8, 4,
9, 4,
8, 15,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   23,
10,
16,
30,
18,
14,
4,
6,
                                                          (中略)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            .Heating Peak_D, 28, 2, 9, AHXI=,-0.2202832E+04, Date=,2/9(元), Heating Peak_D, 29, 2, 8, AHXI=,-0.2050982E+04, Date=,2/8(水), .Heating Peak_D, 30, 1, 27, AHXI=,-0.2047023E+04, Date=,1/27(金),
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     Date=,7/24(月) 08:00:1,.Heating Peak_D,
Date=,8/7(月) 08:00:1,.Heating Peak_D,
Date=,7/18(次) 08:00:1,.Heating Peak_D,
Date=,7/18(次) 08:00:1,.Heating Peak_D,
Date=,8/21(月) 08:00:1,.Heating Peak_D,
Date=,8/24(月) 08:00:1,.Heating Peak_D,
Date=,8/24(月) 08:00:1,.Heating Peak_D,
Date=,7/24(月) 08:00:1,.Heating Peak_D,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              2, 13,
1, 23,
1, 10,
1, 4,
2, 27,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        -0.2000000E+03, Date=,2/13(月) 08:00:1,

-0.2000000E+03, Date=,1/23(月) 08:00:1,

-0.2000000E+03, Date=,1/10(火) 08:00:1,

-0.2000000E+03, Date=,1/4(水) 08:00:1,

-0.2000000E+03, Date=,2/27(月) 08:00:1,

-0.1874499E+03, Date=,2/6(月) 08:00:1,

-0.1874499E+03, Date=,2/6(月) 08:00:1,

-0.1874499E+03, Date=,2/6(月) 08:00:1,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             0.1874499E+03,
0.1827494E+03,
0.1793385E+03,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        Date=,8/4(月)
Date=,9/4(月)
Date=,7/24(月)
Date=,8/28(月)
Date=,9/4(月)
Date=,7/31(月)
Date=,8/7(月)
Date=,8/14(月)
Date=,8/21(月)
Date=,8/21(月)
                                                                                                                                                                                                                                                                                20000000
                                                                                                                                                                                                                                                                                1992458E+03.
                                                                                                                                                                 7, 24,
8, 28,
9, 4,
7, 31,
8, 7,
8, 14,
8, 21,
7, 19,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       08:30:0., Heating Peak_D,

08:00:1., Heating Peak_D,

08:30:0., Heating Peak_D,

08:30:0., Heating Peak_D,

08:30:0., Heating Peak_D,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          3, 12, 3, 3,
                                          Cooling Peak_J.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     9,
10,
11,
12,
13,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   20,
25,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           -0.1789516E+03,
-0.1769564E+03,
                                          Cooling Peak J.
                                                                                                                                                                                                                        AHXT
                                                                                                                                                                                                                                                                                1811893E+03.
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              12, 25,
3, 6,
3, 22,
1, 30,
1, 16,
1, 10,
                                          Cooling Peak J.
                                                                                                                                                                                                                        AHXT
                                                                                                                                                                                                                                                                0.1786221E+03,
0.1723337E+03,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   AHXT
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         -0.1766891E+03,
-0.1701885E+03,
                                          Cooling Peak J.
                                                                                                                                                                                                                        AHXT
                                                                                                                                                                                                                        AHXT
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             1685146E+03.
                                                                                                                                                                                                                      AHXT=, 0.1666553E+03, Date=,8/21(月)
AHXT=, 0.1600214E+03, Date=,7/19(水)
                                        Cooling Peak_J,
Cooling Peak_J,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       08:30:0, Heating Peak_D, 
08:00:1, Heating Peak_D,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 AHXT=,-0.1599192E+03, Date=,1/10(火)
```

- ・見出しは2行、3~35043 行は時刻別出力、35046~35410 行が日積算、35413~35424 行が月積算、35426 行が年積算、35428~35457 行が日積算ピーク情報(上位30位)、35459~364558 行が時刻ピーク情報(上位1000位)です。
- ・グラフ用に熱負荷を冷暖別に分けるなど項目数が増えています。

ACLD_HEX15_Inpの検索

種類

ファイル フォルダー

ファイル フォルダー

ファイル フォルダー

ファイル フォルダー Microsoft Excel CSV

Microsoft Excel CSV

Microsoft Excel CSV

Microsoft Excel CSV

キャンセル

更新日時

2022/04/13 18:43

2022/04/17 23:53

2022/04/19 21:58

2021/12/09 23:29

2022/04/24 11:10

2022/04/24 11:10

2022/04/24 11:11

2022/04/24 11:11

2022/04/24 11:11

CSV (*.csv)

ОК

ツール(L) ▼

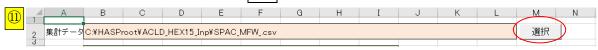
(3) 結果のグラフ/年間計算・詳細出力のグラフ

・最後に、計算結果をグラフにします。

グラフ用のExcel ファイルのうち、ケース1の条件に合う Graph_年_詳細.xlsm を立ち上げます。 ※年間計算とピーク計算、また、詳細出力と簡易出力とでは、データ数やデータ構成に違いがあるので、 条件が一致しないとグラフが描けません。

(12)

手順⑪ <Graph>の画面⑪の2行目にある選択のボタンをクリックします。



すると画面⑫が現れて、ACLD_HEX15_inp のフォルダにあるサブフォルダやファイルが表示さ

■ 集計ファイル選択ダイアログ

整理 ▼ 新しいフォルダー

ACLD_HEX15_Inp

KeepOut

OriginalFiles

sample

Data

HASP

User Data

NewHASP 2 inp

KeepOut

HASProot

→ ↑ ■ « HAS... > ACLD_HEX15_I...

名前

KeepOut

sample

MFE .csv

MFW .csv

ファイル名(N): SPAC MFW .csv

OriginalFiles

User Data

SPAC MFE .csv

SPAC MFW .csv

ZONE Z MF.csv

れます。 ファイル名の頭が

SPAC_

ZONE_ Mzone

Tzone_

となっている csv ファイルがゾーン 集計の出力ファイルです。

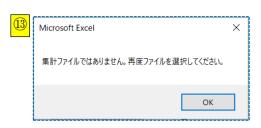
グラフ用の情報が組み込まれています。

手順⑫ 任意のファイルにカーソルを合せます。 ここでは SPAC_MFW_.csv

を選び、OK をクリックします。

すると、この csv ファイルが読み込まれ、 〈Graph〉の画面にグラフが表示されます。(→図 2-1-G) 同時に画面⑫が消えます。

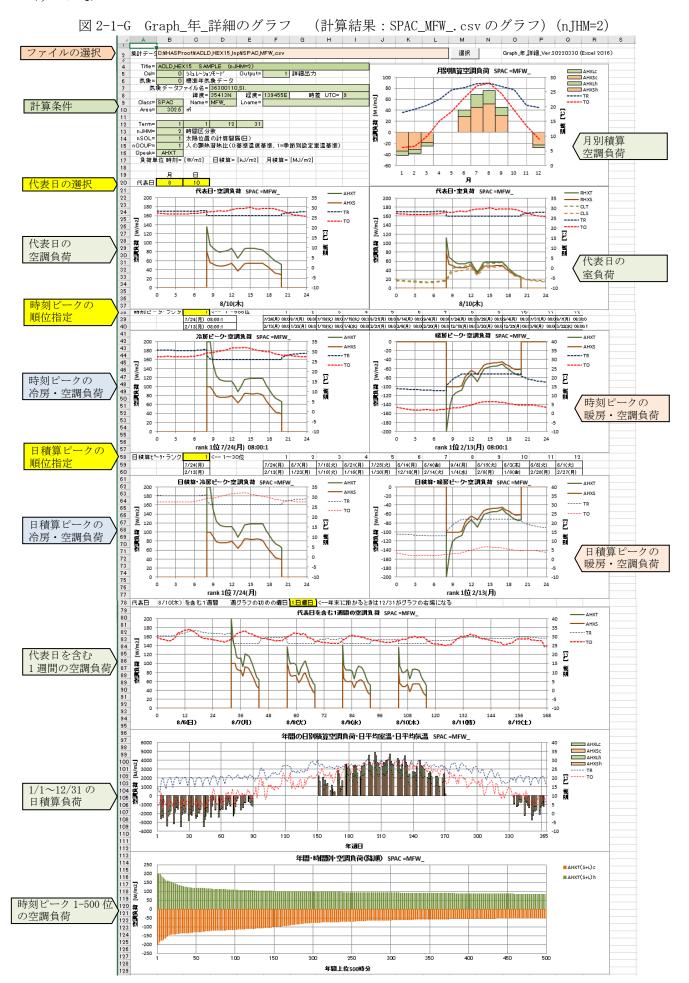
※画面⑫には、MFW.csv、MFE.csv なども表示されますが、 これらは ACLD_HEX15.exe の出力ファイルです。 グラフ用の情報がありません。 これらのファイルを選ぶと右の小窓⑬が表れます。



<年間・詳細のグラフ>

全部で10のグラフがあります。

- ①月別グラフ
- ②代表日の空調負荷: 月日を指定すると、その日の24時間の空調負荷のグラフが表示されます。
- ③代表日の室負荷 : 同じ代表日の室負荷のグラフです。
- ④冷房の時刻ピーク: 順位を指定すると、冷房ピークが出現した日の空調負荷のグラフが表示されます。
- ⑤暖房の時刻ピーク: 同じ順位の暖房ピークが出現した日の空調負荷のグラフが表示されます。
- ⑥冷房日積算ピーク: 冷房日積算ピークの順位を指定すると、その日の空調負荷のグラフが表示されます。 ⑦暖房日積算ピーク: 同じ順位の暖房日積算ピークが出現した日の空調負荷のグラフが表示されます。 ⑧週間グラフ: ②で指定した代表日を含む日~土の1週間の空調負荷のグラフが表示されます。
- ⑨年間日別負荷 : 1/1~12/31 の 365 日の日積算空調負荷が棒グラフで表示されます。
- ⑩年間時刻別負荷 : 冷房と暖房の時刻ピークの上位 500 位までの空調負荷の棒グラフが表示されます。
 - ※④と⑤は上位 1000 位 (簡易出力では 500 位) まで選べます。⑥と⑦は上位 30 位まで選べます。
 - ※④と⑤で、同じ時刻で直前・直後が同じ負荷の場合は直前の負荷のみがカウントされます。
 - ※④と⑤で、負荷が同じ値の場合は、目積算の大きい方が上位の順位になります。
- ※グラフの縦軸のスケールは「自動」になっています。各グラフの縦軸を揃える場合は 「図形の書式設定」⇒「軸のオプション」で最大値と最小値を手動で変更して下さい。
- ※Graph の Excel ファイルには3つの sheet がありますが、ユーザーが操作するのは<Graph>の画面の sheet です。他は仕掛け用の sheet です。厳密な保護は掛かっていないので操作可能ですが、これが壊れるとグラフが描けなくなります。開いても構いませんが触らないで下さい。



2-2 ケース2:ピーク計算・詳細出力

・ピーク計算は冷房と暖房をセットで両方計算します。順不同ですが、ここでは、冷房⇒暖房の順に計 算し、最後に冷房と暖房を一緒にグラフ化します。

(1) 冷房ピーク計算の入力データの変更

・変更するのは ①の COMMON の画面の〈CNTL〉と〈BUIL〉です。

① 出力形式・気象データ



<CNTL> 計算モード 1:ピーク計算 に変更します。

気象データ形式

1:ピーク気象データ に変更します。

計算サイクル

15:ピーク計算の反復回数 (ピーク計算の時に参照されます)

<BUIL> ・都市名 東京 (気象データ形式を変更するとクリアされるので、改めて入力します)

・冷房ピーク気象データ **3630C_10_SI. hasH** (東京・冷房 h-t 基準・SI 単位, hasH 形式) ※ 気象データ形式 ⇒ 都市名 ⇒ 気象データファイル名 の順に入力します。 これらは"リスト表示"されるのでリストの中から選択します。

② 発熱割合 (入力データには変更ありません)

O 70/11/14	•	· ·		•		-1015				• • •	
	LI	GH(照	明)	0	CUP(人	.)	HEA	T(機器	類)		
発熱割合	夏期	冬期	中間期	夏期	冬期	中間期	夏期	冬期	中間期		発熱割合
	Γ%]	۲%]	۲%]	Γ%]	Γ%]	Γ%]	۲%]	۲%]	Γ%]		
HRAT	70	70	70	70	70	70	70	70	70	⇐ 標準気象データ等の場合に読み込まれる	* HRAT
HRAT S	100	100	100	100	100	100	100	100	100		* HRAT
HRAT W	20	20	20	20	20	20	20	20	20		* HRAT
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	←default	複数指定不可。1

<HRAT>

- HASPinpでは年間・冷房・暖房の3行入力します。
- ・気象データのファイル名 3630C₁₀SI. hasH によって年間か冷房か暖房かを判別して 冷房ピーク気象データなら、11 カラムが "S" の 2 行目が自動的に選ばれます。 ※ピーク気象データファイル名の"C"または"S"が〈HRAT〉の"S"に対応します。
- ③ カレンダー(変更ありませんが、ピーク気象データにも日付があります。特別日の入力と重ならないようにします)

④ 予熱時間数 (入力データには変更ありません)



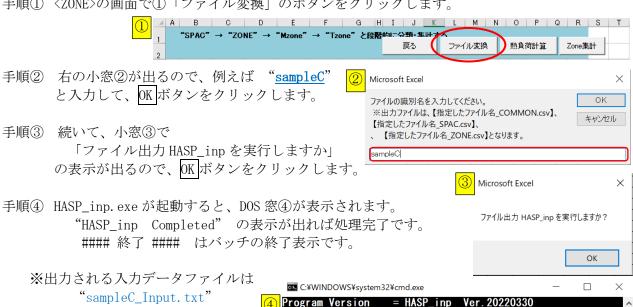
- ※「ピークモードの計算」を計算を選んだ場合にのみ、<OPCO>の予熱時間が参照されます。
 - ・上記の例では、夏期の予熱時間数は 1.0 時間、冬期は 2.0 時間、中間期は 1.0 時間です。 ※中間期の予熱時間は ACLD HEX15 の独自機能です。NewHASP/ACLD および NewHASP 2 では中間 期の予熱時間は0時間になります。
 - 〈OSCH〉・空調はいずれも8:00運転開始で、20:00に運転停止です。
 - <OPCO> ・夏期では、8:00 に予熱を開始して、予熱は1時間で、9:00 に予熱完了です。
- ※「ピークモードの計算」では、予熱時間帯の除去熱量は一定値としますが、その値は未知数です。 予熱完了時に、室温湿度が設定条件になるように予熱時間帯の除去熱量の値を解きます。 なお、予熱時間帯の以外では、シミュレーションモードで計算しますが、ピークモード計算では装置 容量の制限を設けません。よって、ピーク熱負荷が予熱時間帯以外の時間に発生することがあります。 ※「ピークモードの計算」でも、室温湿度の設定値に上限と下限を設けることができます。
- 予熱終了時に室温湿度が上限と下限の間に入る場合は、予熱時間帯の除去熱量はゼロになります。

(2) 冷房ピーク計算のプログラムの実行

2F) 冷房ピーク計算のプログラムの実行 1/ファイル変換

・〈ZONE〉の画面で、ファイル変換 ⇒ 熱負荷計算 ⇒ Zone 集計 の順にプログラムを実行します。

手順①〈ZONE〉の画面で①「ファイル変換」のボタンをクリックします。

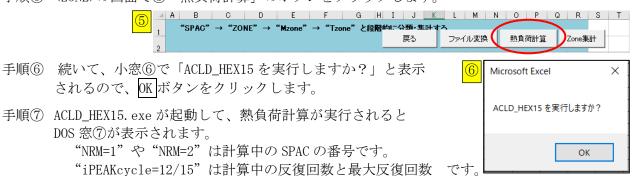


※出力される入力データファイルは になります。(⇒表 2-2-F)



2L) 冷房ピーク計算のプログラムの実行 2 / 熱負荷計算

手順⑤ 〈ZONE〉の画面で⑤「熱負荷計算」のボタンをクリックします。



計算が完了すると DOS 窓⑦に "ACLD_HEX15 Completed" と表示されます。

終了 #### はバッチの終了表示です。

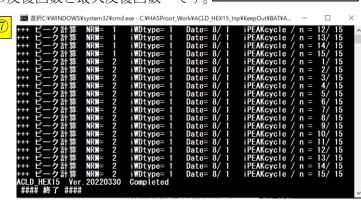
・熱負荷計算で出力されるファイルは

MFW__C. csv & MFE__C. csv & weath_C. dat です。

ピーク計算の場合の出力ファイルには、

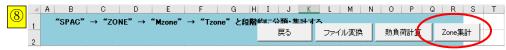
気象データの 3630C_10_SI. hasH の "C" が出力ファイル名の末尾に付けられます。

表 2-2-Lc に熱負荷計算の結果 (MFW C. csv の例) を示します。

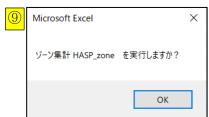


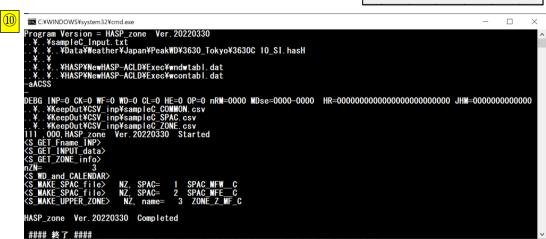
2Z) 冷房ピーク計算のプログラムの実行3/ゾーン集計

- ・ゾーン集計は元々の HASP にはない、HASPinp 独自の機能です。
 - ・1 つの室(SPAC)であってもゾーン集計をします。HASPinpのゾーン集計には、(SPAC)の結果を集計する機能の他に、日月年の積算やピーク情報を集める機能があります。これらはグラフ作成に必要な情報としてゾーン集計の中で作られます。
 - 手順® 〈ZONE〉の画面で®「ゾーン集計」のボタンをクリックします。



- 手順⑨ 続いて、小窓⑨で「HASP_zone を実行しますか?」と 表示されるので、OK ボタンをクリックします。
- 手順⑩ ゾーン集計プログラム HASP_zone. exe が立ち上がり、 実行が開始されると、DOS 窓⑩が表示されます。





- ・DOS 窓⑩には、集計中のゾーン名が表示されます。
- ・計算が完了すると DOS 窓⑩に "HASP_zone Completed" と表示されます。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。
- ・ゾーン集計で出力されるファイルは、

ゾーン集計の出力ファイル名の頭には、SPAC、ZONE、Mzone、Tzone が付くので、元の熱負荷計算の 出力ファイルと区別できます。

ファイル名の末尾には、ピーク気象データのファイル名 3630C_10_SI. hasH から取った記号 "C" が付けられます。これにより、年間計算や次節の暖房ピークの出力ファイルと区別できます。

- ・この後の手順⑪でグラフを描きますが、HASPinpのグラフはゾーン集計の出力ファイルを使います。
- ・表 2-2-Zc に、Zone 集計の結果 (SPAC_MFW_C. csv の例) を示します。

(3) 暖房ピーク計算の入力データの変更

- ・冷房ピークの計算が終わったので、次ぎに暖房ピークの計算に移ります。
- ・変更するのは(1)の COMMON の画面の〈BUIL〉の「気象データのファイル名」だけです。

① 出力形式・気象データ



<CNTL> ・計算モード 1:ピーク計算 (変更が無いことを確認します)

・計算サイクル 15:ピーク計算の反復回数 (変更が無いことを確認します)

・気象データ形式 1:ピーク気象データ (変更が無いことを確認します)

(BUIL) ・都市名 **東京** (変更が無いことを確認します)

・冷房ピーク気象データ **3630H_12_SI. hasH** (東京・暖房 t-x 基準・SI 単位, hasH 形式)

※ 気象データ形式、都市名は変わらないので、気象データファイル名 のみ変更します。

② 発熱割合 (入力データには変更ありません)

		LIC	H(照明	明)	0	CUP()	()	HEA	T(機器	類)		
発熱割合		夏期	冬期	中間期	夏期	冬期	中間期	夏期	冬期	中間期		発熱割合
	_	۲%]	Γ%]	۲%]	۲%]	۲%]	Γ%]	۲%]	Γ%]	[%]		
HRAT		70	70	70	70	70	70	70	70	70	⇐ 標準気象データ等の場合に読み込まれる	* HRAT
HRAT	S	100	100	100	100	100	100	100	100	100		* HRAT
HRAT	W	20	20	20	20	20	20	20	20	20		* HRAT
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	←default	複数指定不可

〈HRAT〉 ・HASPinpでは年間・冷房・暖房の3行入力します。

・気象データのファイル名 3630H_12_SI. hasH によって冷房か暖房かを判別して 暖房ピーク気象データなので、3 行目が冬期の " $\overline{\mathbf{W}}$ " が自動的に選ばれます。

※ピーク気象データファイル名の"H"または"W"が〈HRAT〉の"W"に対応します。

③ カレンダー(変更ありませんが、ピーク気象データにも日付があります。特別日の入力と重ならないようにします)

④ 予熱時間数 (入力データには変更ありません)



- ※「ピークモードの計算」を計算を選んだ場合にのみ、〈OPCO〉の予熱時間が参照されます。
 - ・上記の例では、夏期の予熱時間数は1.0時間、冬期は2.0時間、中間期は1.0時間です。

〈OSCH〉・空調は、いずれも8:00 運転開始で、20:00 に運転停止です。

〈OPCO〉・冬期では、8:00 に予熱を開始して、予熱は2時間で、10:00 に予熱完了です。

- ※ピークモードの計算と室温湿度の設定値の上下限については前節(2)の冷房ピークの補足を参照して下さい。
- ※この入力例では 運転開始時は年間計算、冷房ピーク、暖房ピークで共通の8:00 としています。 予熱時間は、冷房ピークでは1時間、暖房ピークでは2時間としています。このため、室温が設定温度になるのは、冷房ピークが9:00、暖房ピークが10:00です。

暖房ピークで室温が設定温度になるのを 9:00 にする場合は、 $\langle 0SCH \rangle$ の "0SH" の運転開始を 7:00 にします。なお、この場合、年間計算でも冬期の運転開始は 7:00 になります。

キャンセル

OK

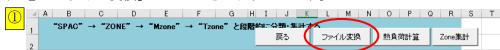
×

(4F) 暖房ピーク計算のプログラムの実行

4F) 暖房ピーク計算のプログラムの実行 1/ファイル変換

・〈ZONE〉の画面で、ファイル変換 ⇒ 熱負荷計算 ⇒ Zone 集計 の順にプログラムを実行します。

手順①〈ZONE〉の画面で①「ファイル変換」のボタンをクリックします。



Microsoft Excel

ファイルの識別名を入力してください。

【指定したファイル名 SPAC.csv】、

※出力ファイルは、【指定したファイル名 COMMON.csv】、

Microsoft Excel

Microsoft Excel

ACLD_HEX15 を実行しますか?

ファイル出力 HASP_inp を実行しますか?

【指定したファイル名_ZONE.csv】となります。

手順② 右の小窓②が出るので、例えば "sampleH" と入力して、OK ボタンをクリックします。

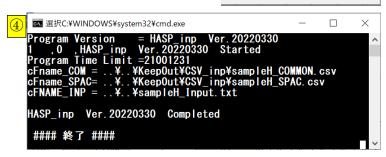
手順③ 続いて、小窓③で

「ファイル出力 HASP_inp を実行しますか」 の表示が出るので、OK ボタンをクリックします。

手順④ HASP_inp. exe が起動すると、DOS 窓④が表示されます。 下から3行目の

"HASP_inp Completed" の表示が出れば処理完了です。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

※出力される入力データファイルは "sampleH_Input. txt" になります。(⇒表 2-2-F)



4L) 暖房ピーク計算のプログラムの実行2/熱負荷計算

手順⑤〈ZONE〉の画面で⑤「熱負荷計算」のボタンをクリックします。



手順⑥ 続いて、小窓⑥で「ACLD_HEX15 を実行しますか?」と表示 されるので、 $\overline{\text{OK}}$ ボタンをクリックします。

手順⑦ ACLD_HEX15. exe が起動して、熱負荷計算が実行されると DOS 窓⑦が表示されます。

"NRM=1"や"NRM=2"は計算中のSPACの番号です。

"iPEAKcycle=12/15" は計算中の反復回数と最大反復回数 です。

計算が完了すると DOS 窓⑦に "ACLD_HEX15 Completed" と表示されます。 #### 終了 ####

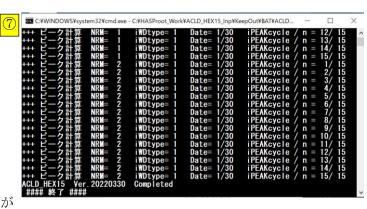
はバッチの終了表示です。

・熱負荷計算で出力されるファイルは MFW H.csv と

MFE_H. csv と

weath_H. dat です。

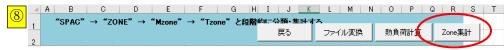
ピーク計算の場合の出力ファイルには、 気象データの $3630H_12_SI.hasH$ の"H" が 出力ファイル名の末尾に付けられます。



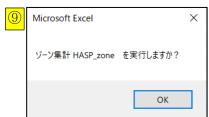
・表 2-2-Lh に熱負荷計算の結果 (MFW_H. csv の例) を示します。

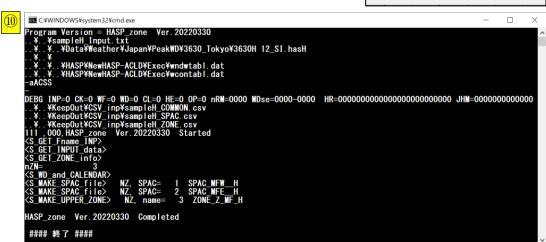
42) 暖房ピーク計算のプログラムの実行3/ゾーン集計

- ・ゾーン集計は元々の HASP にはない、HASPinp 独自の機能です。
 - ・1 つの室(SPAC)であってもゾーン集計をします。HASPinpのゾーン集計には、(SPAC)の結果を集計する機能の他に、日月年の積算やピーク情報を集める機能があります。これらはグラフ作成に必要な情報としてゾーン集計の中で作られます。
 - 手順® 〈ZONE〉の画面で®「ゾーン集計」のボタンをクリックします。



- 手順⑨ 続いて、小窓⑨で「HASP_zone を実行しますか?」と 表示されるので、OK ボタンをクリックします。
- 手順⑩ ゾーン集計プログラム HASP_zone. exe が立ち上がり、 実行が開始されると、DOS 窓⑩が表示されます。





- ・DOS 窓⑩には、集計中のゾーン名が表示されます。
- ・処理が完了すると DOS 窓⑩に "HASP_zone Completed" と表示されます。#### 終了 #### はバッチの終了表示です。
- ・ゾーン集計で出力されるファイルは、

SPAC_MFW_H.csv と
SPAC_MFE_H.csv と
ZONE_ZMF_H.csv です。

ゾーン集計の出力ファイル名の頭には、SPAC、ZONE、Mzone、Tzone が付くので、元の熱負荷計算の 出力ファイルと区別できます。

ファイル名の末尾には、ピーク気象データのファイル名 3630H_12_SI. hasH から取った記号 "H" が付けられます。これにより、年間計算や前節の冷房ピークの出力ファイルと区別できます。

- ・この後の手順⑪でグラフを描きますが、HASPinpのグラフはゾーン集計の出力ファイルを使います。
- ・表 2-2-Zh に、Zone 集計の結果(SPAC_MFW_H. csv の例)を示します。

表 2-2-F ピーク計算・詳細出力の入力データファイル (上 sampleC_Input. txt、下 sampleH_Input. txt)

- ※ 冷房ピークと暖房ピークで、入力データのファイル名を変えてありますが、中味は全く同じです。
- ※ 冷房ピークと暖房ピークで参考する項目が異なります。
- ※ 気象データの情報は、入力データとは別に、fnameHASP_inp.txt でカスタマイズされます。

```
詳細出力
                                 ピーク気象データ
               SAMPLE,
 1 ACLD HEX13
                         (nJHM=2)
                                                                      時間区分数
                        30./2
   BUIL
                                10
                                   24.0
                                           50
                                               200
   $NTL
                              12 15
                                              12 31 15 1 1
                                                                       AHXT
             70 70 70 70 70 70 70 70 70 70
   HRAT
   HRAT
            $100100100100100100100100100
 5
                                                         ピーク計算の反復回数
   HRAT
            W 20 20 20 20 20 20 20 20 20 ,
   EXPS N
                 90
                     180
                                          発熱割合(冷房ピークでは2行目が参照されます)
                90
                      0
   EXPS S
   EXPS W
                90
                      90
   EXPS E
                90
                     -90
10
11
   EXPS H
                 0
                      0
   WCON OW
              32 12 92
                        82 25 22150 27 20 36 8
13
   WCON TW
              27 20 22120 27 20
                            32 9 75 12
   WCON FL
              41 3 22150 92
14
15
   WCON CL
              75 12 32 9 92
                             22150 41 3
16
   WCON BECO
              27 20 22
              87 25 22150 27 20 36 8
17
   WCON OWC
              2 2 2 3 3 1 1 1 1 3 3 2
18
   SEAS
19
   WWDA
               1 1 12 31
20
   SDAY
               1 1 1 2 1 9 2 11 2 23 3 21 4 29 5 3 5 4 5 5 7 17
21
               8 11 9 18 9 23 10 9 11 3 11 23
   WSCH WSCH
              1 1 1 1 1 2 3 3 3
   DSCH OCU A 80 0 90100120100130 20140100170100180 50200 0
23
   DSCH LIG A 80 0/空調は8:00~20:00 0180100190 50200 50210 0
            A 80 0 90100120100130 20140100170100190 0200
26
   OSCH OSC
              80200
                                      夏期は26℃50%、予熱時間は1.0時間
   OSCH OSH
27
             80200
                       OSC 26 26 50 50 100SH 22 22 40 40 200SC 24 24 50 50
28
   OPCO OPC1
             60
29
   OPCO OPC2
              60
                       OSC 26 26 50 50 100SH 22 22 40 40 200SC 24 24 50 50
   SPAC MFW WSCH 0
                 0.0 3.6 2.6
                                        302, 58
31
    以下略(以下は表 2-1-F と変わらず)
                        (nJHM=2)
   ACLD HEX15
               SAMPLE
                                10
                                    24.0
                                           50
                                               200
   RIIII
                         30.2
   CNTL
                             12 15
                                      1 1
                                             12 31 15 1 1
                                                                 2
                                                                       AHXT
   HRAT
             HRAT
            $100100100100100100100100100
           W 20 20 20 20 20 20 20 20 20
   HRAT
   EXPS N
                90
                    180
                                         発熱割合 (暖房ピークでは3行目が参照されます)
  EXPS S
                90
                      0
  EXPS W
                90
                     90
10 EXPS E
                90
                     -90
11
   EXPS H
                 0
                      0
   WCON OW
             32 12 92
                       82 25 22150 27 20 36 8
             27 20 22120 27 20
13
   WOON TW
14 WCON FL
             41 3 22150 92
                             32 9 75 12
                             22150 41 3
15
   WCON CL
             75 12 32 9 92
16
   WCON BECO
             27 20 22
   WCON OWC
             87 25 22150 27 20 36 8
17
              2 2 2 3 3 1 1 1 1 3 3 2
18
  SEAS
   WWDA
19
                 1 12 31
20
   SDAY
              1 1 1 2 1 9 2 11 2 23 3 21 4 29 5 3 5 4 5 5 7 17
              8 11 9 18 9 23 10 9 11 3 11 23
21
22
   WSCH WSCH
                   1 1 1 2 3 3 3
  DSCH OCU A 80 0 90100120100130 20140100170100180 50200 0
24 DSCH LIG A 80 0 90100120100130 40140100180100190 50200 50210 0
   DSCH HEA
           A 80 0 90100120100130 20140100170100190 0200
                                            冬期は22℃40%、予熱時間は2.0時間
26
   OSCH OSC
27
   OSCH OSH
             80200
                       OSC 26 26 50 50 100SH 22 22 40 40 20OSC 24 24 50 50
  OPCO OPC1
28
             60
29 OPCO OPC2
             60
                       OSC 26 26 50 50 10|OSH 22 22 40 40 20|OSC 24 24 50 50
   SPAC MFW WSCH
                                       302.58
                 0.0 3.6 2.6
```

以下略(以下は表 2-1-F と変わらず)

表 2-2-Lc ACLD_HEX15 による冷房ピーク・詳細出力の結果(例:MFW_C.csv)(nJHM=2)

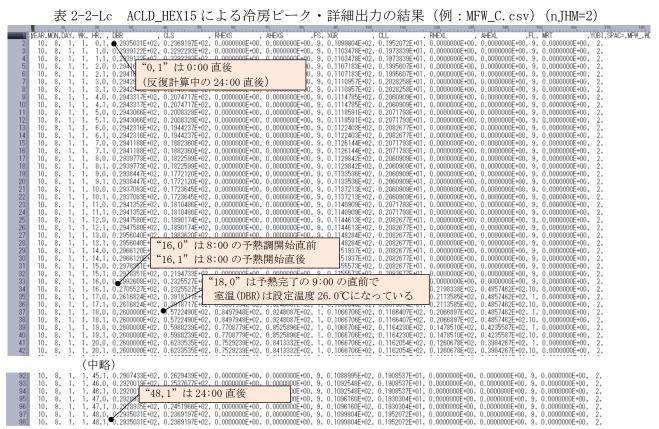
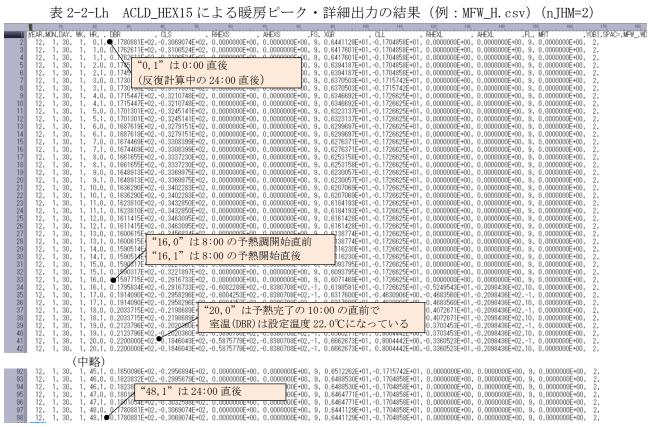


表 2-2-Lh ACLD HEX15 による暖房ピーク・詳細出力の結果(例:MFW H.csv)(n.JHM=2)



・最初の行は見出し行です。

1日の出力数は 24時間×2 (時区分数)×2 (詳細出力)になりますが、 HASPinp では、詳細グラフで折れ線を描くために 0:00 の値が必要です。このため、2 行目に 0 時直後 の"0,1"を挿入しています。なおこれは反復完了前の前回の24:00直後の値を流用したものです。

表 2-2-Zc HASP_zone によるピーク・詳細出力の結果(例:SPAC_MFW__C.csv)(nJHM=2)

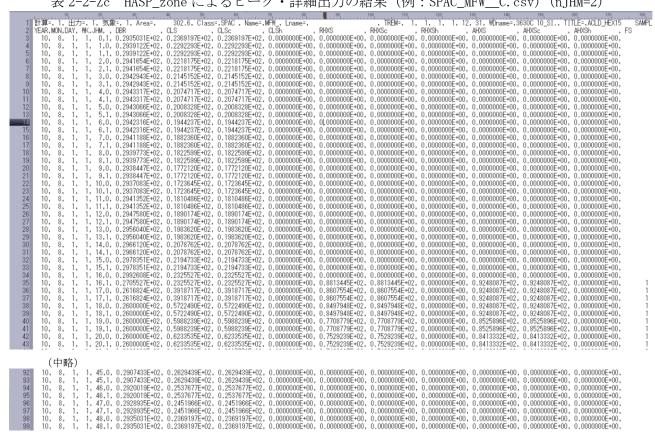
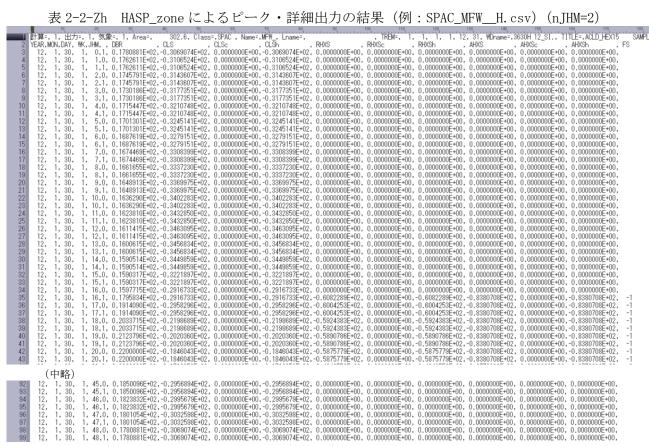


表 2-2-Zh HASP_zone によるピーク・詳細出力の結果(例:SPAC_MFW_H.csv)(nJHM=2)

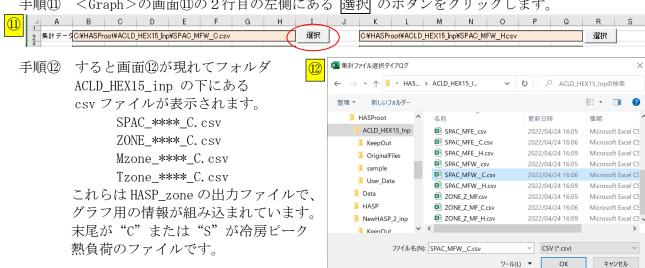


- ・ピーク計算の場合のゾーン集計では積算は計算しません。
- ・最初の2行は見出し行です。ゾーン集計では冷暖房別の値などの出力項目が増えています。 1日の出力数は 24時間×2 (時区分数)×2 (詳細出力)になりますが、 HASPinpでは、詳細グラフで折れ線を描くために 0:00 の値が必要です。このため、2 行目に 0 時直後 の"0,1"を挿入しています。なおこれは反復完了の前回の24:00直後の値を流用したものです。

(5) 結果のグラフ/ピーク計算・詳細出力のグラフ

・ピーク熱負荷のグラフは、冷房と暖房の両方の計算が終わってからにします。 グラフ用の Excel ファイルからケース 2 の条件に合う Graph_ピーク_詳細. xlsm を立ち上げます。 ※年間計算とピーク計算、また、詳細出力と簡易出力とでは、データ数やデータ構成に違いがあるので、 条件が一致しないとグラフが描けません。

手順⑪ <Graph>の画面⑪の2行目の左側にある 選択 のボタンをクリックします。



画面印で任意のファイルにカーソルを 合せます。

ここでは SPAC_MFW__C.csv 選び、OK をクリックします。

すると、この csv ファイルが読み込まれ<Graph>の画面の左半分にグラフが表示さます。 同時に画面印が消えます。

手順⑬ < Graph > の画面⑬ 2 行目の右側にある 選択 のボタンをクリックします。



画面仰で任意のファイルにカーソルを 合せます。

熱負荷のファイルです。

ここでは SPAC_MFW__H.csv 選び、OK をクリックします。

すると、この csv ファイルが読み込まれ〈Graph〉の画面の右半分にグラフが表示さます。 同時に画面⑭が消えます。

ファイル名(N): SPAC_MFW_H.csv

※画面⑫⑭には、MFW. csv、MFE. csv なども表示されますが、 これらは ACLD HEX15.exe の出力ファイです。 グラフ用の情報がありません。 これらのファイルを選ぶと右の小窓⑮が表れます。



CSV (*.csv)

キャンセル

ツール(L) ▼ OK

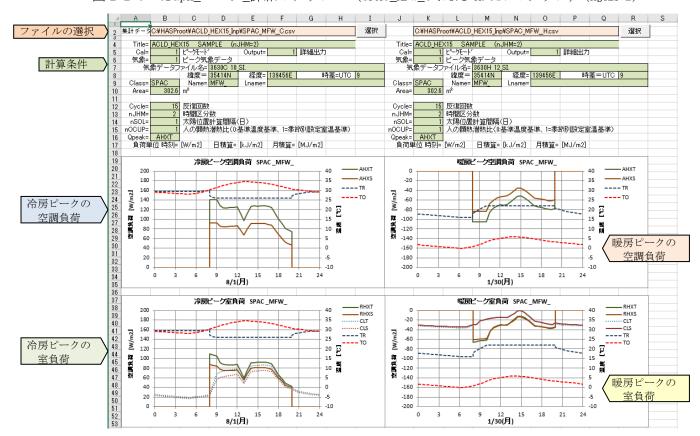


図 2-2-G Graph_ピーク_詳細のグラフ (SPAC_MFW_C および H. csv のグラフ) (nJHM=2)

※ 冷暖房を左右逆に描くこともできますが、負荷が0の軸が変わるのでお勧めしません。

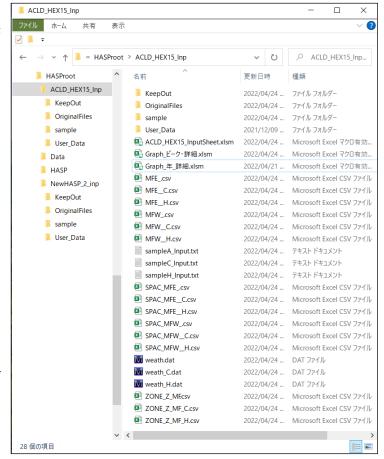
(6) 結果の保存

- ・年間・詳細とピーク詳細を実行した結果 フォルダ ACLD_HEX15_inp の中は 右の様になっているはずです。
- ・出力ファイルは、例えば
 MFW_. csv
 MFW__C. csv
 MFW__H. csv

のように、ファイル名の末尾の記号で 年間結果、冷房ピーク、暖房ピークが 分かります。

また、これにより、年間・冷房ピーク・ 暖房ピークのファイルが共存できます。

これらの出力ファイルと
2つの詳細グラフの Excel ファイル
ACLD_HEX15_InputSheet. x1sm
の一式を
フォルダ User_Data の下に
例えば、サブフォルダ 詳細出力を作って
保存します。



2-3 ケース 3:年間計算・簡易出力

- ・計算そのものは詳細出力も簡易出力も変わりません。出力の際の違いだけです。
- ・HASP では、不連続な変化(運転開始時・外気導入開始時・運転停止時)があるため、同じ時刻に直前 と直後の2回計算します。
- ・詳細出力では、直前と直後の結果をそのまま2回出力しますが、 簡易出力では、平均値を1回出力します。なお、平均値と言っても、前時刻の直後と当時刻の直前の 平均値です。これを当時刻の値として出力します。

(注意) 同じ時刻の直前と直後の平均ではありません。

(1) 入力データの変更

- ・ここではケース1(年間・詳細出力)の入力データを基に、変更箇所について説明します。
- 計算モード・出力形式・気象データ形式



・変更するのは次の1項目だけです。

〈CNTL〉 · 出力形式

0:簡易出力

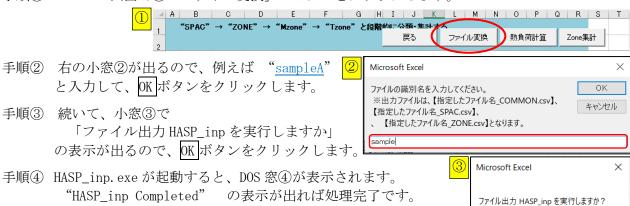
※他の入力項目については、〈ケース1〉をご覧下さい。

(2) プログラムの実行

2F) プログラムの実行 1 / ファイル変換 (⇒表 2-3-F)

・〈ZONE〉の画面で、ファイル変換 → 熱負荷計算 → Zone 集計 の順にプログラムを実行します。 これらの操作手順や操作方法は、ケース1(年間・詳細出力)と全く同じです。 ところどころに表れる小窓も DOS 窓の内容もケース1 (年間・詳細出力)と同じです。

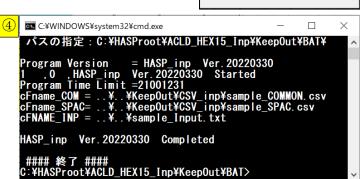
手順① 〈ZONE〉の画面で①「ファイル変換」のボタンをクリックします。



"HASP_inp Completed" の表示が出れば処理完了です。

※出力される入力データファイルは "sample_Input.txt"

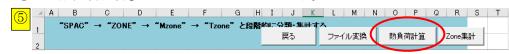
になります。(⇒表 2-3-F)



×

2L) プログラムの実行 2 / 熱負荷計算 (⇒表 2-3-L)

手順⑤ 〈ZONE〉の画面⑤で「熱負荷計算」のボタンをクリックします。



手順⑥ 続いて、小窓⑥で「ACLD_HEX15 を実行しますか?」と表示 されるので、OK ボタンをクリックします。

手順⑦ ACLD_HEX15. exe が起動して、熱負荷計算が実行されると DOS 窓⑦が表示されます。

DATE: 12 18 は計算中の日付で流れるように表示されます。

ACLD_HEX15 を実行しますか? OK 7 📼 C:¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe - C:¥HASProot_Work¥ACLD...

Microsoft Excel

計算が完了すると DOS 窓⑦に "ACLD_HEX15 Completed"

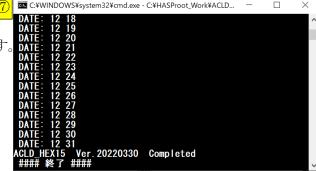
と表示されます。

終了 ### はバッチの終了表示です。

・熱負荷計算の出力ファイルは

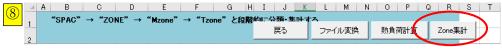
MFW_.csv & MFE .csv weath.dat です。

表 2-3-L に、MFW_csv の例を示します。



2Z) プログラムの実行3/ゾーン集計

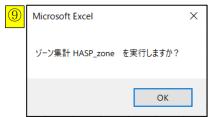
- ・ゾーン集計は元々の HASP にはない、HASPinp 独自の機能です。
 - ・1 つの室(SPAC)であってもゾーン集計をします。HASPinpのゾーン集計には、(SPAC)の結果を集 計する機能の他に、日月年の積算やピーク情報を集める機能があります。これらはグラフ作成に 必要な情報としてゾーン集計の中で作られます。
 - 手順® 〈ZONE〉の画面で®「ゾーン集計」のボタンをクリックします。

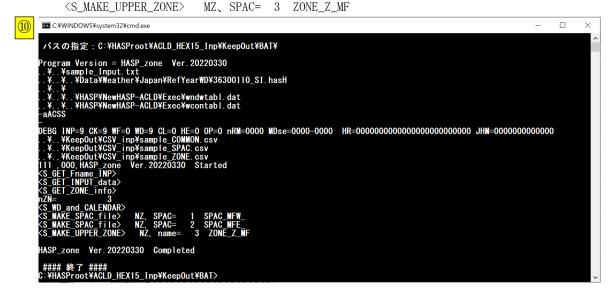


- 手順⑨ 続いて、小窓⑨で「HASP_zone を実行しますか?」と 表示されるので、OKボタンをクリックします。
- 手順⑩ ゾーン集計プログラム HASP zone. exe が立ち上がり、 実行が開始されると、DOS 窓⑩が表示されます。

DOS 窓⑩には、集計中のゾーンが表示されます。

- <S_MAKE_SPAC_file> MZ, SPAC= 1 SPAC_MFW_
- MZ, SPAC= 2 SPAC MFE <S_MAKE_SPAC_file>
- MZ, SPAC= 3 ZONE_Z_MF





計算が完了すると DOS 窓⑩に "ACLD_zone Completed" と表示されます。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

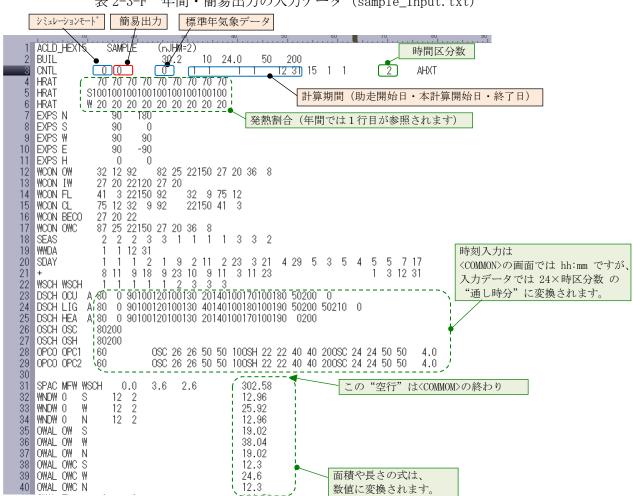
・ゾーン集計の出力ファイルは(本例の場合)

SPAC_MFW_.csv と
SPAC_MFE_.csv と
ZONE Z MF.csv の3つです。

- ・頭が SPAC_ のゾーンは、熱負荷計算 ACLD_HEX15. exe の結果と同じですが、冷房・暖房別の 負荷や、日・月・年の積算値、日積算ピーク・時分ピークのピークの情報が追加されます。
- ・3 行目の、頭が ZONE_ は、MFW と MFE を集計したゾーン Z_MF の出力です。

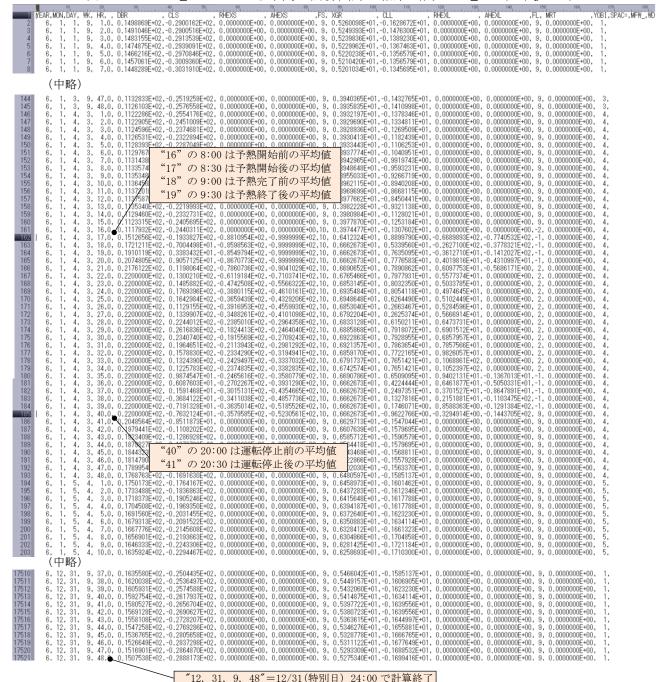
Zone 集計の結果を 表 2-3-Z (SPAC_MFW_.csv の例) に示します。

表 2-3-F 年間・簡易出力の入力データ (sample_Input.txt)



以下は表 2-1-F と同じなので省略します。

表 2-3-L ACLD_HEX15 による年間・簡易出力の結果 (例:MFW_.csv) (nJHM=2)



- ・1つの時刻に1回の出力です。
- ・先頭は見出行で、横方向に 239 桁あります。 2~17521 行が計算結果で、横方向に 168 桁あります。
- ・計算の時区分数が n,JHM=2 (30 分間隔) なので、時刻(HR)は 1~48 時分で表示されます。
- ・簡易出力では、前時刻の直後の値と、当時刻の直前の値を平均した1回の出力になります。 例えば 表 2-1-L の詳細出力では

12/31 47 時分 直後の室温(DBR) 15.12152℃ 12/31 48 時分 直前の室温(DBR) 15.02924℃ これを平均すると、表 2-3-L の簡易出力では 12/31 48 時分 室温(DBR) 15.07538℃ になります。

・総出力行数は 見出1行+8760×1(簡易出力)×2(時区分数) = 17521行になります。

表 2-3-Z HASP_zone による年間・簡易出力の結果 (例: SPAC_MFW_.csv) (nJHM=2)

```
| 1. | | 5. | 5. | 0. | 1486218E-02. - 0.2970848E-02. | 0.000000E-00. - 0.000000E-00. | 0.00000E-00. | 0.000000E-00. | 0.000000E-00. | 0.000000E-00. | 0.000000E-00. | 0.000000E-00. | 0.00000E-00. | 0.00000E-00.
                                    (中略)
                                                                                                 3、31.0、0.2200000E+02、0.1578830E+02、0.1578830E+02、0.0000000E+00、0.2314290E+02、0.000000E+00、0.2314290E+02、0.331494E+02、0.0000000E+00、0.2314290E+02、0.000000E+00、0.2314290E+02、0.331494E+02、0.0000000E+00、0.331390E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.333100E+02、0.000000E+00、0.02314385E+02、0.333120E+02、0.000000E+00、0.333130E+02、3.34.0、0.2200000E+02、0.38145E+02、0.000000E+00、0.02314385E+02、0.333120E+02、0.000000E+00、0.333120E+02、3.35.0、0.2200000E+02、0.9874547E+01 0.987450E+01 0.000000E+00、0.2774285E+02、0.000000E+00、0.3331290E+02、0.000000E+00、0.3331290E+02、3.35.0、0.2200000E+02、0.36312E+01 0.000000E+00、0.2774285E+02、0.000000E+00、0.3331290E+02、3.37.0、0.2200000E+02、0.36312E+01 0.000000E+00、0.2774285E+02 0.000000E+00、0.3331290E+02、3.37.0 0.2200000E+02、0.3831290E+02 0.3831290E+02 0.000000E+00、0.333128E+02 0.000000E+00、0.333128E+02 0.000000E+00、0.333128E+02 0.000000E+00、0.333128E+02 0.000000E+00 0.033131E+02 
                                                           (中略)
                    6, 12, 31, 9, 46.0. 0.1528649E-02, -0.2837298E+02, 0.0000000E+00, -0.2837298E+02, 0.0000000E+00, 0.0000000E+00, 0.0000000E+00, 0.0000000E+00, 0.000000E+00, 
YEAR,MON.DAY, WK.JHM., DBR CLS , CLS , CLS , CLS , RHVS , RHVS , RHVS , RHVS , AHVS , 
                                                    (中略)
                      ( T 中野 ) ( T PT ) (
                  YEAR,MON,DAY, WK,JHM, DBR
| 6, 1, 0, 744, 0.1
| 6, 2, 0, 672, 0.1
| 6, 3, 0, 744, 0.2
                      6, 13, 0, 8760, 0, 0.2340585E+02, 0.1060202E+03, 0.3068366E+03, 0.2008163E+03, 0.1348116E+03, 0.1891100E+03, -0.5429836E+02, 0.4887215E+02, 0.1554034E+03, -0.1065312E+03,
                                                                                                                            1, 7, 24,
2, 8, 7,
3, 7, 18,
4, 8, 21,
5, 7, 25,
                                                                                                                                                                                                             AHXT=, 0.2703360E+04, Date=,7/24(月), AHXT=, 0.2627240E+04, Date=,8/7(月), AHXT=, 0.2560428E+04, Date=,7/18(火), AHXT=, 0.250345E+04, Date=,8/2(月), AHXT=, 0.2487602E+04, Date=,7/25(火),
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              Heating Peak_D. 1, 2, 13,
Heating Peak_D. 2, 1, 23,
Heating Peak_D. 3, 1, 10,
Heating Peak_D. 4, 1, 16,
Heating Peak_D. 5, 1, 30,
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  AHXT=,-0.1943646E+04, Date=,2/13(月),
AHXT=,-0.1930774E+04, Date=,1/23(月),
AHXT=,-0.1884738E+04, Date=,1/10(火),
AHXT=,-0.1765776E+04, Date=,1/16(月),
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    AHXT=,-0.1541997E+04, Date=,1/30(月) ,
      (中略)
                                                                                                                        1, 7, 18, AHXT=, 0.2000000E+03, Date=,7/18(火) 08:30:0, Heating Peak_D, 1, 1, 10, AHXT=,-0.1789586E+03, Date=,1/10(火) 08:30:0, 2, 7, 24, AHXT=, 0.1986229E+03, Date=,7/24(月) 08:30:0, Heating Peak_D, 2, 1, 4, AHXT=,-0.174053E+03, Date=,1/4(火) 08:30:0, 3, 9, 4, AHXT=, 0.1985946E+03, Date=,9/4(月) 08:30:0, Heating Peak_D, 3, 2, 13, AHXT=,-0.1734208E+03, Date=,2/13(月) 08:30:0, 4, 8, 7, AHXT=, 0.1881688E+03, Date=,8/7(月) 08:30:0, Heating Peak_D, 4, 1, 23, AHXT=,-0.1731472E+03, Date=,1/23(月) 08:30:0, 5, 8, 14, AHXT=, 0.1843879E+03, Date=,8/14(月) 08:30:0, Heating Peak_D, 5, 2, 27, AHXT=,-0.17308E+03, Date=,2/27(月) 08:30:0, 6, 8, 21, AHXT=,0.1783332FE+03, Date=,8/14(月) 08:30:0, Heating Peak_D, 6, 2, 6, MXT=,0.16788393E+03, Date=,2/6(月) 08:30:0, 7, 7, 18, AHXT=, 0.1788393E+03, Date=,2/18(火) 09:00:0, Heating Peak_D, 7, 2, 20, AHXT=,-0.1590576E+03, Date=,2/20(月) 08:30:0,
```

- ・見出しは2行、4~17522行は時刻別出力、17525~17889行が日積算、17892~17903行が月積算、17905行が年積算、17907~17936行が日積算ピーク(上位30位)、17938~18937行が時分ピーク(上位1000位)です。
- グラフ用に熱負荷を冷暖別に分けるなど項目数が増えています。

∠ ACLD_HEX15_Inpの検索

種類

ファイル フォルダー

ファイル フォルダー

ファイル フォルダー

ファイル フォルダー Microsoft Excel CSV

Microsoft Excel CSV

Microsoft Excel CSV

Microsoft Excel CSV

キャンセル

更新日時

2022/04/13 18:43

2022/04/17 23:53

2022/04/19 21:58

2021/12/09 23:29

2022/04/24 11:10

2022/04/24 11:10

2022/04/24 11:11

2022/04/24 11:11

2022/04/24 11:11

CSV (*.csv)

ОК

ツール(L) ▼

(3) 結果のグラフ/年間計算・簡易出力のグラフ

・最後に、計算結果をグラフにします。

グラフ用のExcel ファイルのうち、ケース3の条件に合う Graph_年_簡易.xlsm を立ち上げます。 ※年間計算とピーク計算、また、詳細出力と簡易出力とでは、データ数やデータ構成に違いがあるので、 条件が一致しないとグラフが描けません。

(12)

手順① <Graph>の画面⑪の2行目にある選択のボタンをクリックします。



すると画面⑫が現れて、ACLD_HEX15_inp のフォルダにあるサブフォルダやファイルが表示さ

■ 集計ファイル選択ダイアログ

整理 ▼ 新しいフォルダー

ACLD_HEX15_Inp

KeepOut

OriginalFiles

sample

Data

HASP

User Data

NewHASP 2 inp

KeepOut

HASProot

→ ↑ ■ « HAS... > ACLD_HEX15_I...

名前

KeepOut

sample

MFE .csv

MFW .csv

ファイル名(N): SPAC MFW .csv

SPAC MFE .csv

SPAC MFW .csv

ZONE Z MF.csv

OriginalFiles

User Data

れます。 ファイル名の頭が

SPAC_

ZONE_ Mzone

Tzone_

となっている csv ファイルがゾーン 集計の出力ファイルです。

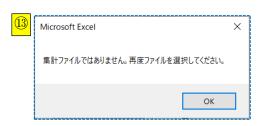
グラフ用の情報が組み込まれています。

手順⑫ 任意のファイルにカーソルを合せます。 ここでは SPAC_MFW_.csv

を選び、OK をクリックします。

すると、この csv ファイルが読み込まれ、 〈Graph〉の画面にグラフが表示されます。(→図 2-3-G) 同時に画面⑫が消えます。

※画面⑫には、MFW.csv、MFE.csv なども表示されますが、 これらは ACLD_HEX15.exe の出力ファイルです。 グラフ用の情報がありません。 これらのファイルを選ぶと右の小窓⑬が表れます。

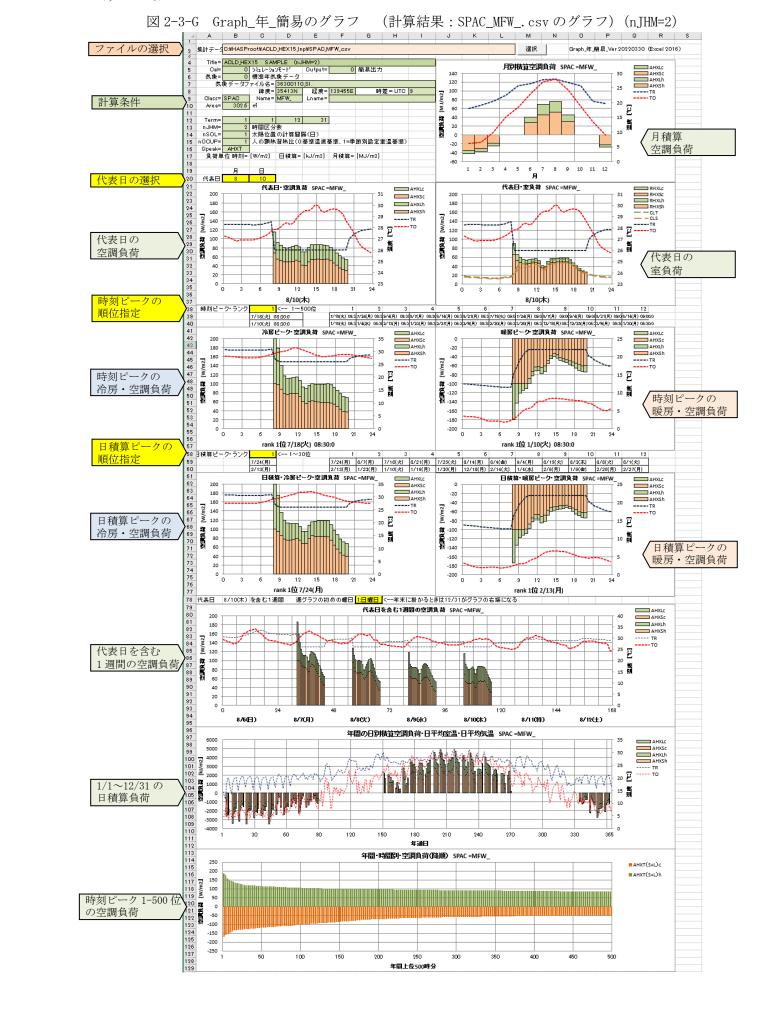


<年間・詳細のグラフ>

詳細出力では、熱負荷を棒グラフで表します。

全部で10のグラフがあります。

- ①月別グラフ
- ②代表日の空調負荷: 月日を指定すると、その日の24時間の空調負荷のグラフが表示されます。
- ③代表日の室負荷 : 同じ代表日の室負荷のグラフです。
- ④冷房の時刻ピーク: 順位を指定すると、冷房ピークが出現した日の空調負荷のグラフが表示されます。
- ⑤暖房の時刻ピーク: 同じ順位の暖房ピークが出現した日の空調負荷のグラフが表示されます。
- ⑥冷房日積算ピーク:冷房日積算ピークの順位を指定すると、その日の空調負荷のグラフが表示されます。
- ⑦暖房日積算ピーク: 同じ順位の暖房日積算ピークが出現した日の空調負荷のグラフが表示されます。 ⑧週間グラフ: ②で指定した代表日を含む日~土の1週間の空調負荷のグラフが表示されます。
- ⑨年間日別負荷 : 1/1~12/31 の 365 日の日積算空調負荷の棒グラフが表示されます。
- ⑩年間時刻別負荷 : 冷房と暖房の時刻ピークの上位 500 位までの空調負荷の棒グラフが表示されます。
 - ※④と⑤は上位 1000 位まで選べます。⑥と⑦は上位 30 位まで選べます。 ※④と⑤で、同じ時刻で直前・直後が同じ負荷の場合は直前の負荷のみがカウントされます。
 - ※④と⑤で、同じ負荷の場合、日積算の大きい方の順位が上位になります。
- ※グラフの縦軸のスケールは「自動」になっています。各グラフの縦軸を揃える場合は 「図形の書式設定」⇒「軸のオプション」で最大値と最小値を手動で変更して下さい。
- ※Graph の Excel ファイルには 3 つの sheet がありますが、ユーザーが操作するのは<Graph>の画面の sheet です。他は仕掛け用の sheet です。厳密な保護は掛かっていないので操作可能ですが、これが壊れるとグラフが描けなくなります。開いても構いませんが触らないで下さい。



2-4 ケース4:ピーク計算・簡易出力

- ・計算そのものは詳細出力も簡易出力も変わりません。出力の際の違いだけです。
- ・HASPでは、不連続な変化(運転開始時・外気導入開始時・運転停止時)があるため、同じ時刻に直前 と直後の2回計算します。
- ・詳細出力では、直前と直後の結果をそのまま2回出力しますが、 簡易出力では、平均値を1回出力します。なお、平均値と言っても、前時刻の直後と当時刻の直前の 平均値です。これを当時刻の値として出力します。

(注意) 同じ時刻の直前と直後の平均ではありません。

・ピーク計算は冷房と暖房をセットで両方計算します。順不同ですが、ここでは、冷房→暖房の順に計算し、最後に冷房と暖房を一緒にグラフ化します。

(1) 冷房ピーク計算の入力データの変更

- ・ここではケース2(ピーク計算・詳細出力)の入力データを基に、変更箇所について説明します
- ・変更するのは「出力形式」だけですが、念のため「計算モード」や「気象データ」も確認します。

① 出力形式・都市・気象データファイル名



〈CNTL〉 ・計算モード

1:ピーク計算 (ケース2と同じです)

出力モード

0:簡易出力

・気象データ形式

1:ピーク気象データ (ケース2と同じです)

〈BUIL〉 · 都市名

東京 (ケース2と同じです)

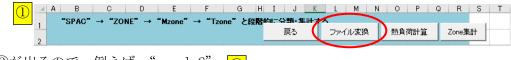
・気象データのファイル名 3630C_10_SI. hasH (同上、東京・冷房ピーク・h-t 基準・SI 単位)

※他の入力項目については、〈ケース2〉をご覧下さい。

(2) 冷房ピーク計算のプログラムの実行

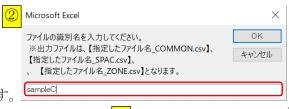
2F) 冷房ピーク計算のプログラムの実行 1 / ファイル変換 (⇒表 2-4-F)

手順① 〈ZONE〉の画面①で「ファイル変換」のボタンをクリックします。



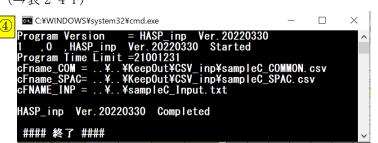
手順② 右の小窓②が出るので、例えば "sampleC" と入力して、**OK** ボタンをクリックします。

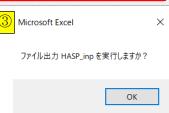
手順③ 続いて、小窓③で 「ファイル出力 HASP_inp を実行しますか」 の表示が出るので、OK ボタンをクリックします。



手順④ HASP_inp. exe が起動すると、DOS 窓④が表示されます。 "HASP_inp Completed" の表示が出れば処理完了です。

※出力される入力データファイルは "sampleC_Input.txt" です。 (⇒表 2-4-F)





2L) 冷房ピーク計算のプログラムの実行 2 / 熱負荷計算 (⇒表 2-4-Lc)

手順⑤〈ZONE〉の画面で⑤「熱負荷計算」のボタンをクリックします。



手順⑥ 続いて、小窓⑥で「ACLD_HEX15 を実行しますか?」と表示 されるので、OK ボタンをクリックします。

手順⑦ ACLD_HEX15. exe が起動して、熱負荷計算が実行されると DOS 窓⑦が表示されます。

"NRM=1"は計算中の SPAC の番号、

"iPEAKcycle=12/15" は計算中の反復回数と最大反復回数 です。

"ACLD_HEX15 Completed" と表示されると計算完了です。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

・熱負荷計算の出力ファイルは

MFW_C.csv と MFE_C.csv と

Weath_C. dat です。

ピーク計算の出力ファイルには、

気象データの 3630C_10_SI. hasH の "C" が出力ファイル名の末尾に付けられます。

・表 2-4-Lc に熱負荷計算の結果 (MFW_C. csv の例) を示します。

2Z) 冷房ピーク計算のプログラムの実行3/ゾーン集計

- ・ゾーン集計は元々の HASP にはない、HASPinp 独自の機能です。
 - ・1つの室(SPAC)であってもゾーン集計をします。HASPinpのゾーン集計には、(SPAC)の結果を集計する機能の他に、日月年の積算やピーク情報を集める機能があります。これらはグラフ作成に必要な情報としてゾーン集計の中で作られます。
 - 手順® 〈ZONE〉の画面®で「ゾーン集計」のボタンをクリックします。



手順② 続いて、小窓⑨で「HASP_zone を実行しますか?」と表示されるので、OK ボタンをクリックします。

手順⑩ ゾーン集計プログラム HASP_zone. exe が立ち上がり、 実行が開始されると、DOS 窓⑩が表示されます。

- ・DOS 窓⑩には、集計中のゾーン名が表示されます。
- ・計算が完了すると DOS 窓⑩に "ACLD_HEX15 Completed" と表示されます。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

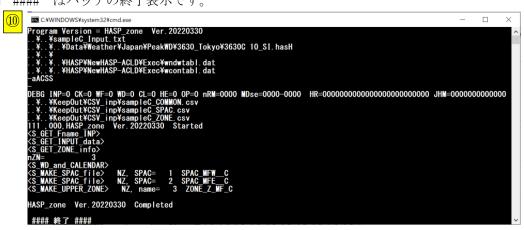
Microsoft Excel

ゾーソ集計 HASP_zone を実行しますか?

OK

Microsoft Excel

ACLD_HEX15 を実行しますか?



ゾーン集計で出力されるファイルは、

SPAC_MFW__C. csv & SPAC_MFE__C. csv & ZONE_ZMF__C.csv です。

ゾーン集計の出力ファイル名の頭には、SPAC、ZONE、Mzone、Tzone が付くので、元の熱負荷計算の 出力ファイルと区別できます。

ファイル名の末尾には、ピーク気象データのファイル名 3630C 10 SI. hasH から取った記号 "C" が付けられます。これにより、年間計算や次節の暖房ピークの出力ファイルと区別できます。

・表 2-4-Zc に、Zone 集計の結果 (SPAC_MFW_C. csv の例) を示します。

(3) 暖房ピーク計算の入力データの変更

- ・ここでは先の冷房ピーク (ピーク計算・簡易出力)の入力データを基に、変更箇所について説明します
- ・変更するのは「気象データのファイル名」だけですが、念のため「計算モード」や「出力形式」「気象 データタイプ」「都市名」も確認します。

① 出力形式・都市・気象データファイル名



〈CNTL〉 ・計算モード

1:ピーク計算 (冷房ピークと同じです)

・出力モード

0:簡易出力 (冷房ピークと同じです)

・気象データ形式

1:ピーク気象データ (冷房ピークと同じです)

〈BUIL〉 ·都市名

東京 (冷房ピークと同じです)

・気象データのファイル名 3630H_12_SI. hasH (東京・暖房ピーク・t-x 基準・SI 単位)

(4) 暖房ピーク計算のプログラムの実行

4F) 暖房ピーク計算のプログラムの実行 1 // ファイル変換 (⇒表 2-4-F)

手順① 〈ZONE〉の画面①で「ファイル変換」のボタンをクリックします。



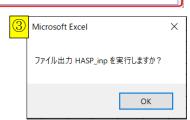
【指定したファイル名 SPAC.csv】、 、 【指定したファイル名 ZONE.csv】となります。

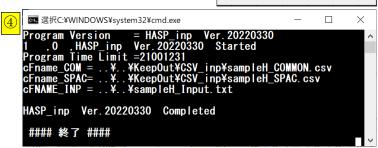
手順③ 続いて、小窓③で

「ファイル出力 HASP_inp を実行しますか」 の表示が出るので、OK ボタンをクリックします。

手順④ HASP_inp. exe が起動すると、DOS 窓④が表示されます。 "HASP_inp Completed"の表示が出れば処理完了です。

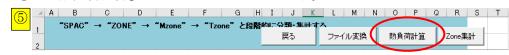
※出力される入力データファイル は "sampleH_Input.txt" です。 (⇒表 2-4-F)





4L) 暖房ピーク計算のプログラムの実行 2 / 熱負荷計算 (⇒表 2-4-Lh)

手順⑤〈ZONE〉の画面⑤で「熱負荷計算」のボタンをクリックします。



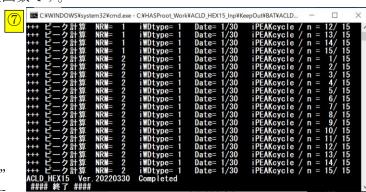
手順⑥ 続いて、小窓⑥で「ACLD_HEX15 を実行しますか?」と表示 されるので、OK ボタンをクリックします。

手順⑦ ACLD_HEX15. exe が起動して、熱負荷計算が実行されると DOS 窓⑦が表示されます。

"NRM=1" は計算中の SPAC の番号、
"iPEAKcycle=12/15" は 反復回数です。

計算が完了すると DOS 窓⑦に "ACLD_HEX15 Completed" と表示されます。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。

 熱負荷計算の出力ファイルは MFW_C.csv と MFE_C.csv です。 ピーク計算の出力ファイルには、 気象データの 3630H_12_SI.hasH の "H" が出力ファイル名の末尾に付けられます。



Microsoft Excel

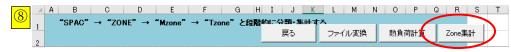
ACLD_HEX15 を実行しますか?

・熱負荷計算の結果を 表 2-4-Lh (SPAC_MFW_H. csv の例) に示します。

4Z) 暖房ピーク計算のプログラムの実行 3 / ゾーン集計 (⇒表 2-4-Zh)

- ・ゾーン集計は元々の HASP にはない、HASPinp 独自の機能です。
 - ・1 つの室(SPAC)であってもゾーン集計をします。HASPinpのゾーン集計には、(SPAC)の結果を集計する機能の他に、日月年の積算やピーク情報を集める機能があります。これらはグラフ作成に必要な情報としてゾーン集計の中で作られます。

手順® 〈ZONE〉の画面®で「ゾーン集計」のボタンをクリックします。



手順⑨ 続いて、小窓⑨で「HASP_zone を実行しますか?」と 表示されるので、OK ボタンをクリックします。

手順⑩ ゾーン集計プログラム HASP_zone. exe が立ち上がり、 実行が開始されると、DOS 窓⑩が表示されます。 DOS 窓⑩には、集計中のゾーン名が表示されます。 "ACLD_HEX15 Completed" と表示されると計算完了です。 #### 終了 #### はバッチの終了表示です。



ゾーン集計で出力されるファイルは、

SPAC_MFW_H.csv と
SPAC_MFE_H.csv と
ZONE_ZMF_H.csv です。

ゾーン集計の出力ファイル名の頭には、 SPAC、ZONE、Mzone、Tzone が付くので、 また、ファイル名の末尾には、ピーク気象データの ファイル名 3630H_12_SI. hasH から取った記号 "H" が付けられます。

表 2-4-Zh に (SPAC_MFW_H. csv の例 を示します。

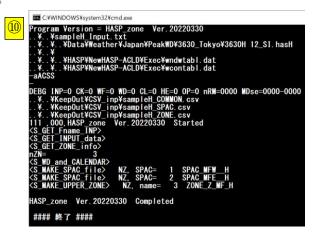
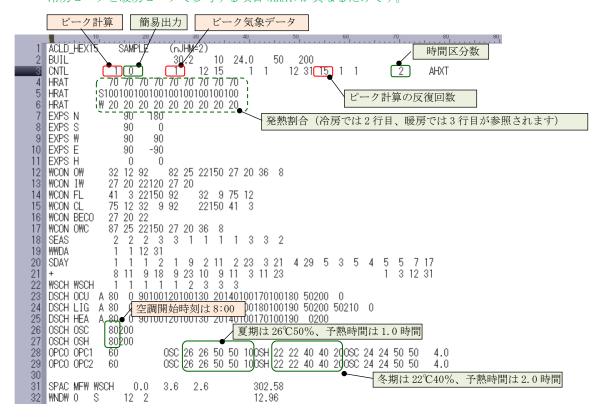


表 2-4-F ピーク計算・簡易出力の入力データファイル (sampleC_Input. txt. と sampleH_Input. txt)

※ 冷房ピークと暖房ピークの入力データの中味は全く同じです。 冷房ピークと暖房ピークで参考する項目〈HRAT〉が異なるだけです。



以下略 (表 2-2-F に同じ)

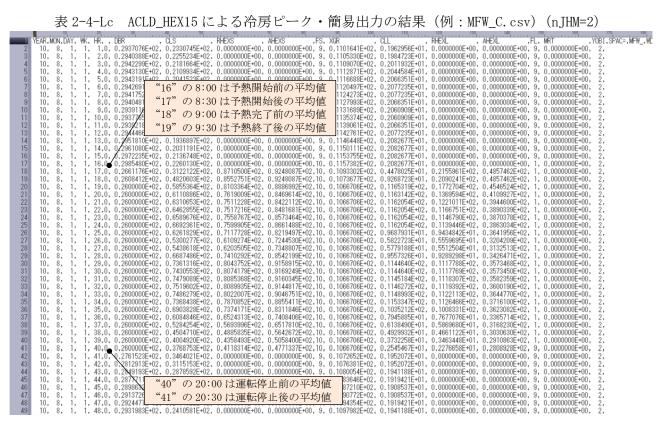
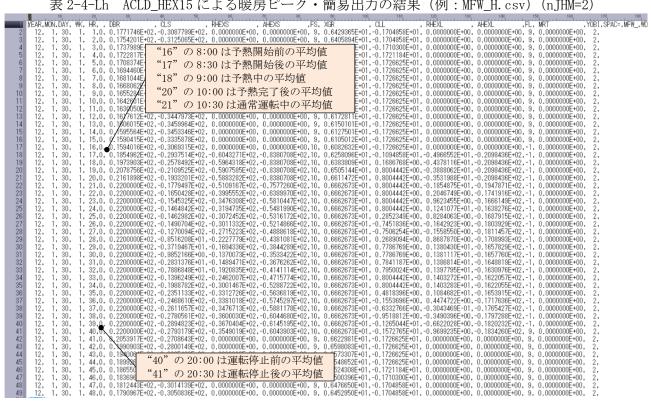


表 2-4-Lh ACLD_HEX15 による暖房ピーク・簡易出力の結果(例:MFW_H.csv)(nJHM=2)



・最初の行は見出し行です。

1日の出力数は 24時間×2 (時区分数)×1 (簡易出力)になります。

表 2-4-Zc HASP_zone によるピーク・簡易出力の結果(例:SPAC_MFW__C.csv) (nJHM=2)

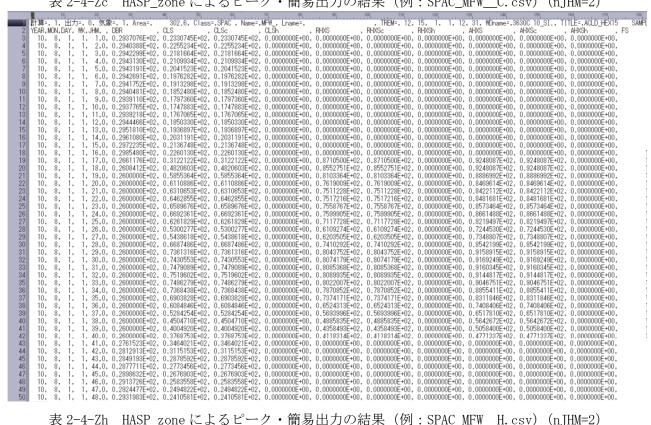
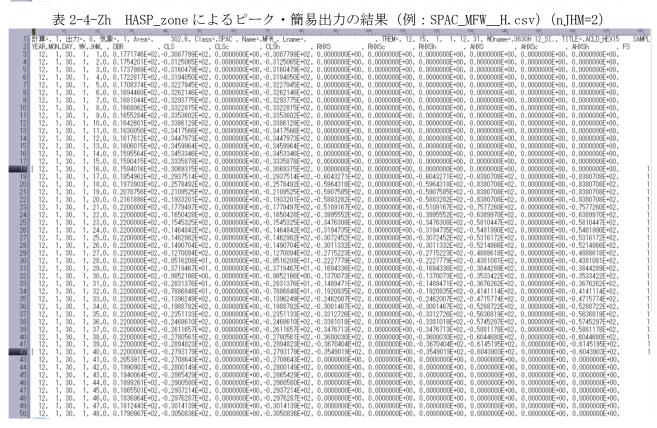


表 2-4-Zh HASP_zone によるピーク・簡易出力の結果(例:SPAC_MFW_H.csv)(nJHM=2)

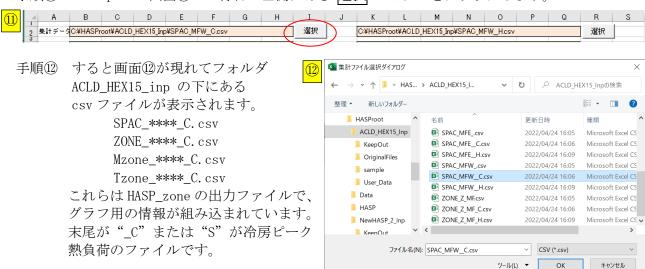


- ・ピーク計算のゾーン集計では積算は計算しません。ただ、熱負荷の項目数は増えます。
- ・最初の2行は見出し行です。ゾーン集計では冷暖房別の出力などの出力項目が増えています。 1日の出力数は 24時間×2 (時区分数)×1 (簡易出力)になります。

(5) 結果のグラフ/ピーク計算・簡易出力のグラフ

・ピーク熱負荷のグラフは、冷房と暖房の両方の計算が終わってからにします。 グラフ用の Excel ファイルからケース 4 の条件に合う Graph_ピーク_簡易.xlsm を立ち上げます。 ※年間計算とピーク計算、また、詳細出力と簡易出力とでは、データ数やデータ構成に違いがあるので、 条件が一致しないとグラフが描けません。

手順⑪ <Graph>の画面⑪の2行目の左側にある選択のボタンをクリックします。

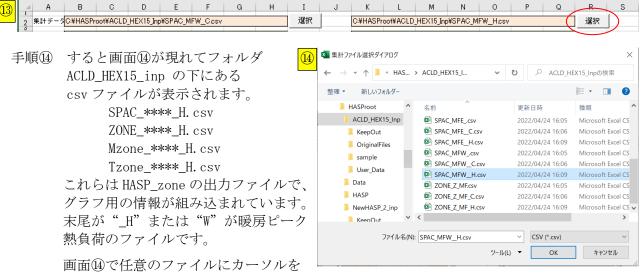


画面⑫で任意のファイルにカーソルを 合せます。

ここでは SPAC_MFW__C.csv 選び、OK をクリックします。

すると、この csv ファイルが読み込まれ〈Graph〉の画面の左半分にグラフが表示さます。 同時に画面⑫が消えます。

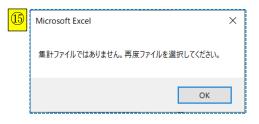
手順⑬ < Graph > の画面⑬ 2 行目の右側にある 選択 のボタンをクリックします。



合せます。

ここでは SPAC_MFW_H. csv 選び、OK をクリックします。 すると、この csv ファイルが読み込まれ〈Graph〉の画面の右半分にグラフが表示さます。 同時に画面 Ω が消えます。

※画面⑫⑭には、MFW.csv、MFE.csv なども表示されますが、 これらは ACLD_HEX15.exe の出力ファイです。 グラフ用の情報がありません。 これらのファイルを選ぶと右の小窓崎が表れます。



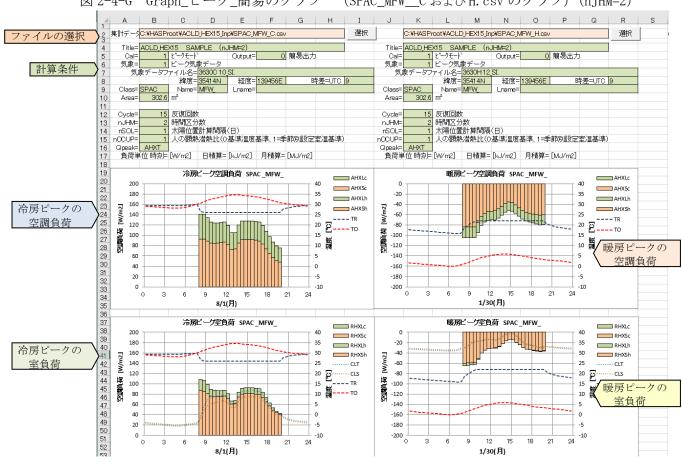


図 2-4-G Graph_ピーク_簡易のグラフ (SPAC_MFW__CおよびH. csv のグラフ) (nJHM=2)

※ 冷暖房を左右逆に描くこともできますが、負荷が0の軸が変わるのでお勧めしません。

(6) 結果の保存

- ・年間・簡易とピーク・簡易を実行した 結果、フォルダ ACLD_HEX15_inp の中は 右の様になっているはずです。
- ・出力ファイルは、例えば MFW_.csv

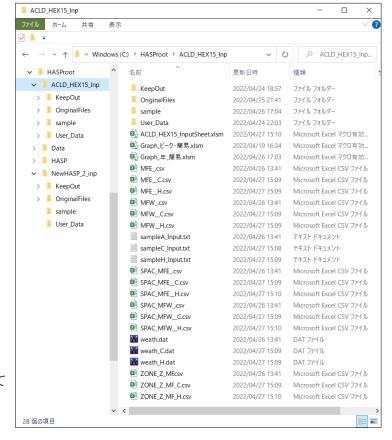
MFW__C.csv

MFW H.csv

のように、ファイル名の末尾の記号で 年間結果、冷房ピーク、暖房ピークが 分かります。

また、これにより、年間・冷房ピーク・ 暖房ピークのファイルが共存できます。

これらの出力ファイルと
2つの簡易グラフの Excel ファイル
ACLD_HEX15_InputSheet. xlsm
の一式を
フォルダ User_Data の下に
例えば、サブフォルダ 簡易出力を作って
保存します。



3. HASPinp での未入力エラーの見つけ方

(1) 入力画面〈COMMON〉と〈SPAC〉での未入力のエラーの表示

- ・HASPinpでは、薄黄色のセルは、必須入力項目です。 HASPinpでは、必須入力項目をチェックし、その行のB列のセルに未入力の項目数が表示されます。 未入力がある場合に、C列のセルにエラーの●印が表示されます。(⇒図3)
- ・ 〈SPAC〉では、室を構成する部材 (GWAL、IWAL、GWAL、BECO) の数をチェックします。 〈SPAC〉の行の AF 列のセルに、構成部材数の値が表示されます。この値が 0 の場合に未入力のエラー となり、〈SPAC〉の 2 行下の C 列のセルにエラーの ● 印が表示されます。 (⇒図 3 の 95 行と 97 行)

<図3のエラーについて>

単純な未入力ならその原因は直ぐに分かると思いますが、中には分かりにくいものもあるので補足し しておきます。

・内壁<IWAL> 面積が0の行がありますが、エラーになっていません。 この<IWAL>は面積計算に、Excelの式で、〈SPAC>の床面積のセルを参照しています。 〈SPAC>の床面積が未入力のため、〈IWAL>の面積が0になっただけです。 〈SPAC>の床面積を正せば、〈IWAL>の面積も解決するので、エラーになりません。

- ・在室者〈OCUP〉 DSCH(使用スケジュール)が未入力のエラーです。(単純な未入力エラーです)
- ・照明〈LIGH〉 照明の電気容量が空白ですが、〈LIGH〉には HASP で Default 値が用意されているので、未入力になりません。(〈OCUP〉にも HASP の Default 値があります)
- ・機器<HEAT> 同じ内部発熱でも、<HEAT>には HASP の Default 値が用意されていません。
 DSCH のスケジュールを入力すると、有効データとなりますが、顕熱量・潜熱量の両方とも入力が無いで、未入力エラーになります。
- ・室〈SPAC〉の壁体の未入力

室〈SPAC〉に、外壁・内壁・接地壁・梁柱の構成部材が入力されていないと、蓄熱重 み係数を計算することができません。蓄熱重み係数は、室温変動や蓄熱負荷を求め るのに必要で、非定常熱負荷計算の重要な要素のひとつです。

なお、窓ガラスも室〈SPAC〉の構成部材ですが、HASPでは窓ガラスには時間遅れを見込まず、その熱容量を定数で、蓄熱重み係数に後付で加算します。

従って、窓ガラスは蓄熱重み係数の構成部材数には算入されません。

〈補足〉 HASPでは空欄と0を区別しています。

HASPでは、Default 値が設定されている項目に限り、入力が空欄の場合に、Default 値に置きかえます。入力値が 0 の場合は、Default が効かないで 0 と識別されます。

入力値が 0 では不都合が生じる項目(面積など)では、Excel の「データの入力規則」によって 0 値の入力ができないように仕組んであります。

(2) ファイル変換での未入力のチェック

- ・〈ZONE〉の画面で、ファイル変換を実行を選んだときに、未入力の エラーがチェックされます。
- ・未入力があると、右の小窓が表示されます。 〈COMMON〉では未入力は 0 行 ですが、 〈SPAC〉 では未入力が 8 行 あるという例です。
- ・このまま小窓のOKをクリックすると、ファイル変換のプログラムが実行され、未入力があるまま入力データファイルが作成されます。

続いて、熱負荷計算を実行したときに、熱負荷計算プログラムで入力エラーが発見されることになります。

この時の処置仕方は<1部>2章(4)で説明したとおりですが、面倒です。

- ・小窓のキャンセルをクリックして、入力画面〈SPAC〉に戻って、未入力の箇所を処理するのが適切です。
- ・未入力を修正してから、<ZONE>の画面に戻って、ファイル出力を再度実行します。

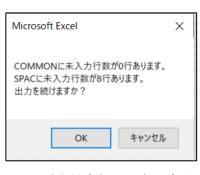
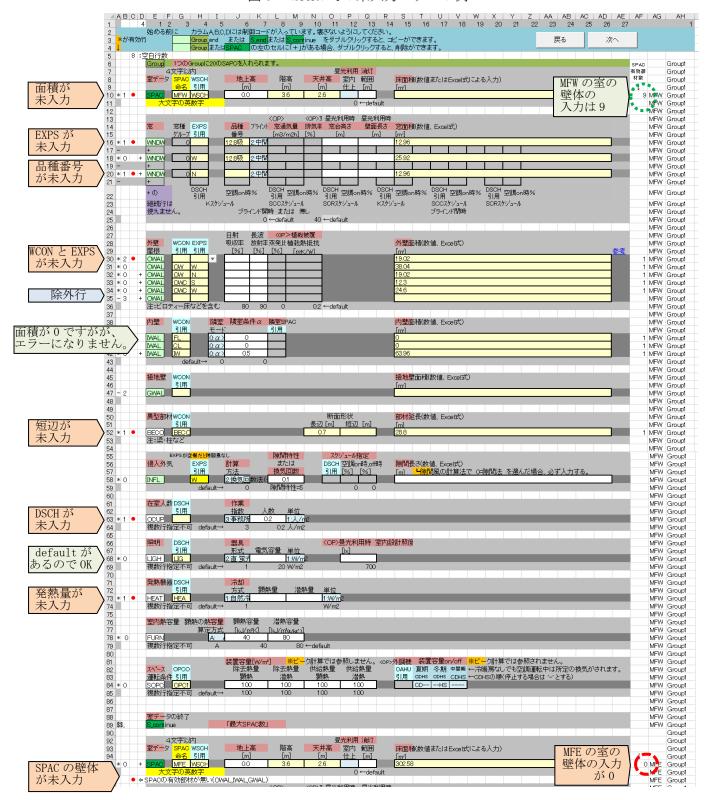


図3 〈SPAC〉での未入力エラーの例



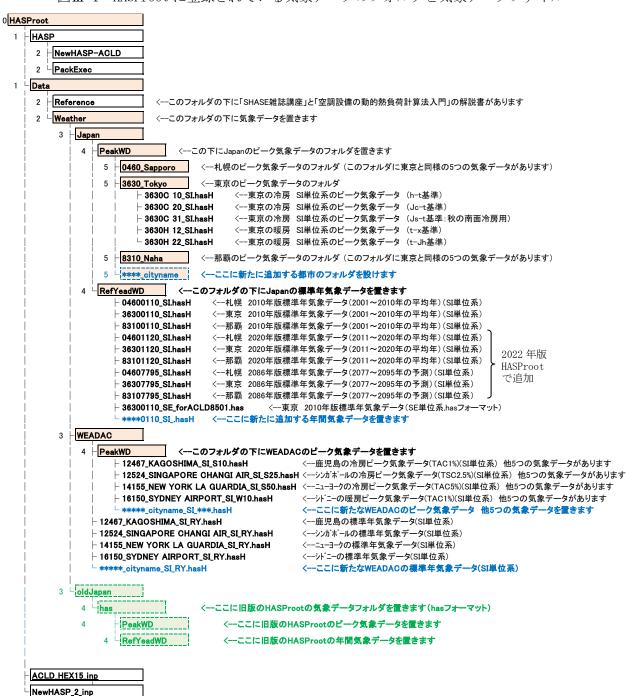
〈Ⅲ部〉 気象データ

- 1. HASP に組込まれている気象データ
- 2. 気象データの追加登録の方法
- 3. HASPinp の気象データの検索と自動カスタマイズの仕組み
- 4. has 気象データと hasH 気象データ
- 5. hasH 気象データの先頭行の情報
- 6. 祝日情報

1. HASP に組込まれている気象データ

- ・HASP に予め組み込まれているのは、図Ⅲ-1 の黒色の文字で示される気象データです。 Weather の下に Japan と WEADAC の 2 つのサブフォルダに分け、これらの下に、7 都市の年間とピークを合わせて全 53 気象データが格納されています。
 - ※これらの気象データは MetDS(株)気象データシステムのご厚意により無償提供されたものです。 HASP での利用に限定されます。また、気象データのコピーなども禁じられています。
- ・なお、図Ⅲ-1 で、青色と緑色の場所は、新たな気象データを組込む場所(フォルダ)を示しています。 これについては、次の2章や3章をご覧下さい。

図Ⅲ-1 HASProot に登録されている気象データのフォルダと気象データファイル



2. 気象データの追加登録の方法

(1) 新たな気象データの組み込み方

- 気象データそのものはユーザーが用意しなければなりません。
- ・新たな気象データは、図Ⅲ-1 の**青色**の場所に組み込みます。
 - ・日本のピーク気象データ ¥Weather¥Japan¥PeakWD の下に都市毎のサブフォルダを設けます。
 - ・日本の標準年気象データ ¥Weather¥Japan¥RefYearWD の下に組み込みます。
 - ・WEDDACのピーク気象データ ¥Weather¥WEADAC¥PeakWD の下に組み込みます。
 - ・WEADAC の標準年気象データ ¥Weather¥WEADAC の下に組み込みます。

(2) 旧版の HASProot の気象データの組み込み方

- ・旧版の has フォーマットの気象データがある場合は、図Ⅲ-1 の緑色の場所に組み込みます。
 - ・旧版のHASPのピーク気象データ ¥Weather¥has¥PeakWD の下に組み込みます。
 - ・旧版のHASPの標準年気象データ ¥Weather¥has¥RefYearWD の下に組み込みます。

(3) HASP を手動で操作する場合の使い方

- ・ < I 部 > のように手動で HASP を操作する場合は、気象データの「パスとファイル名」を "fnameHASP_inp.txt" でカスタマイズすれば、直ぐに新たな気象データが使えます。
 - ※fnameHASP_inp のカスタマイズの方法は< I 部>の表 I −1、表 I −3、表 I −6、表 I −8 を参照のこと。

(4) HASPinp の気象データの「登録情報」

- ・<Ⅱ部>のように HASPinp で使う場合は、(2)節と(3)節で気象データを組み込むのと同時に、次頁の表Ⅲ-1 の気象データの「登録情報」に新たな気象データを登録する必要があります。HASPinp はこの「登録情報」によって気象データを検索し、自動的に fnameHASP_inp をカスタマイズします。 ※表Ⅲ-1 の「登録情報」は HASPinp のシート <テーブル_気象> にあります。
 - ※なお、このシート <テーブル_気象> には保護がかかっています。このシートで「登録情報」を入力 するためには、一時的に保護を解除する必要があります。

Excel のタブで「校閲」 \Rightarrow 「シートの保護解除」 の順にクリックすると、保護が解除されます。

・表Ⅲ-1の「登録情報」は、図Ⅲ-1の気象データのフォルダ構成と整合性があるように登録します。

イ)「登録情報」を登録する必要がないもの

・Japan¥RefYearWD に登録する標準年気象データは、「登録情報」に登録する必要はありません。 次の(5)節で説明しますが、ファイル名のワイルドカードで"登録済"になっているからです。

p)「登録情報」が既に登録されているもの

- ・気象データはないが、「気象データの登録情報」が登録済のものがあります。 B 行の「都市」が空欄のものです。¥Japan¥PeakWD の新版のピーク気象データが該当します。 また、¥oldJapan の旧版 HASProot の気象データも同様です。
- ・これらは、「登録情報」の C 行の「都市」を B 行にコピーすれば登録完了です。

ハ)新たな気象データの「登録情報」を追加する場合

・表Ⅲ-1の「登録情報」の"END"までの空いている行に、新たな気象データの情報を登録できます。なお、どの行に登録するか、或いは、どこに行を追加するかについては、以下の点に注意して下さい。

	未登録の空きの行	行追加する時の場所
Japan¥PeakWD への追加	36~44 行目	45 行目以降
Japan¥RefYearWD への追加	50~56 行目	58 行目以降
WEADAC の日本の都市の追加	61~62 行目	63 行目以降
WEADAC の海外の都市の追加	70~79 行目	80 行目以降
旧版の HASProot の has 気象データの追加	87 行目	88 行目以降
旧版の HASProot の has ピーク気象データの追加	114 行目	115 行目以降

<注意> 領域 (A10:A120)の 1~42 行 (セルが薄緑の行) に、新たな行の追加や削除は避けます。 何故ならば、1~42 行は、領域 (01:GL44) の「特別日等の設定」と重なっているからです。

(5) 気象データの「登録情報」の各列の内容

- a) データ形式 ・範囲 (A1:A8) の "元表" から1つ選んで入力します。(コピー&ペースト)
- b)都市
- ・任意の都市名を入力します。(ここが空欄の場合、検索対象になりません) これがシート < COMMON > の < BUIL > の「都市名」に表示される都市名になります。
- c) 都市(控え) ・b) の控えです。
- d)e)フォルダ名(1)とフォルダ名(2):
 - ・フォルダ名(1)+フォルダ名(2)は、気象データファイルが組込まれているフォル ダのパスで ¥HASProot¥Data¥Weather より下位のパスを入力します。
 - ・フォルダ(2)には、都市別のサブフォルダ名を入力します。
 - ・サブフォルダがない場合は、フォルダ名(2)は空欄にします。 ※ (1)と(2)に決まりはありませんが、こうすると分かりやすくなります。
- f)ファイル名 ・拡張子を含めた気象データのファイル名です。 なお、ファイル名に"ワイルドカード"が使えます。

<ワイルドカード>

- ・¥Japan¥PeakWD のピーク気象データのように1つの都市に複数の気象データがある場合に、 ワイルドカード "*"を使うと1行で登録を済ませることができます。
 - 例) \{\text{Weather}\{\text{Japan}\{\text{Peak}\WD}\{\text{3630}\)_Tokyo (東京のピーク気象データ) の場合

3630C 10_SI. hasH (冷房 h-t 基準 SI 単位)

3630C 20_SI. hasH (冷房 Jc-t 基準 SI 単位)

3630C 31_SI. hasH (冷房 Js-t 基準 SI 単位)

3630C 12 SI. hasH (暖房 t-x 基準 SI 単位)

3630C 22_SI. hasH (暖房 t-Jh 基準 SI 単位)

5つの気象データがありますが、ワイルドカードを使えば1行で登録できます。

3630*. hasH (*.* としても同じです)

例)\{\text{Weather}\{\text{Japan}\{\text{RefYear}\{\text{WD}\}}\) (日本の標準年気象データ)

0460*. hasH (札幌の標準年気象データ、hasH フォーマット)

3630*. hasH (東京の標準年気象データ、hasH フォーマット)

8310*. hasH (那覇の標準年気象データ、hasH フォーマット)

20220620 版の ACLD_HEX_inp. xlsm では、2010 年版の標準年気象データだけでした。20220707 版の ACLD_HEX_inp. xlsm では、2020 年版と 2086 年版の標準年気象データが追加されましたが、「登録情報」は変更なしです。

20220707版のNewHASP_2_inp. x1sm も同様です。

- <u>夕形</u>式 H I J 1 データ形式 2 0 標準年気象データ 2 0標準年気象データ 3 1:ピーク気象データ 4 0海外標準年気象データ 5 1海外ピーク気象データ 0has標準年気象データ ---ピーク気象データ 気象データ) ホル 元表 - タ 元表の 2:実在気象データ ISO 3166-1<mark>頭に¥を付けること</mark> has 気象データの時に必要な情報 地点番号と拡張子を付けること 9 10 データの形式 11 1ビーク気象データ 12 1ビーク気象データ 14 1ビーク気象チータ 15 1ビーク気象チータ 16 1ビーク気象チータ 17 1ビーク気象チータ 18 1ビーク気象チータ 18 1ビーク気象チータ 都市(控え) ¥フォルダ名(1) 旭川 ¥Japan¥PeakWD ¥フォルダ名(2) ¥0230_Asahikawa 緯度 経度 時差 雲重モード 都市 ファイル名 0230* hasH ¥0460_Sapporo 扎幌 村. 惊. ¥Japan¥PeakWD 0460* hasH 0980* hasH 1400* hasH ¥Japan¥PeakWD ¥0980 Ne ¥1400_Muroran ¥Japan¥Peak**W** ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD 秋田 1960* hasH 2240* hasH 2550* hasH ¥2240 Moriok ¥Japan¥PeakWI ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD ¥2830 Fukushima 宇都宮 ¥3330_Utsun 3330* hasH 3430* hasH ¥Japan¥PeakWI ¥3430 Maebashi 東京 ¥3630_Tokyo ¥Japan¥PeakWD 3630*hasH ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD ¥4010_Matsumo ¥4360_Shizuoka 4010* hasH 4360* hasH ¥Japan¥PeakWD ¥4470 Nagoya 4470* hasH ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD ¥4980 Niigata ¥5220 Toyama 4980* hasH 5220* hasH ¥Japan¥PeakWD ¥5650.0saka 5650* hasH ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD ¥6320 Hiroshim ¥6580 Yonago 6320* hasH 6580* hasH ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD ¥6720 Takamatsu 30 31 32 33 34 35 36 37 6720* hasH 6940* hasH 7260* hasH 7710* hasH 高知 ¥6940 Kc ¥7260 Fukuoka ¥7710_Kumamoto ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD ¥Japan¥PeakWD ¥8310_Naha 8310* hasH

表Ⅲ-1 HASPinpの〈テーブル_気象〉の登録情報

※ この表Ⅲ-2には続きがあります。

						_					
39	A	В	С	D	E	F	Н	1	J	К	L
40											
41											
42			+				1				
44											
45											
46	0:標準年気象チータ の機準年気象チータ	扎幌	1	¥Japan¥RefYearWD		0460* hasH					
47	0:標準年気象チータ 0:標準年気象チータ	東京那覇	_	¥Japan¥RefYearWD ¥Japan¥RefYearWD		3630* hasH 8310* hasH					
	0.標準年気象データ	東京		¥Japan¥RefYearWD		3630*1 has	35.68	139.77	9	0:雲重	1:koal/m2h
50											
51											
52 53											
54							1				
55											
56			-								
57 58											
	0:標準年気象チータ	鹿児島		¥WEADAC		12467_KAGOSHIMA_* hasH	1				
60	1:ピーク気象 データ	鹿児島		¥WEADAC¥PeakWD		12467_KAGOSHIMA_* hasH	1				
61			-								
62 63			+								
	0:海外標準年気象データ	Singapore	SGP	¥WEADAC		12524_SINGAPORE CHANGI AIR_* hash					
65	1:海外ピーク気象データ	Singapore	SGP	¥WEADAC¥PeakWD		12524_SINGAPORE CHANGI AIR_* hasH					
66	0:海外標準年気象チータ 1:海外ピーク気象チータ	New York	US A-NYO	¥WEADAC		14155 NEW YORK LA GUARDIA * hash					
67	1:海外ビニグ気袋テニタ 0:海外標準年気象データ	New York Sydney	US A-NYC AUS-NS W	¥WEADAC¥PeakWD ¥WEADAC		14155 NEW YORK LA GUARDIA,* hasH 16150 SYDNEY AIRPORT,* hasH					
69	1:海外ピーク気象データ	Sydney	AUS-NSW	¥WEADAC¥PeakWD		16150_SYDNEY AIRPORT_* hasH					
70											
71											
72											
74							1				
75											
76 77			_								
78											
79											
80	O EXECUTE 5		11 15	V 111 VI VAI I III		0.00	40.05	444.00	_	. = :	0.401.16.01
	Othas標準年気象データ Othas標準年気象データ		扎幌	¥oldJapan¥has¥StandardWD ¥oldJapan¥has¥StandardWD		046-SIhas 046-kcalhas	43.05 43.05			1:長波放射量 0:雲量	0: 10k3/m2h 1:kcal/m2h
	Othas標準年気象データ		東京	¥oldJapan¥has¥StandardWD		363-SIhas	35.68	139.77			0: 10kJ/m2h
	O:has標準年気象チータ		東京	¥oldJapan¥has¥StandardWD		363-kcalhas	35.68	139.77		0:雲重	1:koal/m2h
	O:has標準年気象チータ O:has標準年気象チータ		那覇	¥oldJapan¥has¥StandardWD ¥oldJapan¥has¥StandardWD		831-SIhas 831-kcalhas	26.23 26.23	127.68 127.68		1:長波放射量 0:雲量	0: 10kJ/m2h 1:kcal/m2h
86 87	0.11831景学平気(またデース		707 ##	+Oldoapan+nas+o (andard WD		03 I -ROBINAS	20.23	127.00	,	0.芸里	1.ROB/IIIZII
88											
	1:hasピーク気象データ		旭川	¥oldJapan¥has¥PeakWD		01_* has	43.77	142.37			0:*10kJ/m2h
90	1:hasピーク気象チータ 1:hasピーク気象チータ		扎幌 根室	¥oldJapan¥has¥PeakWD ¥oldJapan¥has¥PeakWD		02_* has 03_* has	43.05 43.33	141.33 145.58		1:長波放射量 1:長波放射量	
	1:hasピーク気象データ		室蘭	¥oldJapan¥has¥PeakWD		04_* has	42.32	140.98		1:長波放射量	
93	1:hasピーク気象データ		秋田	¥oldJapan¥has¥PeakWD		05_* has	39.72	140.10	9	1:長波放射量	0:*10kJ/m2h
94	1:hasピーク気象データ		盛岡	¥oldJapan¥has¥PeakWD		06_* has	39.70				0:*10kJ/m2h
95	1:hasピーク気象チータ 1:hasピーク気象チータ		仙台 福島	¥oldJapan¥has¥PeakWD ¥oldJapan¥has¥PeakWD		07_* has 08_* has	38.27 37.75	140.90		1:長波放射里 1:長波放射里	0:*10kJ/m2h 0:*10kJ/m2h
97	1:hasピーク気象データ		新潟	¥oldJapan¥has¥PeakWD		09_* has	37.92	139.05		1:長波放射量	
98	1:hasピーク気象データ		富山	¥oldJapan¥has¥Peak W D		10_* has	36.70	137.20	9	1:長波放射量	0:*10kJ/m2h
99	1:hasピーク気象データ		宇都宮	¥oldJapan¥has¥PeakWD		11_* has	36.55	139.87			0:*10kJ/m2h
100	1:hasピーク気象チータ 1:hasピーク気象チータ		松本	¥oldJapan¥has¥PeakWD ¥oldJapan¥has¥PeakWD		12_* has 13_* has	36.25 36.40	137.97		1:長波放射里	0:*10kJ/m2h 0:*10kJ/m2h
102	1:hasピーク気象チータ		名古屋	¥oldJapan¥has¥PeakWD		14_* has	35.17	136.97	9	1:長波放射量	0:*10kJ/m2h
	1:hasピーク気象データ		静岡	¥oldJapan¥has¥Peak W D		15_* has	34.97	138.40		1:長波放射量	
	1:hasピーク気象データ	-	東京	¥oldJapan¥has¥PeakWD		16_* has	35.68	139.77		1:長波放射量	
	1:hasヒーク気象テータ 1:hasヒーク気象チータ		米子 広島	#oldJapan#has#PeakWD #oldJapan#has#PeakWD		17_* has 18_* has	35.43	133.35			0:*10kJ/m2h 0:*10kJ/m2h
107	1:hasピーク気象データ		大阪	¥oldJapan¥has¥Peak W D		19_* has	34.68	135.52	9	1:長波放射量	0:*10kJ/m2h
	1:hasピーク気象データ		福岡	¥oldJapan¥has¥PeakWD		20_* has		130.72			0:*10kJ/m2h
	1:hasピーク気象データ 1:hasピーク気象データ	-	熊本 鹿児島	¥oldJapan¥has¥PeakWD ¥oldJapan¥has¥PeakWD		21_* has 22_* has		130.72 130.55			0:*10kJ/m2h 0:*10kJ/m2h
	Inasヒーク気象テータ 1:hasヒーク気象テータ		高松	¥oldJapan¥has¥PeakWD		22_r nas 23_* has	34.32				0:*10kJ/m2h
112	1:hasピーク気象データ		高知	¥oldJapan¥has¥PeakWD		24_* has	33.57	133.55	9	1:長波放射量	0:*10kJ/m2h
	1:hasピーク気象データ		那覇	¥oldJapan¥has¥PeakWD		25_* has	26.23	127.58	9	1:長波放射量	0:*10kJ/m2h
114 115			1								
116	2:実在気象データ		1								
117	2:海外実在気象データ										
118	の海見福港を信仰でき	Las Devile		VWEADAO		abassant boats					
	0海外標準年気象データ END		の時に最終	¥WEADAG 終行になります。		aboxyz* hasH	途 庶	经度	時差	雲重モード	SI モード
121				111-220 20						要な情報	

表Ⅲ-1 (続き) HASPinp の〈テーブル_気象〉の登録情報

H, I, j, k) 緯度・経度・時差・雲量コード・SI モード (49 行、81~113 行の情報)

- ・元々の HASP/ACLD/8501 や NewHASP/ACLD では、「緯度」「経度」「雲量コード」「SI モード」をシート < COMMON > の < BUIL > と < CNTL > で入力します。
- ・HASPinpでは、表Ⅲ-1に予め「登録情報」に登録しておき、これを〈BUIL〉と〈CNTL〉 に自動入力する仕組みを有しています。
- ・新たな hasH フォーマットでは、気象データファイルの先頭行にこれらの情報が組 込まれています。

熱負荷計算プログラムは、これらの情報を気象データファイルから直接読み込みます。よって、hasH フォーマットの気象データの場合は、これらの登録は不要です。

3. HASPinp の気象データの検索と自動カスタマイズの仕組み

⇒関連箇所: 解説書(2)入力編の付1

- ・HASPinpでは、単に気象データを組み込んでも作動しません。表Ⅲ-1の「登録情報」は、HASPinpがする気象データの検索と、fnameHASP_inptxtを自動力スタマイズするための情報です。
- ・HASPinpでは、入力画面<COMMON>で入力する①「気象データのデータ形式」と、②「都市名」と、 ③「気象データのファイル名」による情報と、④シート<テーブル_気象>の「登録情報」(表III-1のこと)とで、気象データを検索し、fnameHASP_inp.txtを動働カスタマイズする仕組みがあります。 以下にその仕組みを説明します。

1)気象データのデータ形式 を決める

- ・表Ⅲ-1「登録情報」の領域(A1:A8)が「気象データのデータ形式」の"元表"です。
- ・これが入力画面 < COMMON > の〈CNTL〉に「気象データのデータ形式」のリストとして表示されます。 ユーザーはこのリストから1つの「気象データのデータ形式」を選びます。

n)都市名のリストの自動作成

- ・この"元表"は、表Ⅲ-1「登録情報」の領域(A10:A120)の「データ形式」とも対応しています。
- ・表Ⅲ-1「登録情報」の中から、イ)〈CNTL〉で選んだ「気象データのデータ形式」と一致する行を抽出し、その行の領域(B10:B120)の「都市」(複数)を集めた「都市名」のリストが作成されます。
 - ※ 領域(B10:B120)の「都市」が空白の行は検索対象から除外されます。

ハ)都市名

- ・p)で作成されたリストは、入力画面 < COMMON > の < BUIL > の「都市名」に表示されます。 ユーザーは、このリストから1つの「都市名」を選びます。
- ・以上で、イ)とロ)、つまり、「気象データのデータ形式」と「都市名」が決まります。

ニ)気象データの検索

- ・表Ⅲ-1「登録情報」の領域 (D10:F120) の "D 列+E 列+F 列" の情報を合成すると、気象データの「パス+ファイル名」になります。
- ・表Ⅲ-1「登録情報」の中で、イ)とロ)の条件に合致する行を抽出します。 抽出した行(複数)の「パス+ファイル名」によって、HASProot¥Data¥Weather にある気象データ を検索します。
- ・検索した結果、見つかった「パス+ファイル名」を集めたリストが作られます。
- * ここで作られる気象データの「パス+ファイル名」のリストは、1つとは限りません。 例えば、 ¥Japan¥Peakwd では、"C 10 "C 20、"C 31、"H 12"、"H 22" の5つ ¥WEADAC¥PeakWD では、"S10"、"S25"、"S50"、"W10"、"W25"、"W50" の6つ のように、1つの都市に複数の気象データが存在します。

お)気象データのファイルの決定

- ・コ)で作られたリストが、入力画面 < COMMON > の < BUIL > の「気象データのファイル名」に表示されます。(なお、画面で表示されるのはファイル名だけです)
- ・ユーザーは、このリストから1つを選ぶと、熱負荷計算に使う「気象データ」が決定します。

^)「緯度」「経度」「時差」などの自動入力

- ・has の場合は、ホ)で決定した「気象データ」の「緯度「経度」「時差」「雲量モード」「SI モード」の情報が入力画面 < COMMON > の < BUIL > と < CNTL > に自動入力されます。
- ・hasHの場合は、これらは気象データから直接読み込むので<COMMON>には入力されません。

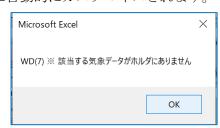
^) fnameHASP_inp. txt の自動カスタマイズ

- ・ お)で決定した「パス+ファイル名」が fnameHASP_inp. txt に自動的にカスタマイズされます。
- ※ 検索した結果、気象データが見つからない場合は、 右の小窓が表示されます。

見つからない原因は

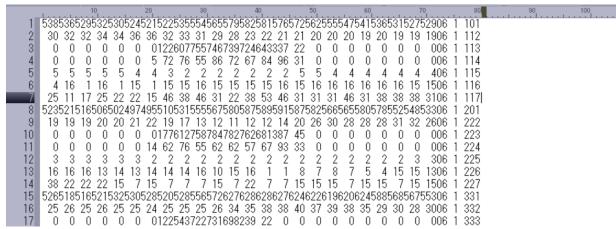
- ① 気象データが登録されていない
- ②「登録情報」に誤りがある

のどちらかです。

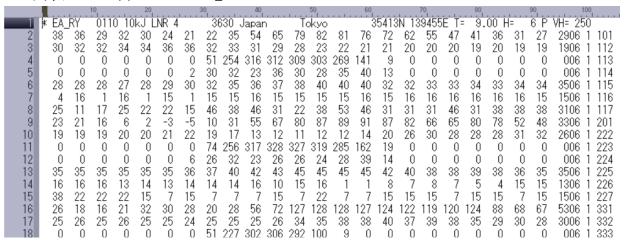


4. has 気象データと hasH 気象データ

- ・下記の(1)は has フォーマット、(2)は hasH フォーマットです。どちらも 2022 年版の HASProot に組 込まれている気象データです。
- ・(1) は SE 単位系、(2) は SI 単位系の違いがありますが、どちらも同じ「東京・2010 年版(2000-2010年平均)の標準年気象データ」です。
- ・この2つの気象データは同じか、違うのか、を検証していきます。
- (1) has 気象データの例 36300110_SE_forACLD8501. has



(2) hasH 気象データの例 36300110 SI. hasH



- イ) hasH 気象データの先頭行
 - (1) has では先頭行がなく、データ行で始まっています。
 - (2) hasH は、先頭行に緯度・経度などの情報が入っています。(⇒あとで説明します)
- n) 7行で1日分です。右端に1~7の番号が付けられています。(これは has も hasH も同じです) 1行目が外気乾球温度、2行目が外気絶対湿度、3行目が法線面直達日射量、4行目が水平面天空 日射量、5行目は雲量または長波(実効)放射量、6行目が風向、7行目が風速です。
- ハ)データのカラム数
 - (1) has では 3 カラム単位です。
 - (2)新しい hasH では 4 カラムに拡大されました。
- ニ)1~24 時の気象データで構成されます。(これは has も hasH も同じです)
 - (1) has は、3 カラム単位で、3×24 時間=72 カラム です。
 - (2) hasH は、4 カラムに拡張され、4×24 時間=96 カラム です。
- お)気温のオフセット
 - (1) has は 3 カラムのため、温度は 0.1 \mathbb{C} 単位で 500 のオフセットがあります。 538 とあれば $(538-500) \times 0.1=3.8$ \mathbb{C} になります。

- (2) hasH は 4 カラムに拡大されたので、温度のオフセットは無くなりました。 38 とあれば 3.8° です。(フォーマット付きで読み込めば換算不要です)
- ※ has の気象データが 3 カラム単位なのは、昔のコンピュータのカードの名残です。 カードは 80 カラムなので、24 時間を 1 枚のカードに納めるために 3 カラムにしたのです。 なお、3 カラムで扱える気温は -50.0~+49.9℃ の範囲です。日本国内で使用するならば問題ありませんが、世界ではこれを超える気温が観測されています。 そこで、hasH 気象データでは、4 カラム単位に拡張したのです。
- へ)絶対湿度: 単位は [0.1g/kg] です。(これは has も hasH も同じです)
- ト)チ)日射量の単位:
 - (1)の has は、SE 単位系なので、日射量の単位は [kcal/m²] です。
 - (2) の hasH は、SI 単位計なので、日射量の単位は [10kJ/m²] です。
 - (1)の 122 [$kcal/(m^2h)$] が、(2)では 122×4.186/10=51.0693 \Rightarrow 51 [$10kJ/(m^2h)$] になります。
 - ※ has でも hasH でも、どちらの気象データにも、SE 単位のものと SI 単位のものがあります。
 - ※ 最近の気象データには、ファイル名に SE か SI の記号が付きますが、古い気象データには区別がないことがあります。

こういう場合は、日射量の値を見ると SE 単位か SI 単位かが分かります。

例えば、法線面直達日射量の時間積算の最大値は、SE 単位で800kcal/m²位で、SI 単位で350kJ/m²位で す。法線面直達日射量の最大値が500を超えるようだと、その気象データはSE 単位です。

リ) 雲量か長波放射量

- (1) は雲量で表示されています。単位は全天を 10 とする全天比で $[0\sim10]$ です。 雲量は HASP のプログラム内部で Brunt の実験式を使って長波放射量に換算されます。
- (2)は長波放射量で表示されています。単位は SI 系なので [10kJ/m²] です。
- ※ 長波放射量の時間積算の最大値は、SE系で $100 [kcal/m^2]$ 位で、SI系で $42 \times 10 [kJ/m^2]$ 位です。 気象データの最大値が 10 を超えないなら雲量、超えるようだと長波放射量です。
- ※ 長波放射量、実効放射量、夜間放射量など色々な言い方がされますが、建物表面から大気への長波放射量と大気からの長波放射量との差引の夜間放射量 (Longwave Net Radiation) です。 夜間に観測し易いので夜間放射量と言いますが、昼間も存在します。

刃)風向: 0~16 方位で表示されます。0:無風、1:NNE、2:NE・・・時計回りに、16:N

ル)風速: 単位は [0.1m/s]

(風向、風速は has と hasH に共通です)

(3)年月日と曜日

・各行の末尾端は1~7の日毎に番号ですが、その左の7カラムが「年・月・日・曜日」です。

9)年月日:

- ・古い標準年気象データでは年の値は"0"でした。0年ですが平年です。
- ・(1)の has、(2)の hasH はどちらも "06"、2006 年です。

切)曜日番号:

- ・標準年気象データは"平年"で、1月1日が日曜日で始まっています。
- 「1,2,3,4,5,6,7」の曜日番号は、「日月火水木金土」 に対応します。
- ・(1)の has、(2)の hasH はどちらも 2006 年ですが、2006 年は1月1日が日曜日の平年です。

加)祝日:

- ・各日の1行目の曜日番号が"0"の場合は、祝日(振替休日を含む)です。 2~7行には、元々の七曜の曜日番号が入っています。
- ・(1)の has、(2)の hasH はどちらも 2006 年ですが、2006 年当時の祝日が入っています。
- ※ ピーク気象データは仮想の日ですが、年月日と曜日の情報があります。
- ※ WEADAC の気象データには祝日の情報は入っていません。

5. hasH 気象データの先頭行の情報

・hasH の気象データの先頭行には以下の情報が入っています。

col. 1 (1col、文字) (○): 先頭行であることを示す識別子(*)

col. 3~10 (8col、文字) (-): ソースデータ名

col. 11~14 (4col、文字) (-):標準年=RY、実在年=EY、ピーク気象データ=W10、S100等

col. 16~19 (4col、文字) (○):日射·放射の単位。10kJ または kJ または kcal

col. 21~23 (3col、文字) (○): 夜間放射 (LNR) or 雲量 (CA)

col. 25 (1col、整数) (○): 気象データのカラム数 (3col または 4col)

col. 31~35 (5col、整数) (一): 地点番号 (WEADAC は 4col または 5col、EA は 4col、mao 海地の原際地点番号は 5--1)

、WMO 準拠の国際地点番号は 5col)

col. 37~46 (10col、文字)(-): 国名 (10 文字で打ち切り)

col. 48~57 (10col、文字) (-): 地点名 (10 文字で打ち切り)

col. 61~65 (5col、整数) (○): 緯度。(はじめの 2col が度、次の 3col が 0.1 分)

col.66 (1col、文字) (○):NかSの区分

col. 68~73 (6col、整数) (○): 経度。(はじめの 3col 度、次の 3col が 0.1分)

col.74 (1col、文字) (○):E か W の区分

col. 78~83 (6col、実数) (△):世界時と地方標準時の時差(日本の場合は9時間)。

小数点以下 2 桁の実数

col. 87~90 (4col、整数) (-):標高

col. 92 (1col、文字) (-): 日射直散分離法

(M:Measured, P:Perez, E:Erbs, U=Udagawa, W:Watanabe, N:Nagata)

col. 97~100 (4col、整数) (-):風速の地上高さ(0.1m)

- ※(○)は計算処理に使用するデータ。(一)は計算処理に使用しないデータ。
 - (△) は国内地点では使用せず、海外地点では使用するデータ。
- ※ 時差: hasH に組み込まれている時差は UTC 基準です。(日本なら+9 時間) hasH の時差は 1 時間単位です。
 - ※本来の時差決まりは1時間単位ですが、国や地域によって15分、30分、45分ずらすことがあります。また、時差が時々変わることがあります(最近もありました)。
- ※ 風速の地上高さは WEADAC では不明なので無記入です。EA では 1/4 べき乗則により地上 25.0m に換算してあります。
- ※ 記号 (1) RY: Reference Year (標準年)
 - (2) EY : Existent Year (実在年)
 - (3) LNR: Longwave Net Radiation (夜間放射)
 - (4) CA : Cloud Amount (雲量)
- ※ 地点番号

表Ⅲ-1 の<登録情報>の気象データの地点番号には以下の種類があります。 例示は ファイル名と(地点)です。

・EA (拡張アメダス) 気象データの地点番号 (4桁の番号)

日本の標準年気象データ ¥Japan¥RefYearWD 04600110SI. hasH (札幌) 日本のピーク気象データ ¥Japan¥PeakWD 8310C 10_SI. hasH (那覇)

・ JMA: 日本の気象庁の地点番号 (5 桁の番号)

WEADAC の標準年気象データ ¥WEADAC 12467_Kagoshima_SI_S. hasH (鹿児島) WEADAC のピーク気象データ ¥WEADAC¥PeakWD 16150_SYDNEY AIRPORT_SI_S10. hasH

・旧版 HASProot の気象データの地点番号

標準年気象データ(3 桁) ¥oldJapan¥has¥StandardWD 363_kcal. has(東京) ピーク気象データ(2 桁) ¥oldJapan¥has¥PeakWD 16_S_05. has(東京)

6. 祝日情報

(1) 気象データで祝日情報が組込まれているもの/組込まれていないもの

- Japan のフォルダにある標準年気象データには日本の祝日が組込まれています。
- ・WEADACのフォルダにある標準年気象データには祝日が組込まれていません。
 - ※ WEADAC の KAGOSHIMA は日本の気象データですが祝日は組込まれていません。

(2)入力画面 < COMMON > の 〈WWDA〉 〈SSDA〉 〈SDAY〉 〈WSCH〉

- ・これらの入力データで特別日などを設定できます。
 - なお、元の HASP/ACLD/8501 や旧版 nEWHASP/ACLD では 10 日分の特別目 (SDAY) の設定ができました。
- ・2021年の新版のNewHASP/ACLDでは、特別日〈SDAY〉の枠が365日に拡張されました。
- 2022 年の新版の ACLD_HEX15 と NewHASP_2 では、以下の設定ができます。
 - < WWDA 期間での七曜日設定 (4期間、気象データにある祝日をクリアできる)
 - 〈SSDA〉 期間での特別日設定 (4期間、夏休みなどを設定できる)
 - <WDAY> 個別での平日設定 (11日分の平日設定、夏休中の登校日などを想定できる)
 - 〈SDAY〉 個別での特別日設定 (55 日日分の特別日の設定ができる)
- ・特別日を週間スケジュール<WSCH>で祝日と同じに設定すれば、特別日が祝日扱いになります。

(3) HASPinpの <テーブル 気象> に登録されている特別日

- ・HASPinpの <テーブル_気象> には表Ⅲ-2 に示す祝日情報が予め登録されています。
- ・入力画面 < COMMON > の中で、表Ⅲ-2 の祝日情報を一括入力する機能があります。

日本 2023																								
特別日	月日-月-日-月日月日月日月日月日月日月日月日月日月日月日月日月日日月日日日日日日															きできま	す。				28	←2月(の日数	
		月	B'-	-月-	-8	-月-	- 台	月	B	月	B	月	В	月	B	月	В	月	B	月	B	月	В	
WWDA	連続平日	1	1	12	31																			
SSDA	連続特別日																							
WDAY	平日																							
SDAY	特別日	1	1	1	2	1	9	2	11	2	23	3	21	4	29	5	3	5	4	5	5	7	17	
+		8	11	9	18	9	23	10	9	11	3	11	23							1	3	12	31	
+																								
+																								
+																								
			上記の	0入力7	では、ス	カ順じ	上書る	きされま	す。						WWDA	SSDA	では4%	狙までは	カ月日	~月日	を一括	設定で	きます	٠

※HASPinpの入力データは<WWDA><SDA><WDAY><SDAY>の順に後からのデータに上書きされます。

- ・<表Ⅲ-2 日本の祝日>
 - ・1995年、2006年、2017年、2023年の祝日が登録されています。 祝日は時々改正されるので、複数年を登録してあります。
 - ・1995年、2006年、2017年、2023年は平年です。かつ、標準年の平均を取った期間の中で1月 1日が日曜日で始まる平年です。
 - ・日本の慣習的な休みである年末年始の1/3と12/31を特別日に含めてあります。
- ・<表Ⅲ-2 海外の祝日>
 - ・国だけでなく、地域(州)や都市で祝日が変わることがあります。
 - ・WEADAC の気象データがある3つの都市の祝日情報を登録してあります。

(4) 新たな特別日情報を追加登録する方法

- ・表Ⅲ-2の<特別日などの登録情報>の範囲(P14:GK34)に、新たな特別日情報を追加登録することができます。
- ・追加するときは、空欄の範囲(P22:GK34)を使うようにします。

※範囲を拡げても構いませんが、4章の気象データの<登録情報>と列が重なっているので、注意が要ります。

表Ⅲ-2 HASPinp の特別日などの登録情報

(1) 列 R~AM:平日の期間登録、列 AN~BI:特別日の期間登録

																							-																				
-4	0	P	Q	R	S	Т	U	V	W	X	Y	Z	A A	AB A	CAD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL A	MA	AN A	AO AI	P AG	AR	AS	AT	AU	AV J	AW A	X AY	/ AZ	BA	BB	BC	BD I	BE E	F BC	à BH	1 BI
10				- 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 1	2 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 2	5 26	3 27	28	29	30	31	32	33 34	4 35	36	37	38	39	40 4	41 4	2 47	3 44
11		日本 2023	4	1	1	12	31																												Т							Т	
12	文字数	特別日の全部の長さは			DAY																				SSDA																		
13	82	256文字以内とします。		月	В	月	В	月	В	月	В	月 E	3 F	3 E	月	В	月	В	月	В	月	В	月	ВΙ	月	3 月	В	月	В	月	В	月	B 月	B	月	В	月	В	月」	3 F	3 8	月	В
14	7	無指定	0																																								
15	10	日本 1995	- 1	- 1	1	12	31																																				
16	10	日本 2006	2	- 1	1	12	31																																				
17	10	日本 2017	3	- 1	1	12	31																																				
18	10	日本 2023	4	1	1	12	31																																				
19	10	Singapore	5																																								
20	9	New York	6																														_										
21	16	Australia (NSW)	7										_																				_										
22	0		8										_																				_										
23	0		9										_																				_										
24	0		10																																								
25	0		11										_																				_										
26	0		12										_																				_										
27	0		13										_																				_										
28	0		14										_																				_										
29	0		15										_																				_										
30	0		16										_																				_										
31	0		17										_																				_										
32	0		18										_																				_										
33	0		19										_																				_										
34	0		20																																						\perp	\perp	
35		END																																									

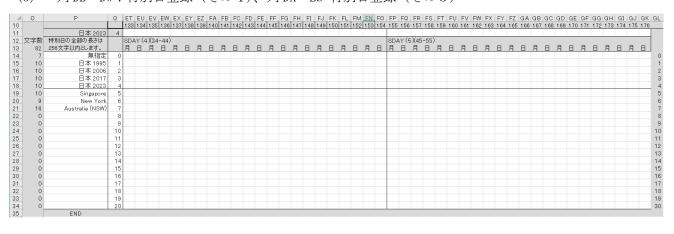
(2) 列 BJ~CE: 平日登録、列 CF~DA: 特別日登録 (その1)

	0	P	Q	В	ВК	BL	ВМ	BN	ВО	ВР	BQ	BR	BS	ВТ	BU	BV	BW	ВХ	BY	BZ	CA	СВ	CC	CD	CE	CF	CG	СН	CI	CJ	СК	CL	см	CN C	0 C	PC	Q C	R CS	s c	г с	JO	v cv	CX	CY	CZ	DA
10				45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76 7	77 7	8 7	9 8	3 8	1 8:	2 8	3 84	85	86	87	88
11		日本 2023	4																							- 1	1	1	2	1	9	2	11	2 :	23	3 2	1	4 2	9 !	5 :	3	5 4	5	5	7	17
12	文字数	特別日の全部の長さは		WE	ΑY																					SD	AY (1	1)(1-	11)																	
13	82	256文字以内とします。		月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	В	月	Θ,	月 E	1 月	l E	月	В	月	В	月	В	月	В	月	B
14	7	無指定	С																																											
15	10	日本 1995	1																							- 1	1	1	2	- 1	15	1	16	2	11	3 2	1	4 2	9 !	5 3	3	5 4	5	5	9	15
16	10	日本 2006	2																							1	1	1	2	1	9	2	11	3 2	21	4 2	9	5 :	3 3	5 .	4	5 5	7	17	9	18
17	10	日本 2017	3																							1	1	1	2	1	9	2	11	3 2	21	4 2	9	5 :	3 !	5 .	4	5 5	7	17	8	11
18	10	日本 2023	4	1																						1	1	1	2	1	9	2	11	2 2	23	3 2	1	4 2	9 !	5 3	3	5 4	5	5	7	17
19	10	Singapore	5	i																						1	1	1	2	1	28	1	29	1 3	30	4 1	4	5	1 3	5 14	0	6 25	6	26	8	9
20	9	New York	6																							1	1	1	2	1	16	2	20	5 3	29	7	4	9 .	4 1	0 !	9 1	1 10	11	11	11	23
21	16	Australia (NSW)	7																							1	1	1	26	4	14	4	15	4	16	4 1	7	4 2	5 1	3 1:	2 1	0 2	12	25	12	26
22	0		8	3																																										
23	0		9																																											
24	0		10																																											
25	0		11																																											
26	0		12																																											
27	0		13																																											
28	0		14																																											
29	0		15																																											
30	0		16																																											
31	0		17																																											
32 33	0		18																																											
33	0		19																																											
34	0		20																							<u></u>																				
35		END																																												

(3) 列 DB~DW:特別日登録 (その2)、列 DX~ES:特別日登録 (その3)

		_																																												
	0	P	Q	DE	3 DC	DI	DE	DF	DC	3 DH	1 D	I D	J DI	DL	. DN	4 DV	DC	DF	DC	DR	DS	DT	DU	D١	/ DV	V D	X DY	DZ	EA	EB	EC	ED	EE	EF	EG	EH	EI E	JE	EK E	EL	EM	EN E	O E	EQ	ER	ES
10																	100	2 100	3 10	1 105	106						1 11:	2 113	3 114	115	116	117	118	119	120	121 1	22 1	23 1	24 1	25	126	127 1	28 12	9 130) 131	132
11		日本 2023	4		B 1		9 18		23	3 10		9 1	1 :	1 1	23	3					_	1	3	12	3.																				_	\perp
12	文字数	特別日の全部の長さは					2-22																			SI) YAC	3)(20	3-33)																
13	82	256文字以内とします。		月	B	月	B	月	B	月	B	月	В	月		月	<u>B</u>	月		月	B	月	B	月		月		月		月	8	月	8	月	Β.	月 E	3 J] E	3 J	1	В.,	月 E	月	B	月	B
14	7	無指定																																												
15	10	日本 1995	1		9 20	3 1	10	11	1 3	3 11	1 2	3 1:	2 2	3								1	3	12	3.	1																				
16	10	日本 2006	2		9 20	3 1	9	11	1 3	3 11	1 2	3 1:	2 2	3								1	3	12	3.	1																				
17	10	日本 2017	3	1 9	9 18	8 !	9 23	10) 8	9 11	1	3 1	1 2	3 1:	20	3						1	3	12	3.	1																				
18	10	日本 2023	4	. 8	8 1	1 !	18	. 8	23	3 10)	9 1	1 :	1 1	23	3						1	3	12	3.	1																				
19	10	Singapore	5				18	12	25	5																																				
20	9	New York	6	12	2 25	5																																								
21	16	Australia (NSW)	7																																											
22	0		8																																											
23	0		9																																											
24	0		10																																											
25	0		11																																											
26	0		12																																											
27 28 29	0		13																																											
28	0		14																																											
29	0		15																																											
30	0		16																																											
31	0		17																																											
32	0		18																																											\perp
33	0		19																																											\perp
34	0		20	丄				_																ш		⊥				_		_	_													ш
35		END																																												

(3) 列 DB~DW:特別日登録 (その4)、列 DX~ES:特別日登録 (その5)



参考資料

- 们SHASE 雜誌講座動的熱負荷計算法.pdf (\{\text{YDATA\{\text{Reference\{\text{Y}}\}}\)
- r)空調設備の動的熱負荷計算入門.pdf (\{YDATA\{YReference\{Y}\})
- =) HASP-ACLD-8501 プログラミングメモ.pdf (\text{YHASPYHASP-ACLD-8501YDevelopYNoteY})
- ま) NewHASP アルゴリズム. pdf (\\ \text{\text{\text{YHASP\\\\}NewHASP-ACLD\\\\}Develop\\\\\ \text{Note\\\\\})
- へ) NewHASPACLD 操作マニュアル. pdf (\text{\text{YHASP\text{YNewHASP-ACLD\text{\text{YDoc\text{\text{\text{Y}}}}}})
- ・本書の執筆者 猪岡達夫 (元中部大学)
- ・HASPinp の開発 システック環境研究所の協力を得て猪岡が開発しました。

HASPinp の公開の際に全てをシステックに移管しています。

(なお移管後もボランティアで HASPinp のメンテを猪岡が継続しています)